ライオン誌12月号 2003年(平成15年)11月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可毎月1回20日発行第46巻第6号

第46巻第6号

IN JAPAN
Official publication
of Lions Clubs
International

December 2003

We Serve

CONTENTS

表紙メモ
日本の歴史町
岡山県成羽町吹屋
切画:風祭竜二
デザイン:内田誠治

二〇〇二－〇三年度 ライオンズクラブ統計

世界のライオンズ分布図

［二〇〇三年六月三十日現在］国際本部集計

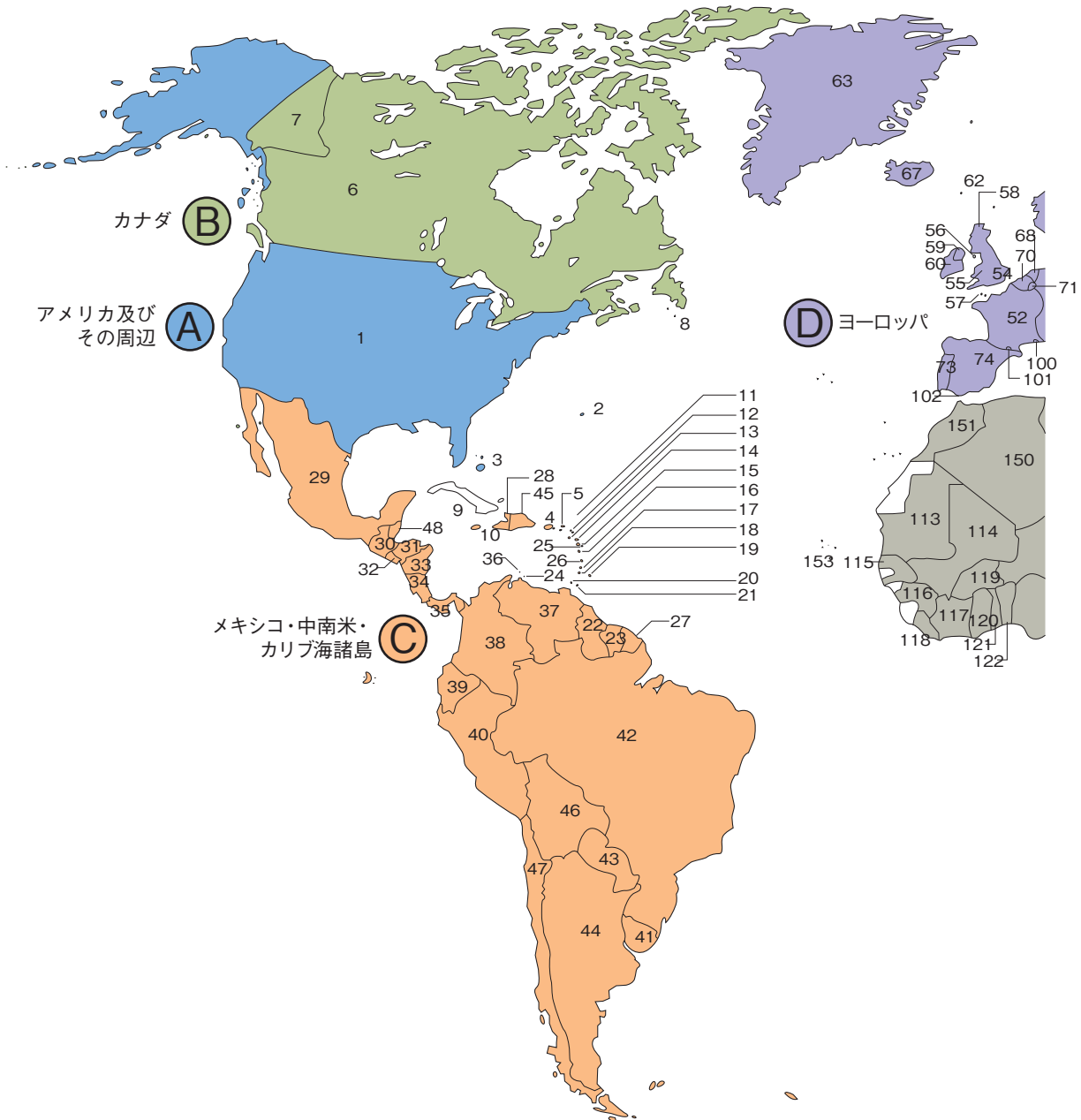
昨年度末の世界のライオンズは百三十五万七千二百九十一人

二〇〇三年六月末の世界のライオンズクラブは百九十一の国及び地域

に四万五千七百六十六クラブ、会員百三十五万七千二百九十一人だった。この一年で、ライオンズ国はヨーロッパのバチカン、インド・南アジア・アフリカ・中東地域のリベリアと東チモールが加わった。

クラブ数は昨年度、ケイ・K・フクシマ国際会長が、インパクト・プログラムを強力に推進したことにより、前年度七四パーセント増の千九百五十六クラブが結成された。解散が九百八十二クラブあったため、この一年での純増は九百七十四クラブとなったが、前年度が百二クラブ増だったことを考えると、大きな成果を収めたことは明らかだ。

一方、会員数は十七万七千百四十人の入会に対し、十八万二千二百三十一人の退会で、前年度に比べ五千九十一人のマイナスとなった。が、昨年度のマイナス一万九千六百四十三人に比べると、減少幅は四分の一に抑えられており、一年目のインパクト・プログラムが、ある程度の成果を収めたと言えよう。

なお、次ページに掲載した「世界のライオンズ国一覧」の中で、国名の前にある番号は本地図の番号と対応しているので、比べながら見て頂きたい。

No.	国・地域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
57	チャネル諸島（英）	105	2	72	1963
58	スコットランド（英）	105	24	398	1952
59	北アイルランド（英）	105	22	428	1958
60	アイルランド	105	94	2,397	1955
61	デンマーク	106	297	6,948	1950
62	フェロー諸島（デ）	106	5	139	1966
63	グリーンランド（デ）	106	6	124	1988
64	フィンランド	107	933	27,407	1950
65	オーランド島（フィ）	107	5	169	1955
66	イタリア	108	1,194	49,696	1951
67	アイスランド	109	88	2,319	1951
68	オランダ	110	385	11,302	1951
69	ドイツ	111	1,262	42,221	1951
70	ベルギー	112	274	7,538	1952
71	ルクセンブルク	113	20	836	1953
72	オーストリア	114	208	6,861	1952
73	ポルトガル	115	116	3,179	1953
74	スペイン	116	96	2,612	1964
75	ギリシャ	117	78	2,103	1954
76	キプロス	117	25	1,026	1954
77	トルコ	118	374	9,345	1963
78	ハンガリー	119	58	1,282	1989
79	エストニア	120	55	1,264	1989
80	ポーランド	121	53	1,251	1989
81	チェコ	122	27	567	1990
82	スロバキア	122	13	316	1990
83	ロシア	123/未	39	669	1990
84	ルーマニア	124	39	909	1990
85	クロアチア	126	44	1,092	1990
86	イスラエル	128	32	815	1960
87	スロベニア	129	41	1,191	1990
88	ブルガリア	130	27	647	1992
89	リトアニア	未	16	350	1990
90	ベラルーシ	未	8	166	1990
91	ウクライナ	未	6	110	1991
92	ラトビア	未	7	116	1991
93	アルバニア	未	5	108	1993
94	ボスニア･ヘルツェゴビナ	未	7	203	1996
95	マケドニア	未	5	147	1996
96	ユーゴスラビア	未	2	51	1990
97	アルメニア	未	1	22	2000
98	サンマリノ	未	1	48	1959
99	バチカン	未	1	22	2003
100	モナコ	未	2	72	1961
101	アンドラ	未	1	40	1985
102	ジブラルタル（英）	未	1	33	1977
103	マルタ	未	5	195	1958
104	モルドバ	未	2	57	2002

E インド･南アジア･アフリカ･中東

No.	インド･南アジア･アフリカ･中東	地区番号	クラブ数 7,426	会員数 197,586	結成年
105	パキスタン	305	446	8,209	1956
106	スリランカ	306	266	7,231	1958
107	バングラデシュ	315	400	8,779	1958
108	インド	321〜324	5,122	147,179	1956
109	ネパール	325	241	5,587	1971
110	レバノン	351	74	1,687	1952
111	ヨルダン	351	7	159	1953
112	エジプト	352	34	708	1976
113	モーリタニア	403	4	100	1975
114	マリ	403	5	119	1957
115	セネガル	403	9	163	1955
116	ギニア	403	5	118	1986
117	コートジボアール	403	20	443	1954
118	リベリア	403	1	33	2002
119	ブルキナファソ	403	10	282	1958
120	ガーナ	403	12	267	1982
121	トーゴ	403	7	202	1957
122	ベニン	403	11	372	1981
123	ニジェール	403	2	43	1960
124	チャド	403	5	123	1956
125	カメルーン	403	19	459	1955
126	中央アフリカ	403	4	92	1955
127	ガボン	403	9	221	1957
128	コンゴ人民共和国	403	8	234	1954
129	ジブチ	403	1	51	1966
130	コモロ	403	2	52	1981
131	マダガスカル	403	19	421	1956
132	レユニオン（仏）	403	5	132	1958
133	モーリシャス	403	4	117	1967
134	ナイジェリア	404	98	2,657	1964
135	コンゴ民主共和国	409	31	766	1957
136	ルワンダ	409	1	27	1959
137	ブルンジ	409	1	20	1957
138	ナミビア	410	11	193	1958
139	南アフリカ	410	177	2,654	1957
140	スワジランド	410	2	24	1979
141	エチオピア	411	5	166	1966
142	ウガンダ	411	33	794	1959
143	ケニア	411	58	1,526	1958
144	タンザニア	411	22	555	1963
145	マラウイ	412	8	196	1960
146	ジンバブエ	412	39	522	1959
147	ボツワナ	412	23	408	1968
148	ザンビア	413	50	1,219	1961
149	チュニジア	414	29	604	1968
150	アルジェリア	415	25	427	1953
151	モロッコ	416	55	1,091	1953
152	バーレーン	未	3	83	1978
153	カボベルデ	未	1	17	1998
154	アンゴラ	未	1	23	2000
155	東チモール	未	1	31	2002

F 東洋･東南アジア

No.	東洋･東南アジア	地区番号	クラブ数 7,185	会員数 263,611	結成年
156	グアム（米）	204	14	316	1949
157	ミクロネシア	204	2	39	1990
158	サイパン（米）	204	3	56	1991
159	パラオ	204	1	16	1996
160	中華民国［台湾］	300	914	29,760	1953
161	フィリピン	301	409	12,449	1949
162	香港（中）	303	53	1,149	1955
163	マカオ（中）	303	2	31	1971
164	マレーシア	308	210	5,637	1959
165	シンガポール	308	67	1,750	1958
166	ブルネイ	308	2	40	1970
167	タイ	310	304	8,641	1959
168	日本	330〜337	3,396	129,870	1952
169	韓国	354〜355	1,760	72,323	1959
170	モンゴル	未	5	138	1993
171	カンボジア	未	3	71	1996
172	広東（中）	未	1	107	2002
173	深圳（中）	未	39	1,218	2002

G 大洋州及びその周辺

No.	大洋州及びその周辺	地区番号	クラブ数 1,949	会員数 44,721	結成年
174	パプアニューギニア	201	4	89	1962
175	オーストラリア	201	1,338	28,466	1947
176	ノーフォーク島（豪）	201	2	47	1964
177	西サモア	202	1	19	1965
178	フィジー	202	5	80	1963
179	ニュージーランド	202	465	12,447	1955
180	米領サモア（米）	202	1	45	1982
181	インドネシア	307	118	3,171	1969
182	ニューカレドニア（仏）	未	12	282	1961
183	バヌアツ	未	1	15	1978
184	タヒチ（仏）	未	2	60	1960

※1国際協会ではライオンズ国及び地理的領域を191と公式に発表しています。本表は国際本部集計を基に作成したものですが、集計表には184の国及び領域のみの記載しかなく、その他7カ国は不明です。
※2米領バージン諸島＝クラブ数8、会員数192

●国名及び領域名は『世界の国一覧表』（外務省外務報道官編集）を参考にしました。

略号：未:地区未編成　(蘭)オランダ　(デ)デンマーク
(米)アメリカ　(ポ)ポルトガル　(フィ)フィンランド
(英)イギリス　(カ)カナダ　(豪)オーストラリア
(仏)フランス　(南ア)南アフリカ　(中)中華人民共和国

ライオンズ国一覧

本表は世界のライオンズ国または地理的領域の地区番号、ならびにクラブ数、会員数とその結成年の一覧である。2003年6月30日現在、国際協会は191の国及び地理的領域に45,766クラブ、1,357,291人の会員を数える。

また7つの地域別にクラブ数と会員数を表示した。

なお、国及び領域名の前の番号は、前ページの地図上の数字と合致する。

A アメリカ及びその周辺

番号	国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
	（合計）		13,817	432,988	
1	アメリカ	1～50	13,683	427,847	1917
	イリノイ州	1	630	21,266	1917
	テキサス州	2	970	31,612	1917
	オクラホマ州	3	230	6,451	1917
	カリフォルニア州	4/21/36	827	24,832	1917
	ネバダ州	4	44	1,217	1920
	ミネソタ州	5M	576	21,825	1918
	ノースダコタ州	5	119	3,677	1921
	サウスダコタ州	5	90	2,839	1921
	コロラド州	6	172	5,106	1917
	アーカンソー州	7	183	5,378	1917
	ルイジアナ州	8	203	6,409	1917
	アイオワ州	9	372	11,806	1920
	ミシガン州	10／11	542	17,132	1919
	テネシー州	12	223	6,198	1917
	オハイオ州	13	508	16,470	1920
	ペンシルベニア州	14	870	28,019	1920
	ワイオミング州	15	57	1,718	1920
	ニュージャージー州	16	256	7,164	1920
	カンザス州	17	328	8,575	1919
	ジョージア州	18	264	7,515	1920
	ワシントン州	19	258	8,669	1920
	アイダホ州	19/39	105	2,796	1923
	ニューヨーク州	20	603	18,821	1921
	アリゾナ州	21/40	152	4,123	1923
	メリーランド州	22	190	6,581	1921
	コロンビア特別区	22	8	208	1921
	デラウェア州	22	39	1,503	1922
	コネチカット州	23	163	6,368	1921
	バージニア州	24	322	9,998	1921
	インディアナ州	25	431	14,321	1920
	ミズーリ州	26	420	12,736	1917
	ウィスコンシン州	27	590	21,733	1921
	ユタ州	28	94	2,031	1921
	ウエストバージニア州	29	223	5,957	1921
	ミシシッピ州	30	158	4,131	1921
	ノースカロライナ州	31	396	9,903	1922
	サウスカロライナ州	32	169	5,326	1922
	マサチューセッツ州	33	251	9,036	1922
	アラバマ州	34	188	5,172	1922
	フロリダ州	35	306	8,003	1922
	オレゴン州	36/39	192	5,845	1921
	モンタナ州	37	84	2,452	1921
	ネブラスカ州	38	172	4,834	1920
	ニューメキシコ州	40	76	1,787	1923
	メーン州	41	90	2,918	1923
	ロードアイランド州	42	36	1,573	1922
	ケンタッキー州	43	228	7,157	1920
	ニューハンプシャー州	44	91	2,705	1923
	バーモント州	45	48	1,436	1924
	アラスカ州	49	73	2,674	1944
	ハワイ州	50	63	1,841	1926
2	バーミューダ諸島（英）	20	6	202	1946
3	バハマ	35/未	2	42	1953
4	プエルトリコ	51	125	4,883	1936
5	米領バージン諸島（米）※2	51(/60)	1	14	1966

B カナダ

番号	国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
	（合計）		1,830	44,981	
6	カナダ	5M/5/19/37/41/49/A/U	1,794	43,585	1920
	オンタリオ州	5M/A/U	583	15,254	1920
	マニトバ州	5M	96	2,128	1921
	サスカチワン州	5	188	4,387	1928
	ブリティッシュ・コロンビア州	19/37/49	238	5,406	1921
	アルバータ州	37	219	5,106	1929
	ノースウエスト・テリトリーズ	37/49	3	60	
	ニューブラウンズウィック	41	67	1,597	1938
	プリンスエドワード島	41	27	603	1952
	ノバスコシア州	41	70	1,919	1945
	ニューファウンドランド州	41	100	2,456	1948
	ケベック州	A/U	203	4,669	1922
7	ユーコン・テリトリー（カ）	49	6	116	1951
8	サンピエール・ミクロン諸島	U	2	54	1953

C メキシコ・中南米・カリブ海諸島

番号	国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
	（合計）		4,284	101,902	
5	米領バージン諸島（米）※2	60(/51)	7	178	1966
9	ケイマン諸島	60	3	144	1972
10	ジャマイカ	60	26	806	1965
11	アンギラ	60	1	23	1979
12	英領バージン諸島（英）	60	4	107	1972
13	セントクリストファー・ネイビス	60	2	66	1971
14	アンチグア・バーブーダ	60	1	76	1968
15	モントセラト（英）	60	1	23	1985
16	ドミニカ（英）	60	2	35	1968
17	セントルシア	60	5	127	1967
18	セントビンセント（英）	60	4	75	1964
19	バルバドス	60	8	268	1961
20	グレナダ（英）	60	2	60	1965
21	トリニダード・トバゴ	60	29	800	1962
22	ガイアナ	60	20	555	1960
23	スリナム	60	13	351	1957
24	蘭領アンチル（蘭）	60/E	5	210	1946
25	グアトループ島（仏）	63	11	267	1969
26	マルチニーク島（仏）	63	10	239	1967
27	仏領ギアナ（仏）	63	7	205	1970
28	ハイチ	63	4	90	1982
29	メキシコ	B	466	12,948	1931
30	グアテマラ	D	36	959	1941
31	ホンジュラス	D	34	1,110	1942
32	エルサルバドル	D	30	1,045	1942
33	ニカラグア	D	21	590	1942
34	コスタリカ	D	59	1,740	1944
35	パナマ	D	54	1,360	1935
36	アルバ（蘭）	E	1	65	1947
37	ベネズエラ	E	147	3,686	1943
38	コロンビア	F	272	5,039	1945
39	エクアドル	G	81	2,591	1946
40	ペルー	H	208	4,893	1944
41	ウルグアイ	J	135	2,871	1951
42	ブラジル	L	1,764	41,558	1952
43	パラグアイ	M	95	2,636	1952
44	アルゼンチン	O	289	4,997	1954
45	ドミニカ共和国	R	151	4,183	1964
46	ボリビア	S	54	1,199	1948
47	チリ	T	217	3,539	1948
48	ベリーズ	未	5	188	1973

D ヨーロッパ

番号	国または地理的領域	地区番号	クラブ数	会員数	結成年
	（合計）		9,303	272,728	
49	スウェーデン	101	545	14,717	1948
50	スイス	102	212	8,184	1948
51	リヒテンシュタイン	102	1	47	1953
52	フランス	103	1,236	31,700	1948
53	ノルウェー	104	520	13,773	1949
54	イングランド（英）	105	730	14,535	1949
55	ウェールズ（英）	105	52	877	1963
56	マン島（英）	105	1	32	1968

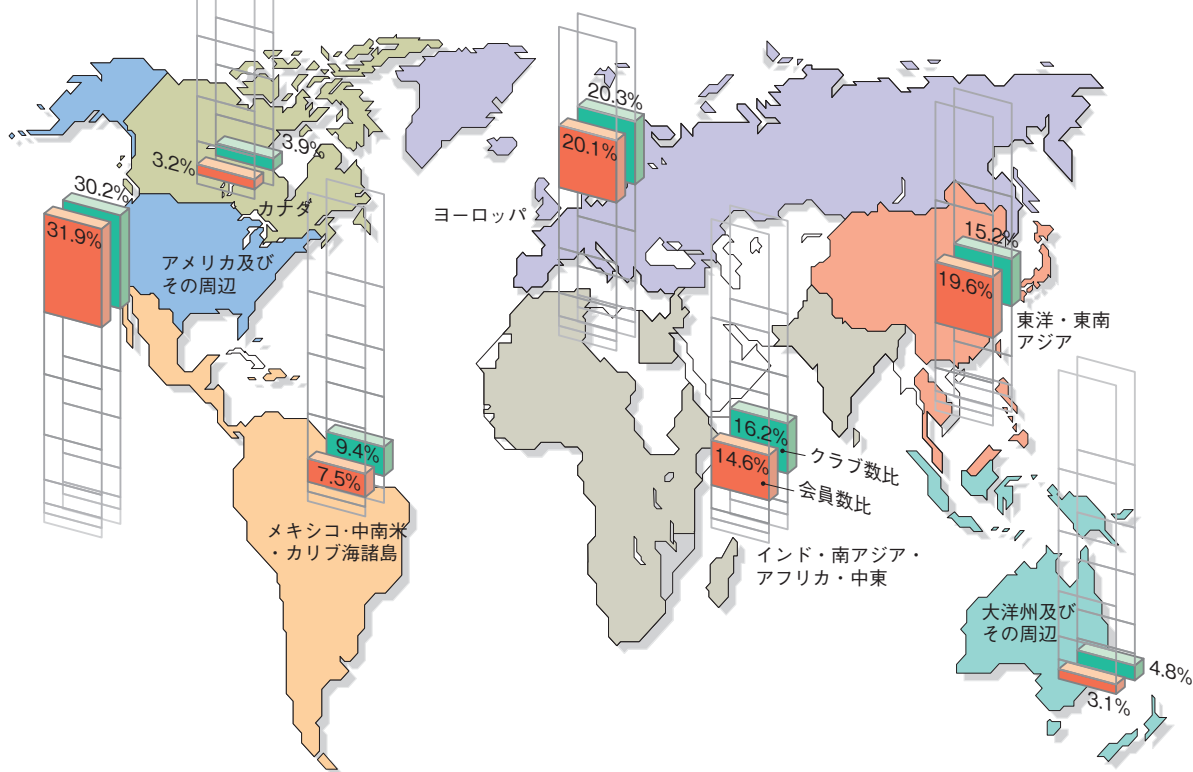
各地域の情勢

［二〇〇三年六月三十日現在］国際本部集計

OSEAL地域は、クラブ数で四位に転落

国際会則に定められている七つの会則地域別にクラブ数、会員数を比較してみよう。今年度はヨーロッパ、インド・南アジア・アフリカ・中東、大洋州の三つの地域で会員数が増加。特にヨーロッパはここ数年、連続で純増を続けており、会員数比では初めて二〇パーセントを超え、第一位のアメリカ及びその周辺との差をぐんぐん縮めている。

また、インド・南アジア・アフリカ・中東は世界全体の新結成クラブ数の実に五三パーセントを占める千三十八クラブが加わり、クラブ数比では東洋・東南アジアを抜いて第三位に浮上した。が、インド・南アジア・アフリカ・中東の新クラブ結成ラッシュは、裏を返せば他の地域では、インパクト・プログラムが思うような成果を挙げられなかったことを物語っていると言えるだろう。

●会員数比・クラブ数比

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ及びその周辺	13,817	183	242	△59	30.2	432,988	47,830	54,852	△7,022	31.9
カナダ	1,802	19	5	14	3.9	43,755	4,885	5,280	△395	3.2
メキシコ･中南米･カリブ海諸島	4,284	130	206	△76	9.4	101,902	13,257	16,503	△3,246	7.5
ヨーロッパ	9,303	193	104	89	20.3	272,728	21,924	20,216	1,708	20.1
インド･南アジア･アフリカ･中東	7,426	1,038	277	761	16.2	197,586	43,552	38,066	5,486	14.6
東洋･東南アジア	6,947	323	89	234	15.2	266,224	38,788	41,448	△2,660	19.6
大洋州及びその周辺	2,187	70	59	11	4.8	42,108	6,904	5,866	1,038	3.1
合計	45,766	1,956	982	974	100.0	1,357,291	177,140	182,231	△5,091	100.0

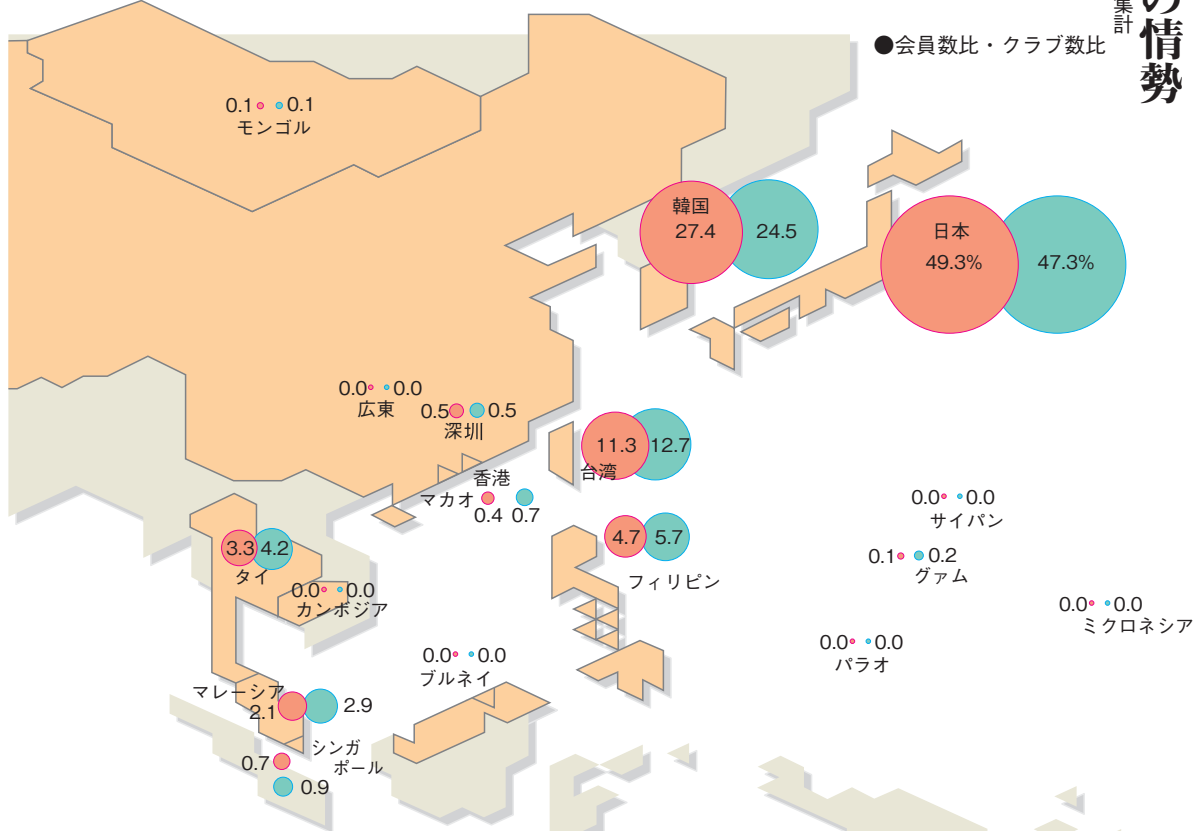
※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

東洋・東南アジアの情勢

［二〇〇三年六月三十日現在］国際本部集計

韓国・中国が躍進、日本・台湾は減少傾向が続く

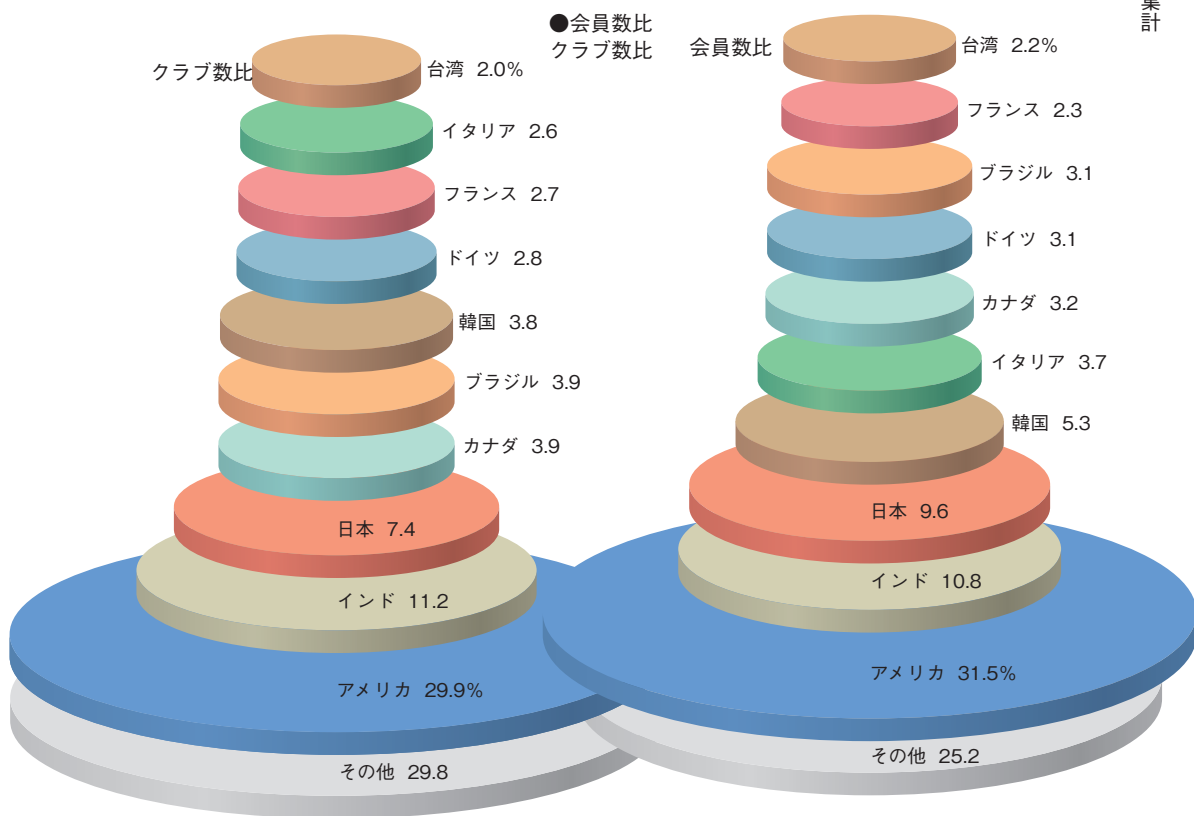
OSEALでは三年連続で韓国が大躍進。昨年度の韓国はクラブ数で百六クラブ、会員数では三千二百五十九人の純増があり、クラブ数比で〇・七ポイント増の二四・五パーセント、会員数比で一・五ポイント増の二七・五パーセントと大きな伸びを見せた。これと対照的なのは減少傾向がなかなか止まらない日本で、五千三百九十三人の会員減となり、会員数比で一・五ポイント減の四九・三パーセントと、ついに東洋・東南アジアでの過半数を割ってしまった。他の国では、中国でエクステンションが進み、会員が大幅増、一方、台湾は三年連続で会員数が減少しており、対照的な結果を見せた。

なお、地域全体では韓国、中国の躍進はあったものの、日本と台湾で大幅に会員を減らし、最終的には二千六百六十人の減少となってしまった。

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
グァム	14	0	4	△4	0.2	316	49	132	△83	0.1
ミクロネシア	2	0	0	0	0.0	39	1	3	△2	0.0
サイパン	3	0	3	△3	0.0	56	16	62	△46	0.0
パラオ	1	0	0	0	0.0	16	7	5	2	0.0
台湾	914	30	15	15	12.7	29,760	5,125	6,818	△1,693	11.3
フィリピン	409	36	18	18	5.7	12,449	2,513	2,349	164	4.7
香港	53	2	3	△1	0.7	1,149	266	239	27	0.4
マカオ	2	0	0	0	0.0	31	4	22	△18	0.0
マレーシア	210	13	2	11	2.9	5,637	896	735	161	2.1
シンガポール	67	5	3	2	0.9	1,750	342	401	△59	0.7
ブルネイ	2	0	0	0	0.0	40	1	0	1	0.0
タイ	304	9	11	△2	4.2	8,641	1,360	1,516	△156	3.3
日本	3,396	66	12	54	47.3	129,870	10,813	16,206	△5,393	49.3
韓国	1,760	123	17	106	24.5	72,323	16,018	12,759	3,259	27.4
モンゴル	5	1	0	1	0.1	138	32	13	19	0.1
カンボジア	3	1	0	1	0.0	71	20	0	20	0.0
広東	1	0	0	0	0.0	107	58	2	56	0.0
深圳	39	38	0	38	0.5	1,218	1,287	159	1,128	0.5
合計	7,184	323	89	234	100.0	263,591	38,788	41,448	△2,660	100.0

主要十カ国の情勢

[二〇〇三年六月三十日現在] 国際本部集計

上位四カ国に順位の変動なし、ドイツとブラジルが入れ替わる

百九十一のライオンズ国のうち、会員数の上位四カ国に変動はなかったが、二位のインドと四位の韓国が会員を増やしたのに対し、一位のアメリカと三位の日本は会員数を減らし、一位と二位、三位と四位の差は縮まっている。特にアメリカは自国のフクシマ会長がインパクト・プログラムを推進したにもかかわらず、新クラブの結成数が伸び悩んだ上、解散も多く、逆にクラブ数を減らしてしまった。これにより、アメリカのクラブ数は三〇パーセントを割ることになってしまった。そのほか目立ったところでは、ドイツが相変わらずの堅調さを見せており、三十七クラブ結成で解散ゼロ、会員数も順調に純増を重ねている。ドイツでは入会までに時間をかける伝統があり、入会は結婚と同じだという。その辺りは日本でも見習いたいものである。

	クラブ数	結成	解散	純増	クラブ数比	会員数	新入	退会	純増	会員数比
アメリカ	13,683	179	242	△63	29.9	427,847	47,306	54,259	△6,953	31.5
インド	5,122	676	229	447	11.2	147,179	30,644	30,210	434	10.8
日本	3,396	66	12	54	7.4	129,870	10,813	16,206	△5,393	9.6
韓国	1,760	123	17	106	3.8	72,323	16,018	12,759	3,259	5.3
イタリア	1,194	33	4	29	2.6	49,696	4,192	3,362	830	3.7
カナダ	1,794	21	19	2	3.9	43,585	4,870	5,270	△400	3.2
ドイツ	1,262	37	0	37	2.8	42,221	2,827	1,758	1,069	3.1
ブラジル	1,764	30	76	△46	3.9	41,558	4,938	7,005	△2,067	3.1
フランス	1,236	19	6	13	2.7	31,700	2,478	2,596	△118	2.3
台湾	914	30	15	15	2.0	29,760	5,125	6,818	△1,693	2.2
その他	13,641	742	362	380	29.8	341,552	47,929	41,988	5,941	25.2
合計	45,766	1,956	982	974	100.0	1,357,291	177,140	182,231	△5,091	100.0

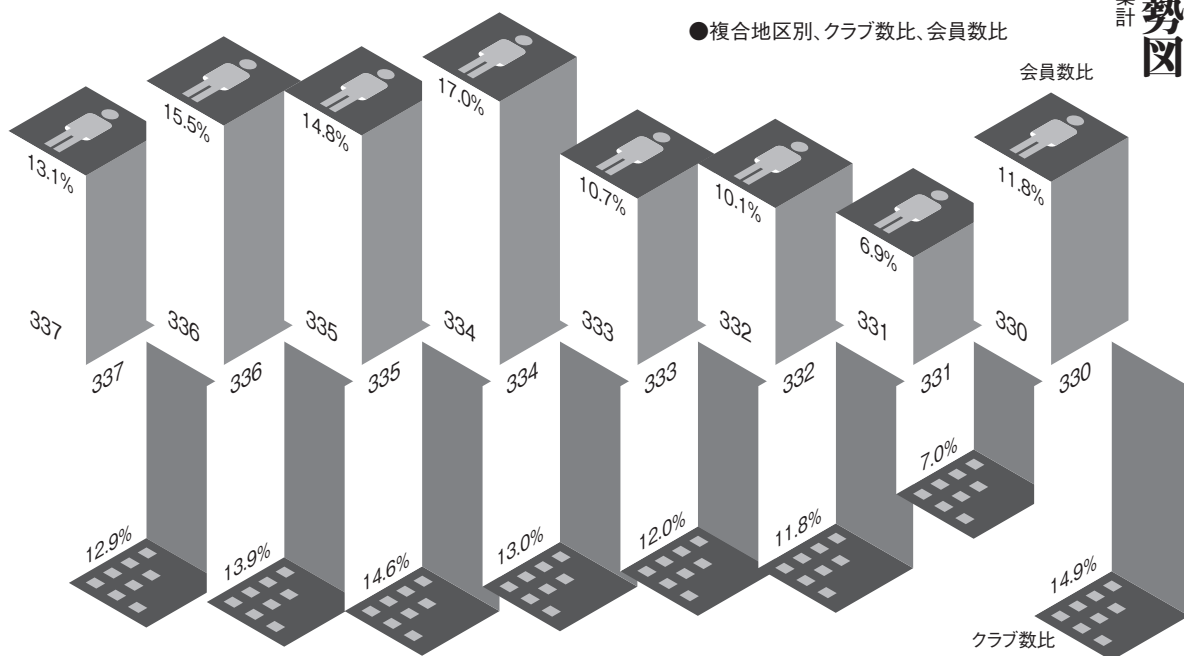
※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

複合地区・準地区情勢図

【二〇〇三年六月三十日現在】国際本部集計

三十一準地区で会員減少

国際本部の集計によると、〇三年六月末の日本ライオンズの情勢は、三千三百九十六クラブ、会員十二万九千八百七十人だった。クラブ数では、昨年度内に新しく結成されたクラブは六十六、解散したクラブは十二クラブで、前年同期に比べて五十四クラブ増となった。前年度の四クラブ増に比較して飛躍的な伸びを見せている。昨年度の国際プログラムはエクステンションに重点を置き、新結成クラブを倍増させる目標が掲げられた。その推進のために新設されたインパクト・プログラムが、日本でも成果を挙げたものと考えられる。また、会員数は全体で五千三百九十三人の減少で、332・E地区を除く三十一準地区で減少。全体の減少率は四・〇パーセント。複合地区別に見ると、332複合地区が三・〇パーセントと最も低く、334複合地区の四・八パーセントが最も高い。

●複合地区別、クラブ数比、会員数比

複合地区	準地区	クラブ数 2002.6	クラブ数 2003.6	会員数 2002.6	会員数 2003.6	クラブ増加	会員増加
330	330-A	195	197	6,116	5,823	2	△ 293
	330-B	193	199	6,480	6,289	6	△ 191
	330-C	112	111	3,414	3,261	△ 1	△ 153
小計		500	507	16,010	15,373	7	△ 637
331	331-A	74	75	3,187	3,029	1	△ 158
	331-B	100	100	3,683	3,536	0	△ 147
	331-C	62	62	2,529	2,426	0	△ 103
小計		236	237	9,399	8,991	1	△ 408
332	332-A	66	67	2,528	2,428	1	△ 100
	332-B	55	56	2,135	2,046	1	△ 89
	332-C	80	81	2,094	2,014	1	△ 80
	332-D	82	82	2,681	2,509	0	△ 172
	332-E	52	57	2,199	2,251	5	52
	332-F	55	57	1,828	1,809	2	△ 19
小計		390	400	13,465	13,057	10	△ 408
333	333-A	137	140	5,896	5,618	3	△ 278
	333-B	143	140	4,885	4,695	△ 3	△ 190
	333-C	125	126	3,865	3,647	1	△ 218
小計		405	406	14,646	13,960	1	△ 686
334	334-A	110	114	6,683	6,413	4	△ 270
	334-B	90	92	4,730	4,534	2	△ 196

複合地区	準地区	クラブ数 2002.6	クラブ数 2003.6	会員数 2002.6	会員数 2003.6	クラブ増加	会員増加
	334-C	83	84	4,027	3,866	1	△ 161
	334-D	98	98	4,954	4,679	0	△ 275
	334-E	55	55	2,839	2,625	0	△ 214
小計		436	443	23,233	22,117	7	△ 1,116
335	335-A	112	116	3,868	3,714	4	△ 154
	335-B	179	190	8,004	7,790	11	△ 214
	335-C	120	122	5,311	4,985	2	△ 326
	335-D	66	67	2,904	2,752	1	△ 152
小計		477	495	20,087	19,241	18	△ 846
336	336-A	149	151	7,121	6,931	2	△ 190
	336-B	103	104	4,702	4,443	1	△ 259
	336-C	107	107	4,536	4,427	0	△ 109
	336-D	108	109	4,443	4,313	1	△ 130
小計		467	471	20,802	20,114	4	△ 688
337	337-A	120	119	5,555	5,466	△ 1	△ 89
	337-B	93	94	3,582	3,441	1	△ 141
	337-C	79	82	3,488	3,295	3	△ 193
	337-D	139	142	4,996	4,815	3	△ 181
小計		431	437	17,621	17,017	6	△ 604
合計		3,342	3,396	135,263	129,870	54	△ 5,393

二〇〇二-〇三年度会員数の推移

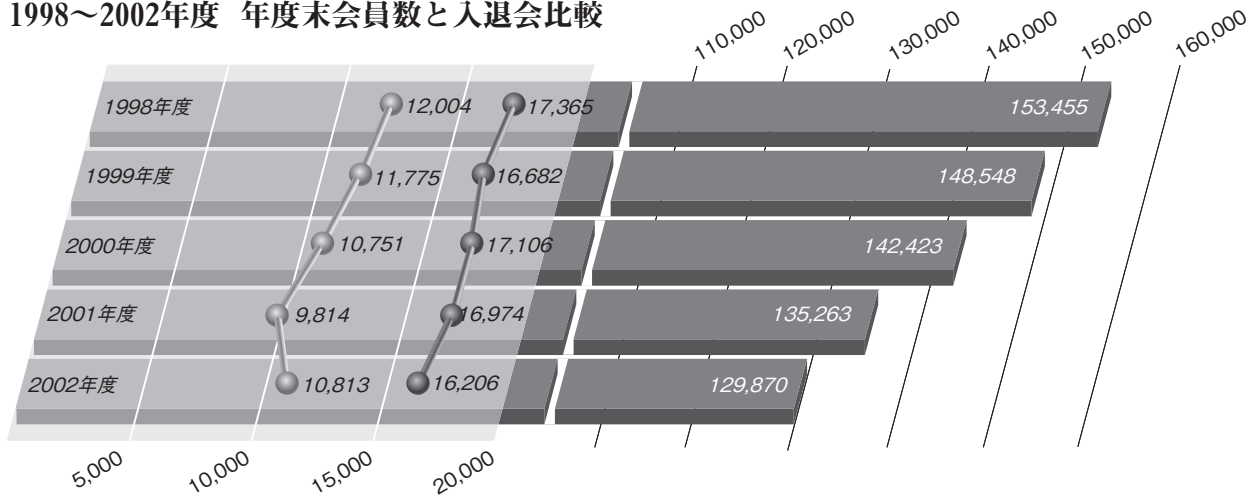
国際本部集計

十五年ぶりに日本ライオンズの会員数が十三万人を割る

　昨年、日本ライオンズは会員数十三万五千二百六十三人でスタートし、最終的には十二万九千八百七十人で年度を終了した。会員数が十三万人を割ったのは十五年ぶりのこと。月別に見ると、七月、九月、十月と翌年一月、二月、四月の六カ月は会員数が純増しているが、その他の月は純減。とくに半期末十二月と年度末六月に退会者が激増している。年間の入会者は一万八百十三人、退会者は一万六千二百六人で、五千三百九十三人の減少となった。会員数のマイナス成長は十年連続のこと。しかし、昨年度と比較すると、退会者は七百人あまり減少し（昨年度一万六千九百七十四人）、入会者数は約千人増加（同じく九千八百十四人）。この入会者数の増加には、前年の三倍に上る新クラブが結成されたことが大きく寄与している。九九年度が四千九百七人減、〇〇年度が六千三百四十七人減、〇一度が七千百六十人減と、過去三年間にわたって年々、マイナス傾向が強まってきたが、昨年度はわずかながら減少ペースを落としたことになる。

2003年1月			2003年2月			2003年3月			2003年4月			2003年5月			2003年6月			年間合計		
新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	純増
82	56	6,071	16	33	6,054	42	33	6,063	27	41	6,049	16	40	6,025	93	295	5,823	506	799	△ 293
27	52	6,465	49	39	6,475	82	25	6,532	56	36	6,552	21	64	6,509	58	278	6,289	597	788	△ 191
9	26	3,370	13	21	3,362	9	15	3,356	15	17	3,354	29	13	3,370	32	141	3,261	221	374	△ 153
8	24	3,179	15	17	3,177	20	42	3,155	25	27	3,153	4	23	3,134	36	141	3,029	237	395	△ 158
24	26	3,672	15	15	3,672	7	33	3,646	30	33	3,643	12	8	3,647	9	120	3,536	227	374	△ 147
12	16	2,513	14	13	2,514	18	25	2,507	19	23	2,503	5	6	2,502	6	82	2,426	190	293	△ 103
12	9	2,537	16	14	2,539	15	18	2,536	3	18	2,521	6	20	2,507	10	89	2,428	168	268	△ 100
18	12	2,121	11	7	2,125	11	9	2,127	10	21	2,116	4	15	2,105	35	94	2,046	180	269	△ 89
8	13	2,067	3	20	2,050	4	10	2,044	71	19	2,096	6	15	2,087	12	85	2,014	182	262	△ 80
22	34	2,615	11	12	2,614	12	29	2,597	13	18	2,592	18	26	2,584	7	82	2,509	167	339	△ 172
19	20	2,207	45	6	2,246	69	13	2,302	41	13	2,330	6	11	2,325	15	89	2,251	297	245	52
10	9	1,810	3	3	1,810	7	14	1,803	8	11	1,800	10	9	1,801	57	49	1,809	175	194	△ 19
66	30	5,850	72	32	5,890	15	40	5,865	17	50	5,832	17	37	5,812	33	227	5,618	417	695	△ 278
17	21	4,859	19	28	4,850	13	14	4,849	15	23	4,841	12	40	4,813	72	190	4,695	310	500	△ 190
16	39	3,798	29	22	3,805	5	26	3,784	14	22	3,776	10	30	3,756	42	151	3,647	256	474	△ 218
28	34	6,613	26	27	6,612	53	24	6,641	104	52	6,693	25	53	6,665	26	278	6,413	484	754	△ 270
25	23	4,657	70	16	4,711	29	33	4,707	25	22	4,710	17	26	4,701	43	210	4,534	319	515	△ 196
48	25	4,011	20	20	4,011	20	19	4,012	14	33	3,993	13	21	3,985	26	145	3,866	261	422	△ 161
11	28	4,876	10	17	4,869	9	19	4,859	15	34	4,840	7	20	4,827	35	183	4,679	238	513	△ 275
10	15	2,796	11	12	2,795	12	14	2,793	12	17	2,788	4	24	2,768	7	150	2,625	149	363	△ 214
40	16	3,884	18	11	3,891	28	12	3,907	37	14	3,930	6	16	3,920	41	247	3,714	335	489	△ 154
66	71	7,847	68	43	7,872	94	43	7,923	130	26	8,027	55	35	8,047	137	394	7,790	769	983	△ 214
9	47	5,140	19	20	5,139	56	38	5,157	13	31	5,139	16	24	5,131	55	201	4,985	331	657	△ 326
5	10	2,867	5	8	2,864	4	13	2,855	31	12	2,874	8	33	2,849	16	113	2,752	148	300	△ 152
72	51	7,147	31	41	7,137	32	98	7,071	75	55	7,091	28	43	7,076	78	223	6,931	707	897	△ 190
29	38	4,592	13	33	4,572	25	48	4,549	43	27	4,565	23	27	4,561	37	155	4,443	305	564	△ 259
68	17	4,591	29	32	4,588	19	38	4,569	18	15	4,572	18	15	4,575	24	172	4,427	361	470	△ 109
32	33	4,403	31	24	4,410	23	35	4,398	59	42	4,415	43	34	4,424	46	157	4,313	433	563	△ 130
45	31	5,562	71	42	5,591	22	41	5,572	47	34	5,585	59	44	5,600	72	206	5,466	585	674	△ 89
22	24	3,592	24	47	3,569	13	43	3,539	22	44	3,517	17	13	3,521	61	141	3,441	341	482	△ 141
29	29	3,436	38	36	3,438	61	53	3,446	16	33	3,429	11	28	3,412	37	154	3,295	353	546	△ 193
52	56	5,004	51	37	5,018	52	81	4,989	56	55	4,990	24	45	4,969	52	206	4,815	564	745	△ 181
941	935	134,152	866	748	134,270	881	998	134,153	1,081	918	134,316	550	858	134,008	1,310	5,448	129,870	10,813	16,206	△ 5,393

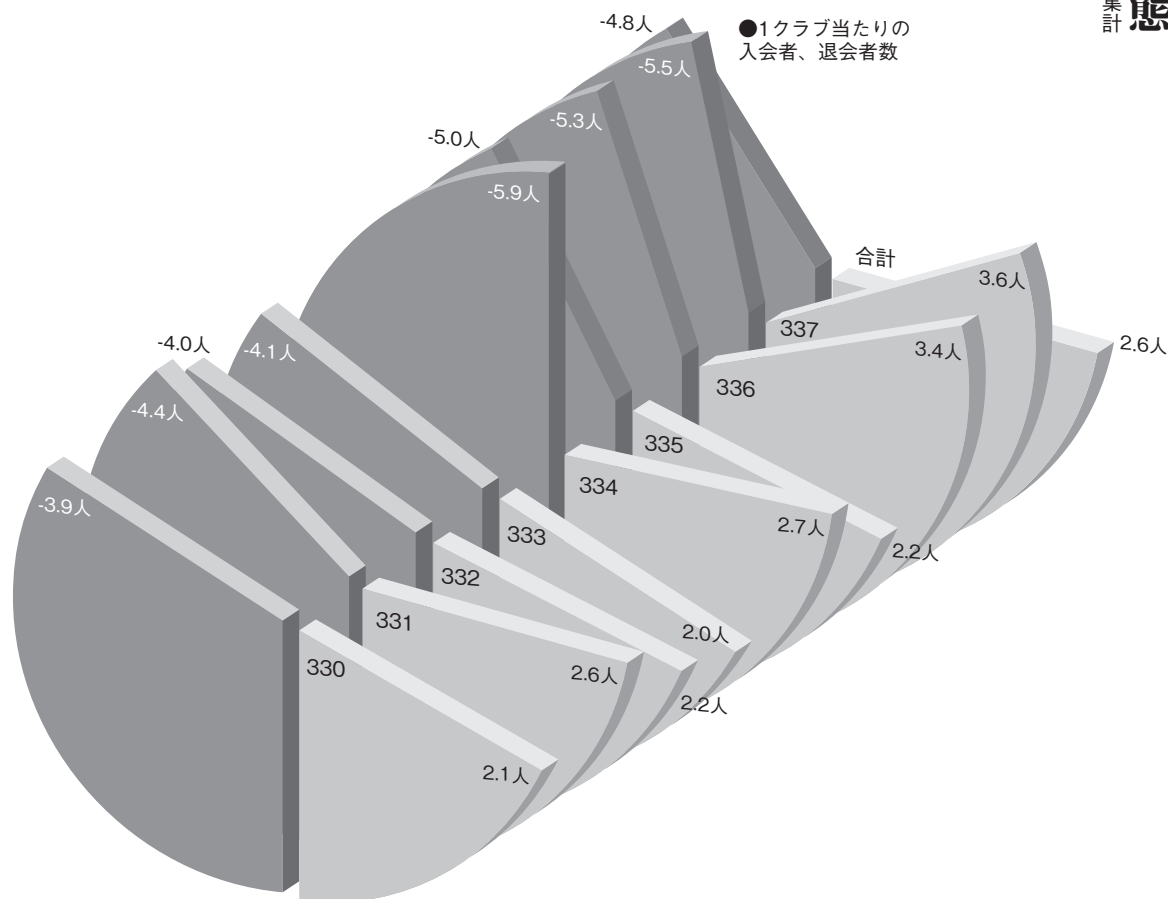
統計II　日本のライオンズ

1998～2002年度　年度末会員数と入退会比較

	2002年6月	2002年7月			2002年8月			2002年9月			2002年10月			2002年11月			2002年12月		
地区	会員数	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末	新	退	末
330-A	6,116	82	84	6,114	38	79	6,073	34	27	6,080	19	24	6,075	30	23	6,082	27	64	6,045
330-B	6,480	117	70	6,527	43	47	6,523	46	25	6,544	23	35	6,532	30	39	6,523	45	78	6,490
330-C	3,414	45	43	3,416	15	18	3,413	15	17	3,411	20	9	3,422	4	14	3,412	15	40	3,387
331-A	3,187	48	33	3,202	23	18	3,207	11	16	3,202	21	17	3,206	10	20	3,196	16	17	3,195
331-B	3,683	48	55	3,676	21	12	3,685	20	12	3,693	21	11	3,703	6	14	3,695	14	35	3,674
331-C	2,529	34	31	2,532	14	26	2,520	25	21	2,524	23	16	2,531	9	5	2,535	11	29	2,517
332-A	2,528	23	25	2,526	11	11	2,526	42	16	2,552	6	9	2,549	16	21	2,544	8	18	2,534
332-B	2,135	37	36	2,136	11	13	2,134	11	14	2,131	13	9	2,135	11	16	2,130	8	23	2,115
332-C	2,094	30	30	2,094	14	14	2,094	8	9	2,093	9	12	2,090	4	14	2,080	13	21	2,072
332-D	2,681	27	29	2,679	17	25	2,671	21	21	2,671	11	14	2,668	2	14	2,656	6	35	2,627
332-E	2,199	40	29	2,210	20	15	2,215	14	9	2,220	10	12	2,218	10	9	2,219	8	19	2,208
332-F	1,828	36	36	1,828	11	13	1,826	3	7	1,822	9	10	1,821	12	12	1,821	9	21	1,809
333-A	5,896	74	88	5,882	15	34	5,863	37	33	5,867	25	29	5,863	28	32	5,859	18	63	5,814
333-B	4,885	66	53	4,898	29	25	4,902	22	19	4,905	16	23	4,898	18	28	4,888	11	36	4,863
333-C	3,865	39	52	3,852	18	37	3,833	15	25	3,823	32	25	3,830	15	11	3,834	21	34	3,821
334-A	6,683	65	69	6,679	25	45	6,659	16	25	6,650	65	33	6,682	30	36	6,676	21	78	6,619
334-B	4,730	30	53	4,707	14	22	4,699	23	17	4,705	22	17	4,710	13	13	4,710	8	63	4,655
334-C	4,027	46	32	4,041	8	19	4,030	10	23	4,017	13	22	4,008	23	11	4,020	20	52	3,988
334-D	4,954	59	59	4,954	36	38	4,952	16	23	4,945	15	18	4,942	21	22	4,941	4	52	4,893
334-E	2,839	17	27	2,829	18	23	2,824	23	16	2,831	18	12	2,837	12	17	2,832	5	36	2,801
335-A	3,868	53	26	3,895	41	22	3,914	21	19	3,916	26	13	3,929	13	16	3,926	11	77	3,860
335-B	8,004	50	57	7,997	30	59	7,968	41	41	7,968	33	29	7,972	33	31	7,974	32	154	7,852
335-C	5,311	55	54	5,312	18	75	5,255	18	37	5,236	29	40	5,225	23	36	5,212	20	54	5,178
335-D	2,904	23	22	2,905	5	9	2,901	5	6	2,900	36	5	2,931	8	9	2,930	2	60	2,872
336-A	7,121	138	80	7,179	74	66	7,187	54	54	7,187	71	51	7,207	31	29	7,209	23	106	7,126
336-B	4,702	35	56	4,681	24	27	4,678	19	38	4,659	29	30	4,658	21	25	4,654	7	60	4,601
336-C	4,536	61	41	4,556	21	25	4,552	23	18	4,557	41	21	4,577	19	17	4,579	20	59	4,540
336-D	4,443	63	87	4,419	31	23	4,427	25	20	4,432	28	42	4,418	26	20	4,424	26	46	4,404
337-A	5,555	98	93	5,560	45	48	5,557	41	29	5,569	27	23	5,573	29	18	5,584	29	65	5,548
337-B	3,582	56	53	3,585	20	26	3,579	32	19	3,592	40	25	3,607	10	17	3,600	24	30	3,594
337-C	3,488	40	71	3,457	35	40	3,452	26	17	3,461	25	23	3,463	16	26	3,453	19	36	3,436
337-D	4,996	72	70	4,998	65	40	5,023	31	37	5,017	26	38	5,005	36	23	5,018	47	57	5,008
	135,263	1,707	1,644	135,326	810	994	135,142	748	710	135,180	802	697	135,285	569	638	135,216	548	1,618	134,146

複合地区別会員動態

[二〇〇三年六月三十日現在] 国際本部集計

昨年度の日本ライオンズの会員減少は一クラブ平均二・二人

国際協会集計による昨年度の日本ライオンズの会員動態を見てみよう。新クラブ結成を除いた既存クラブの入退会者は日本全体で、平均二・六人の入会、同四・八人の退会で、一クラブ当たり二・二人が減少したことになる。また、複合地区別に平均会員数を比べてみると、最も多いのは334複合地区の四十九・九人で以下336複合地区四十二・七人、335、337複合地区三十八・九人と続く。逆に少ないのは330複合地区の三十・三人、次いで332複合地区三十二・六人と続く。全体では、昨年度四十・五人だった平均会員数が三十八・二人と、二・三人の減少となった。新結成クラブ増加によって、前年度は七百十五人だったチャーター・メンバー数が千九百三十四人と大きく伸び、年々強まってきたマイナス傾向に幾分の歯止めをかけた。

	新入・再入会	退会	純増	チャーター・メンバー	純増 ※含新クラブ	1クラブ当たり入会者	1クラブ当たり退会者	平均会員数	平均会員数 ※含新クラブ	転籍	年度末会員数	年度末クラブ数
330複合地区	1,026	1,926	△900	263	△637	2.1	3.9	30.2	30.3	35	15,373	507
331複合地区	614	1,028	△414	6	△408	2.6	4.4	38.1	37.9	34	8,991	237
332複合地区	865	1,562	△697	289	△408	2.2	4.0	32.7	32.6	15	13,057	400
333複合地区	793	1,658	△865	179	△686	2.0	4.1	34.0	34.4	11	13,960	406
334複合地区	1,171	2,551	△1,380	264	△1,116	2.7	5.9	50.1	49.9	16	22,117	443
335複合地区	1,031	2,402	△1,371	525	△846	2.2	5.0	39.2	38.9	27	19,241	495
336複合地区	1,572	2,458	△886	198	△688	3.4	5.3	42.6	42.7	36	20,114	471
337複合地区	1,562	2,376	△814	210	△604	3.6	5.5	39.0	38.9	71	17,017	437
合計	8,634	15,961	△7,327	1,934	△5,393	2.6	4.8	38.3	38.2	245	129,870	3,396

※年度末クラブ数・会員数には、ステータス・クオも含む

入退会者調査

［二〇〇三年九月～十月］
ライオン誌日本語版事務所集計

退会者の三八パーセントが在籍五年未満の会員

国内の全クラブを対象に実施したクラブ・アンケートの結果から、二〇〇二‐〇三年度の入退会者の実像を探る。新会員の年齢層は五十歳代の三七・八パーセント、四十歳代の二七・五パーセントで全体の六五・三パーセントを占める。昨年と比べて三・五パーセント減少。二十歳代の入会者も一パーセント減り、その一方で、六十歳代、七十歳代の新会員がそれぞれ三・五パーセント、一・五パーセントずつ増加している。また、退会者の在籍年数は例年、短いほど割合が高くなっていたが、今回は在籍年数六～九年が一五・三パーセントで、三～五年の一四・八パーセントを上回った。退会理由は昨年の調査と大きな変動は見られず、仕事上の理由(三七・五パーセント)、健康上の理由(一五・〇パーセント)、転勤・転居(九・四パーセント)の順になっている。

調査時期／2003年9月12日～10月10日
調査対象／全国 3,393クラブ
回答数／1,415クラブ
回収率／41.6％
調査機関／ライオン誌日本語版事務所

Q1. 昨年度(2002-03年度) 中に入会した新会員の年齢層。

1. 20歳代	57	1.5%
2. 30歳代	318	8.3%
3. 40歳代	1,052	27.5%
4. 50歳代	1,443	37.8%
5. 60歳代	807	21.1%
6. 70歳以上	147	3.8%

Q2. 昨年度 (2002-03年度) 中に退会した会員の年齢層。

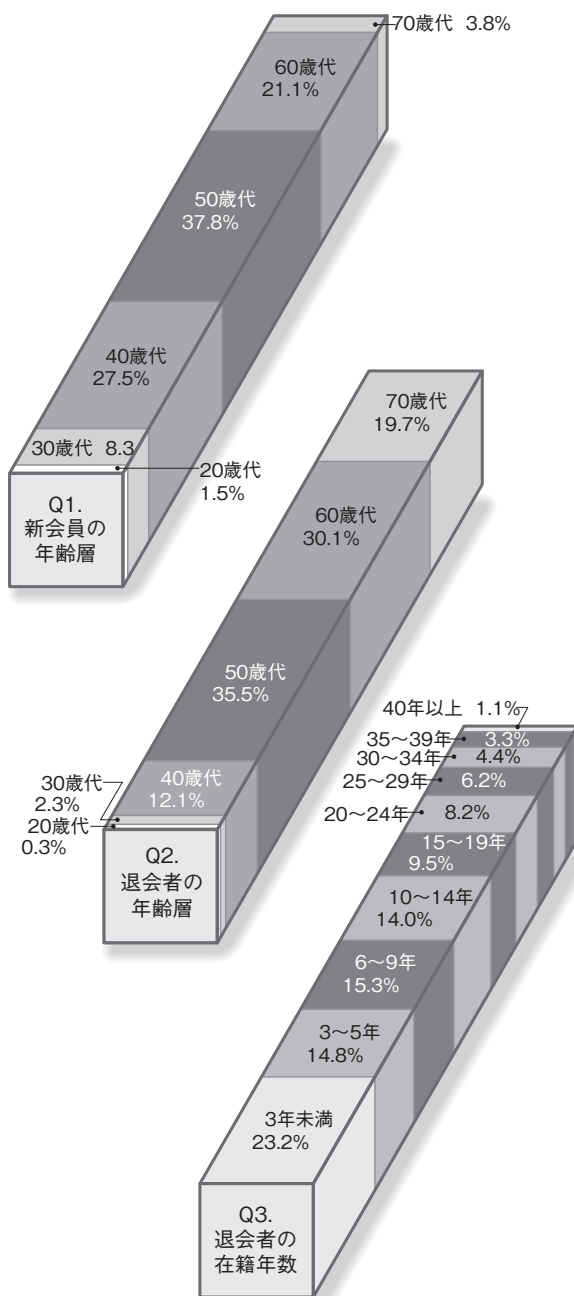
1. 20歳代	18	0.3%
2. 30歳代	137	2.3%
3. 40歳代	729	12.1%
4. 50歳代	2,145	35.5%
5. 60歳代	1,821	30.1%
6. 70歳以上	1,194	19.7%

Q3. 昨年度 (2002-03年度) 中に退会した会員の在籍年数。

1. 3年未満	1,400	23.2%
2. 3～5年	895	14.8%
3. 6～9年	923	15.3%
4. 10～14年	842	14.0%
5. 15～19年	574	9.5%
6. 20～24年	497	8.2%
7. 25～29年	374	6.2%
8. 30～34年	263	4.4%
9. 35～39年	202	3.3%
10. 40年以上	65	1.1%

Q4. 昨年度 (2002-03年度) 中に退会した会員の退会理由。

1. 死亡	504	8.4%
2. 健康上の理由	897	15.0%
3. 仕事上の理由	2,240	37.5%
4. 長期欠席	241	4.0%
5. 他の会員との不和	47	0.8%
6. 他クラブへの転籍	78	1.3%
7. 転勤・転居	559	9.4%
8. 引退・代替わり	156	2.6%
9. その他	1,151	19.3%

統計Ⅱ 日本のライオンズ

クラブ・アンケート

［二〇〇三年九月〜十月］
ライオン誌日本語版事務所集計

年会費は十万円以上二十万円未満が全体の六〇パーセント

全国三千三百九十三クラブを対象に本誌が実施したアンケート（回収率四一・六パーセント）の結果から、昨年度の入会金及び年会費の現状を探る。入会金は三万円以上六万円未満が全体の四六・九パーセントでトップ。第二位の一万円以上三万円未満の三一・四パーセントを加えると全体の七八・三パーセントで、昨年より三・二パーセント増加した。その一方で、九万円以上の割合が三・二パーセント減少している。

年会費は十五万円以上二十万円未満と、十万円以上十五万円未満がいずれも三〇・八パーセントで、全体の六〇パーセントを占めている。前年度との比較では大きな変動は見られないものの、二十万円以上の割合が一・七パーセント減少し、その分だけ十五万円未満が増えている。

ＩＴを利用した各種報告書提出は約五〇パーセントのクラブが利用

クラブの業務におけるインターネット利用状況について調査した。ＩＴ化によって郵送費や通信費の削減が望めることから、ここ数年間に各種報告書のインターネットを利用した提出が普及しつつある。現在、国際協会への月例報告書はオンラインで、ライオン誌日本語版事務所への報告書はＥメールの添付書類で提出することが可能。地区への報告書提出は、既に実施している地区としていない地区がある。全体では国際協会、地区への報告書提出が約五五パーセント、ライオン誌が約四〇パーセントとなっているが、複合地区別に見るとＩＴ化の進捗状況に大きな開きがあることが分かる。ＩＴ化が最も進んでいる335複合地区を筆頭に334、336複合地区でいずれもインターネット利用率が高い。一方、332、337、330、331の各複合地区では、インターネットを利用していないクラブの割合が高くなっている。

Q5. 現在、貴クラブの入会金いくらですか。

1. 入会金無し	82	5.9%
2. 1万円未満	41	2.9%
3. 1万円以上3万円未満	439	31.4%
4. 3万円以上6万円未満	654	46.9%
5. 6万円以上9万円未満	56	4.0%
6. 9万円以上12万円未満	111	8.0%
7. 12万円以上15万円未満	2	0.1%
8. 15万円以上20万円未満	9	0.6%
9. 20万円以上	3	0.2%

Q6. 今年度の貴クラブの年会費は例会費などすべて含めていくらですか。

1. 5万円未満	14	1.0%
2. 5万円以上10万円未満	120	8.6%
3. 10万円以上15万円未満	430	30.8%
4. 15万円以上20万円未満	430	30.8%
5. 20万円以上25万円未満	258	18.4%
6. 25万円以上30万円未満	90	6.4%
7. 30万円以上	56	4.0%

Q7. 固定の事務局がありますか

ある	1,286	92.4%
ない	106	7.6%

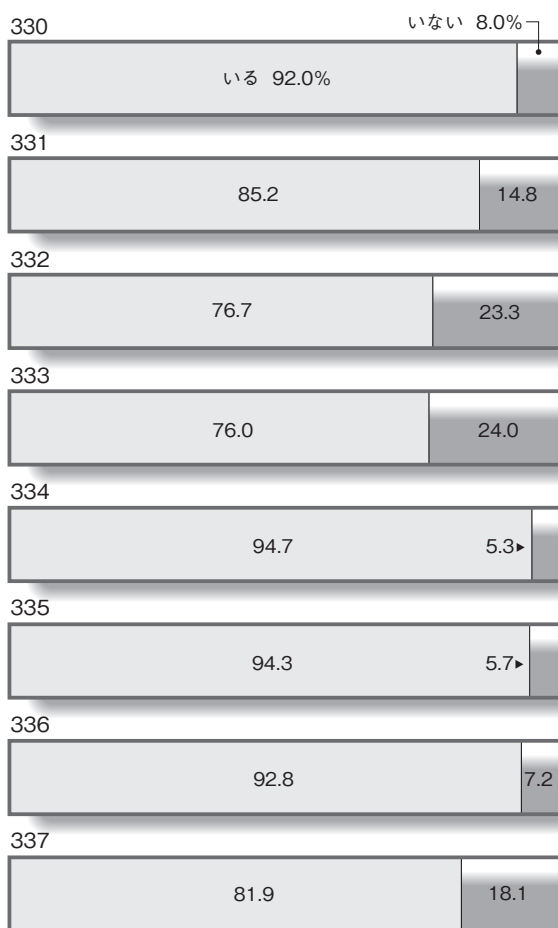
Q8. 専任の事務局員がいますか

いる	1,219	87.4%
いない	176	12.6%

Q8. 専任の事務局員がいますか

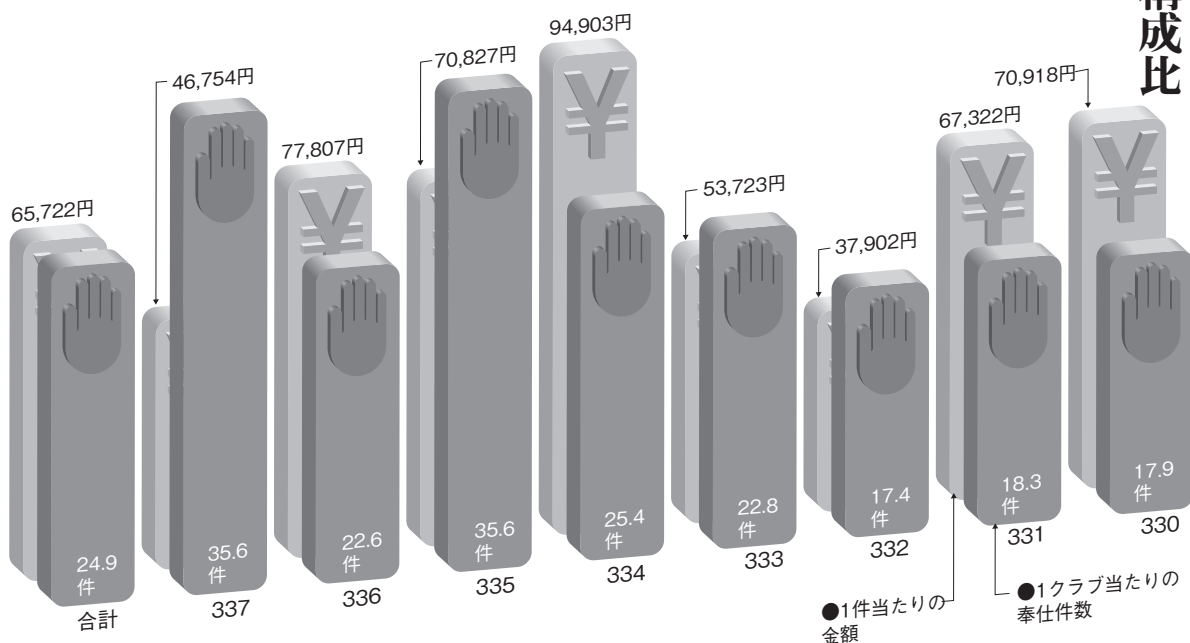
複合地区	いる	いない
330	92.0%	8.0%
331	85.2	14.8
332	76.7	23.3
333	76.0	24.0
334	94.7	5.3
335	94.3	5.7
336	92.8	7.2
337	81.9	18.1

Q9. インターネットに接続している場合、どのような業務に利用していますか（複数回答可）

	330(%)	331(%)	332(%)	333(%)	334(%)	335(%)	336(%)	337(%)	全国平均(%)
Eメール送受信(通信事務)	47.3	26.5	34.2	52.8	87.8	96.4	80.3	48.8	62.7
国際協会への月例報告書提出	28.5	19.7	30.9	61.4	77.8	92.7	77.8	37.3	56.8
地区への月例報告書提出	14.5	14.4	26.3	51.7	89.6	95.9	73.7	31.3	54.0
ライオン誌日本語版事務所への月例報告書提出	17.6	26.5	20.4	38.1	54.8	60.6	60.6	35.5	41.4
ホームページ閲覧	37.0	14.4	22.4	45.5	53.0	68.9	63.1	31.9	44.4
ホームページ作成	17.0	7.6	10.5	20.5	30.9	26.4	25.3	19.3	20.8
その他	5.5	1.5	3.3	1.7	1.7	2.6	2.0	2.4	2.5
利用していない	38.2	37.1	54.6	28.4	6.5	1.6	13.6	45.8	25.9

アクティビティ地区別構成比

【二〇〇二‐〇三年度集計】
ライオン誌日本語版事務所集計

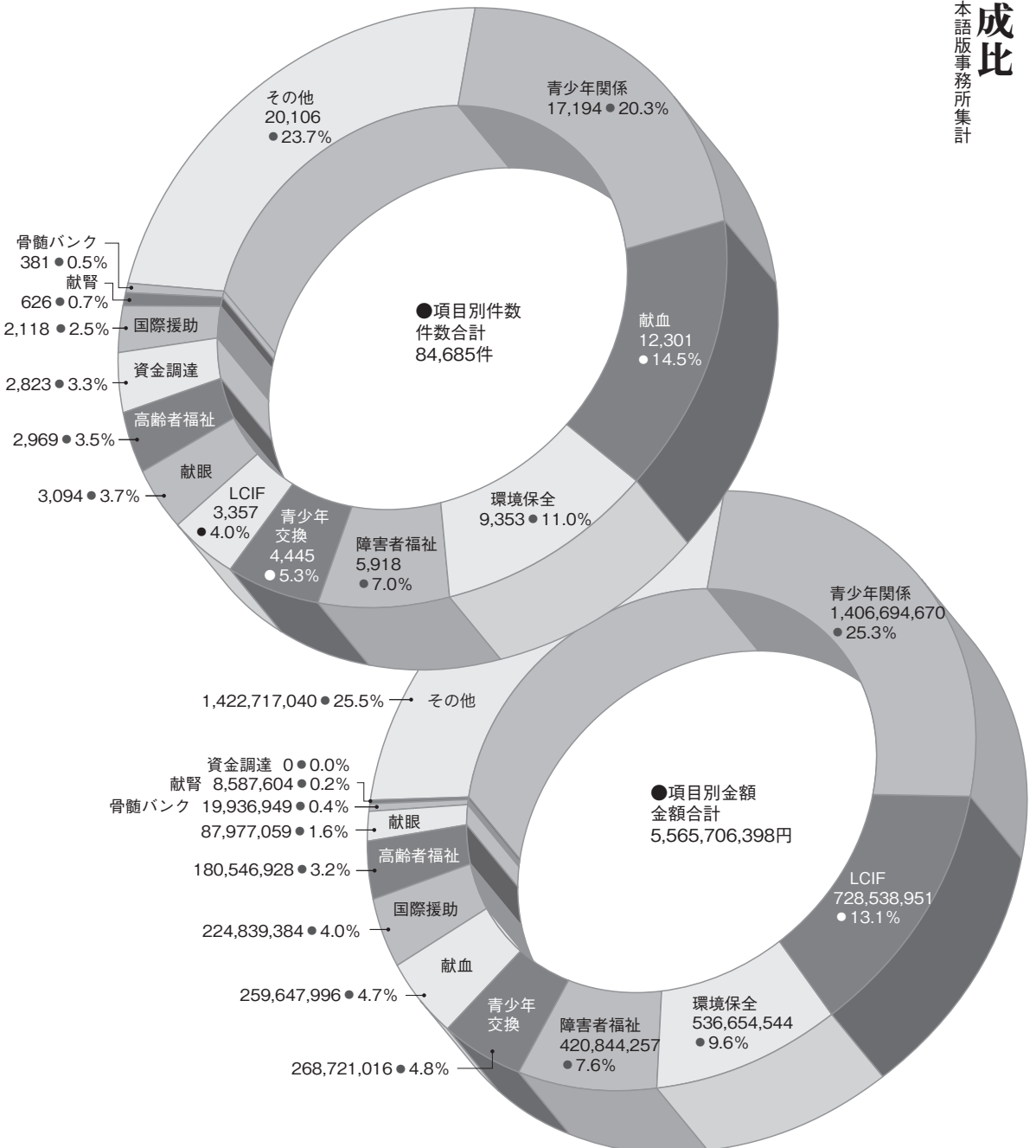
日本ライオンズのアクティビティは総額約五十六億円

ライオン誌日本語版事務所が各クラブからの会員並びにクラブ活動情況報告書を基に集計した二〇〇二‐〇三年度の日本ライオンズのアクティビティは、八万四千六百八十五件、総額五十五億六千五百七十万六千三百九十八円だった。前年度に比べると件数は一万八千十四件（一七・五％）、金額では約十六億円（二二・〇％）の大きな減少となった（前年度件数十万二千六百九十九件、総額七十一億三千三百二十万五千四百十六円）。年間の一クラブ当たりの件数は前年度から五・八件減少して二十四・九件に、アクティビティ一件当たりの金額は三千七百三十五円減少して六万五千七百二十二円となった。グラフ及び表組みで地区別に構成比を出してみた。

複合地区	準地区	件数	1クラブ当たり件数	金額	1件当たり金額
330	330-A	3,045	15.5	277,004,189	90,970
	330-B	4,214	21.2	273,501,791	64,903
	330-C	1,798	16.2	91,795,841	51,054
小計		9,057	17.9	642,301,821	70,918
331	331-A	1,507	20.1	114,536,183	76,003
	331-B	1,518	15.2	90,297,011	59,484
	331-C	1,306	21.1	86,739,702	66,416
小計		4,331	18.3	291,572,896	67,322
332	332-A	950	14.2	39,255,768	41,322
	332-B	1,320	23.6	54,645,075	41,398
	332-C	1,647	20.3	54,016,172	32,797
	332-D	1,453	17.7	47,971,172	33,015
	332-E	952	16.7	43,520,855	45,715
	332-F	654	11.5	24,995,134	38,219
小計		6,976	17.4	264,404,176	37,902
333	333-A	3,260	23.3	158,751,457	48,697
	333-B	3,267	23.3	185,989,036	56,930
	333-C	2,736	21.7	152,891,111	55,881
小計		9,263	22.8	497,631,604	53,723
334	334-A	2,520	22.1	397,846,698	157,876
	334-B	2,117	23	200,617,878	94,765
	334-C	1,904	22.7	132,072,214	69,366
	334-D	2,631	26.8	181,166,094	68,858
	334-E	2,070	37.6	155,194,247	74,973
小計		11,242	25.4	1,066,897,131	94,903
335	335-A	4,252	36.7	267,500,945	62,912
	335-B	5,482	28.9	496,132,555	90,502
	335-C	5,925	48.6	356,968,599	60,248
	335-D	1,973	29.4	128,212,262	64,983
小計		17,632	35.6	1,248,814,361	70,827
336	336-A	3,489	23.1	226,700,821	64,976
	336-B	2,044	19.7	143,012,383	69,967
	336-C	2,755	25.7	330,713,131	120,041
	336-D	2,335	21.4	126,115,506	54,011
小計		10,623	22.6	826,541,841	77,807
337	337-A	5,761	48.4	297,690,830	51,673
	337-B	3,118	33.2	130,478,388	41,847
	337-C	2,665	32.5	126,844,790	47,597
	337-D	4,017	28.3	172,528,560	42,950
小計		15,561	35.6	727,542,568	46,754
合計		84,685	24.9	5,565,706,398	65,722

主要アクティビティ構成比

［二〇〇二・〇三年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

日本ライオンズの最大アクティビティは「青少年関係」

各クラブ報告を元に集計した日本ライオンズのアクティビティのうち、件数、金額共最も多かったのは今年も青少年関係のアクティビティで、件数では一万七千百九十四件で全体の二〇・三パーセント、金額では十四億六百六十九万四千六百七十円、同二五・三パーセントを占める。以下、件数では献血一万二千三百一件（一四・五パーセント）、環境保全九千三百五十三件（一一・〇パーセント）と続き、金額ではＬＣＩＦが七億二千八百五十三万八千九百五十一円（一三・一パーセント）、環境保全、五億三千六百六十五万四千五百四十四円（九・六パーセント）となっている。各アクティビティの全体に占める割合は、件数、金額共昨年と比べて一・五ポイント以上変動したものはなく、全体が均等に縮小した。

献血・献眼・献腎

［二〇〇二・〇三年度集計］
ライオン誌日本語版事務所集計

献血約一万二千三百件、献眼約三千件、献腎約六百三十件

●昨年度一年間に実施された日本ライオンズの献血奉仕は、前年度に比べて件数で九・七パーセント、金額では一九・五パーセントの減少を見せた。また献血者数は全体で一八・六パーセント減少する中で、成分献血のみ九・一パーセント増加があった。成分献血の普及がうかがえる。

●献眼は件数では対前年度比一八・一パーセント減、金額で同二〇・三パーセント減。またアイバンク登録者は二二・六パーセント減少したが、角膜提供者は一四・九パーセント増加した。

●献腎は件数で対前年度三〇・二パーセント減、金額では同四九・五パーセント減となったが、腎バンク登録者は八・一パーセント増加。全体の半数近くを占める337複合地区の登録者が大きく貢献している。

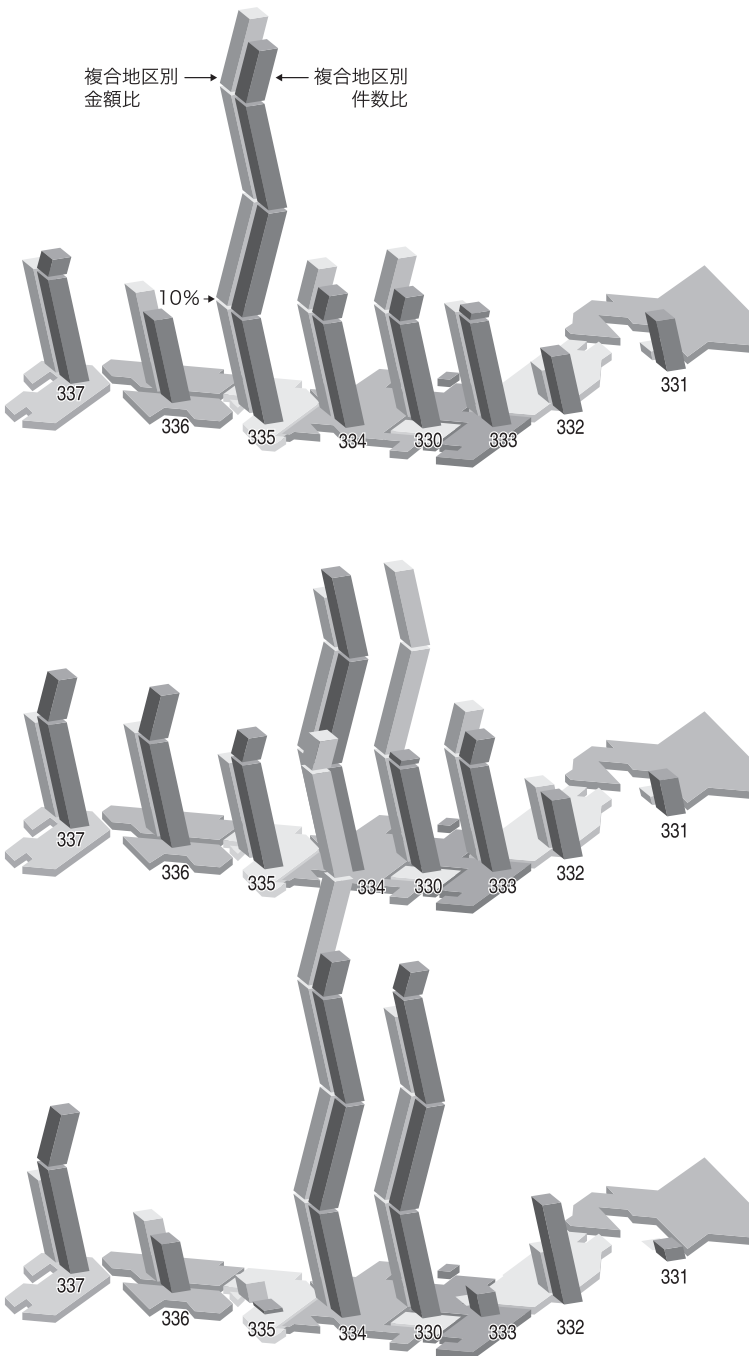
献血

複合地区	件数	金額	200cc献血/人	400cc献血/人	成分献血/人
330	1,489	38,840,456	17,797	54,738	10,636
331	594	3,777,058	9,766	18,954	817
332	673	9,196,634	10,803	14,854	2,187
333	1,304	25,980,117	21,936	37,284	11,121
334	1,501	35,530,200	21,475	48,080	17,012
335	4,336	95,553,079	75,637	126,567	88,577
336	959	24,681,835	13,641	26,674	7,479
337	1,445	26,088,617	48,410	56,103	9,932
合計	12,301	259,647,996	219,465	383,254	147,761

献眼

複合地区	件数	金額	アイバンク登録者	角膜提供者
330	329	23,813,071	2,151	31
331	106	1,148,199	971	3
332	180	4,805,028	264	2
333	379	12,100,178	2,290	68
334	851	21,638,771	5,198	188
335	379	8,029,194	56	2
336	439	8,402,191	2,309	33
337	431	8,040,427	3,535	43
合計	3,094	87,977,059	16,774	370

献腎

複合地区	件数	金額	腎バンク登録者	腎臓提供者
330	205	2,323,061	1,067	1
331	9	0	34	0
332	59	332,900	4	0
333	15	25,300	34	0
334	212	4,531,919	1,781	1
335	3	170,400	0	0
336	30	543,544	12	0
337	93	660,480	2,649	2
合計	626	8,587,604	5,581	4

骨髄バンク・青少年関係・高齢者福祉

［二〇〇二・〇三年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

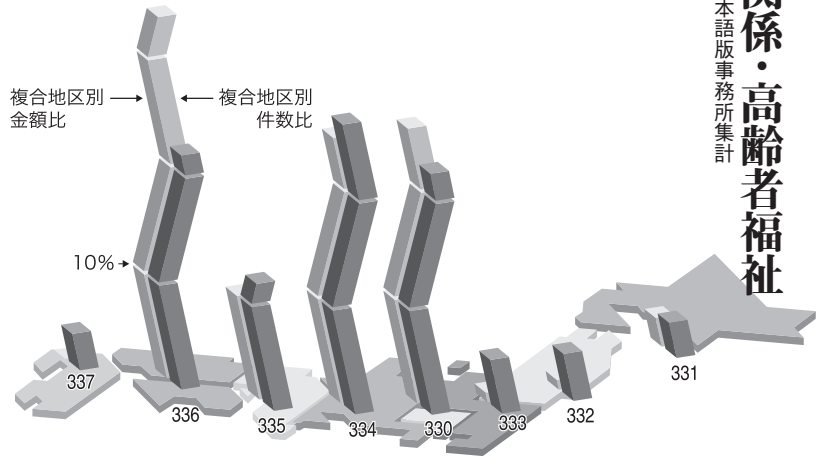
骨髄約四百件、青少年約一万七千件、高齢者約三千件

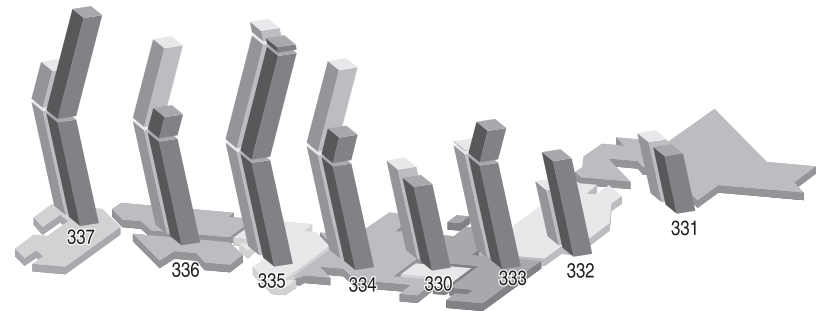
●骨髄バンクは、件数で対前年度比三〇・七％減の三八一件、総額で同四二・一％減の千九百九十三万六千九百四十九円となった。特に金額は半減近い落ち込みを見せた。骨髄バンク登録者も二五・六％減少となったが、昨年度はいなかった骨髄提供者が今年度は一人となっている。

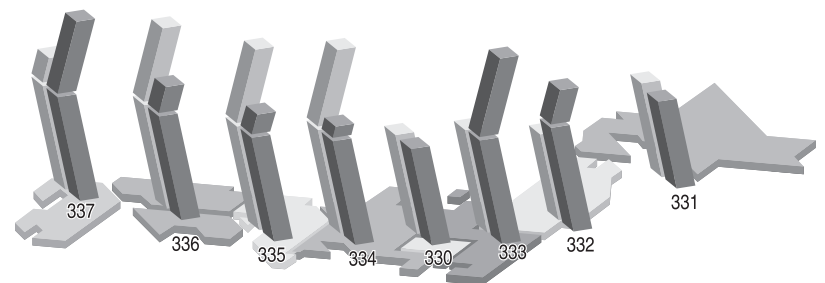
●項目別では件数・金額とも最も多い青少年関係だが、一万七千百九十四件（対前年度比一三・三％減）、十四億六百六十九万四千六百七十円（対前年度比一八・一％減）とやはり昨年度より減少する結果となった。

●高齢者福祉は件数で対前年度比一一・九％減、金額では同二八・三％減となった。

骨髄バンク

複合地区	件数	金額	骨髄バンク登録者	骨髄提供者
330	86	5,261,104	121	0
331	14	586,266	0	0
332	16	152,700	3	0
333	19	247,185	36	0
334	103	4,951,372	273	0
335	45	2,010,685	78	0
336	83	6,726,037	149	0
337	15	1,600	81	1
合計	381	19,936,949	741	1

青少年関係

複合地区	件数	金額
330	1,417	121,775,310
331	922	80,119,345
332	1,535	77,651,477
333	2,226	142,459,455
334	2,174	248,840,440
335	3,512	297,438,630
336	2,055	243,171,707
337	3,353	195,238,306
合計	17,194	1,406,694,670

高齢者福祉

複合地区	件数	金額
330	266	17,105,650
331	250	16,101,148
332	397	14,710,120
333	507	17,916,968
334	334	31,063,125
335	354	30,522,384
336	374	30,497,395
337	487	22,630,138
合計	2,969	180,546,928

障害者福祉・環境保全・国際援助

[二〇〇二・〇三年度集計]
ライオン誌日本語版事務所集計

障害者福祉約六千件、環境保全約九千四百件、国際援助約二千百件

●障害者福祉事業は五千九百十八件（対前年度比一九・八パーセント減）、総額四億二千八十四万四千二百五十七円（同三一・九パーセント減）で、特に金額に大きな減少が見られる。

●環境保全活動は九千三百五十三件（対前年度比一八・三パーセント減）、総額五億三千六百六十五万四千五百四十四円（同八・一パーセント減）。この中で336複合地区は金額で八九パーセントも増加しており、特筆すべき結果を残した。また、331複合地区も金額で三〇パーセント増加した。

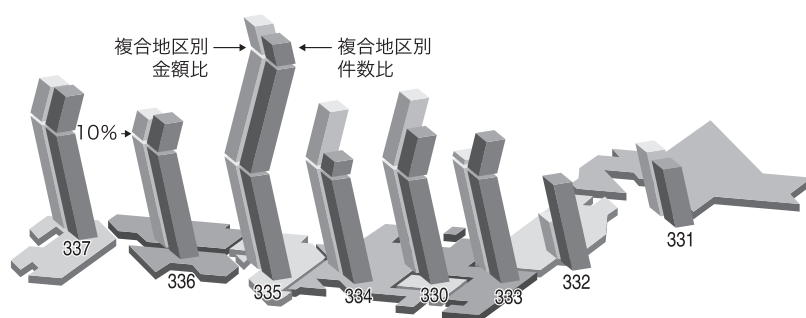
●国際援助は二千百十八件（対前年度比四九・一パーセント減）、二億二千四百八十三万九千三百八十四円（対前年度比四〇・二パーセント減）と件数、金額とも半減した。

複合地区別金額比 → ← 複合地区別件数比

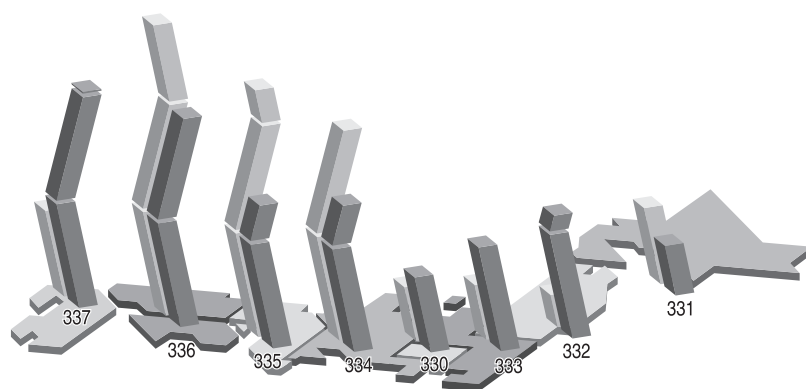
10% →

337 336 335 334 330 333 332 331

障害者福祉

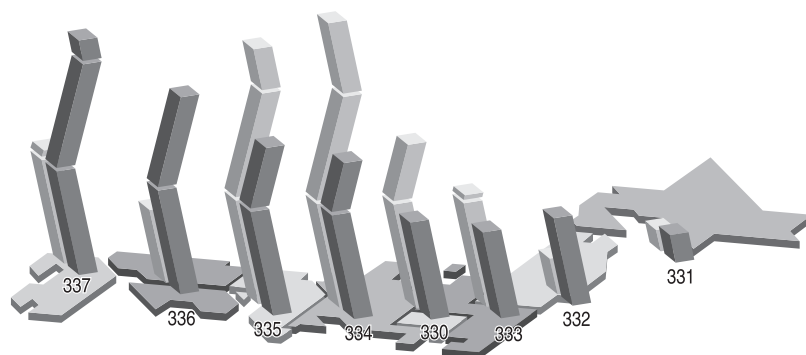
複合地区	件数	金額
330	811	68,240,357
331	322	26,814,499
332	485	16,039,542
333	773	44,536,544
334	676	62,766,246
335	1,299	94,756,603
336	743	51,180,596
337	809	56,509,870
合計	5,918	420,844,257

環境保全

複合地区	件数	金額
330	655	28,677,025
331	416	38,923,227
332	1,072	19,799,558
333	924	29,265,500
334	1,301	107,034,966
335	1,248	124,902,998
336	1,835	144,253,784
337	1,902	43,797,486
合計	9,353	536,654,544

337 336 335 334 330 333 332 331

国際援助

複合地区	件数	金額
330	196	35,128,307
331	54	4,766,131
332	182	8,179,631
333	172	23,435,505
334	314	59,578,937
335	335	54,404,541
336	396	15,215,403
337	469	24,130,929
合計	2,118	224,839,384

YE・LCIF・資金調達

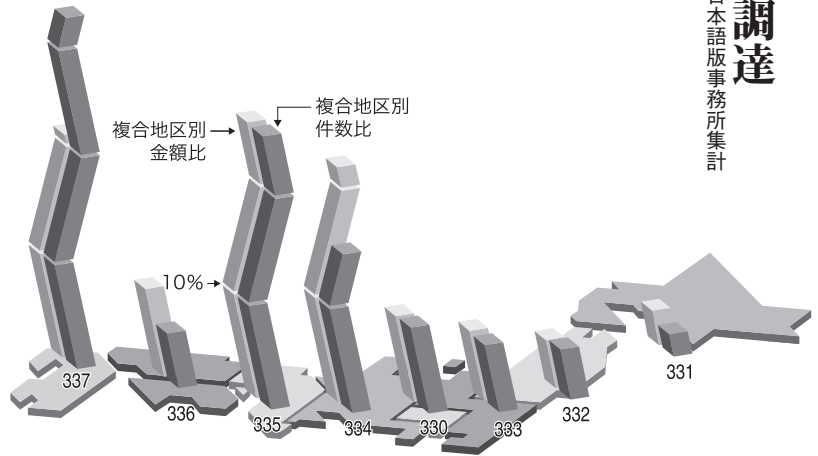
［二〇〇二－〇三年度集計］ライオン誌日本語版事務所集計

YE約四千五百件、LCIF約三千四百件、資金調達約三千件

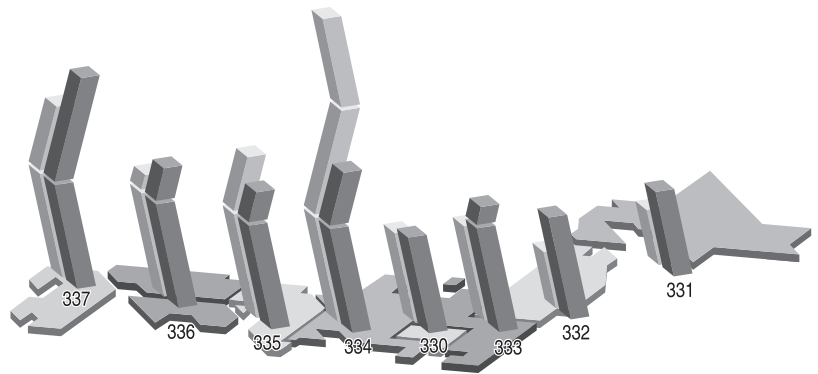
●青少年交換（YE）の件数は対前年度比一二・四㌫減、金額でも一九・一㌫減だったが、件数では332複合地区が、金額では331複合地区がそれぞれ約八㌫の増加を見せた。

●ライオンズクラブ国際財団（LCIF）へのアクティビティは、件数で対前年度比一八・三㌫減、金額は同一六・四㌫減となった。前年度はアメリカ同時多発テロ被災者基金への寄付が大きかったので、二〇〇一年度と比較すると約三千万円増加している。

●資金調達は、件数が二千八百二十三件で前年度比一二・四㌫減、募金額は五億二千九百七十六万三千六百八十一円で、対前年度比一八・七㌫減となった。

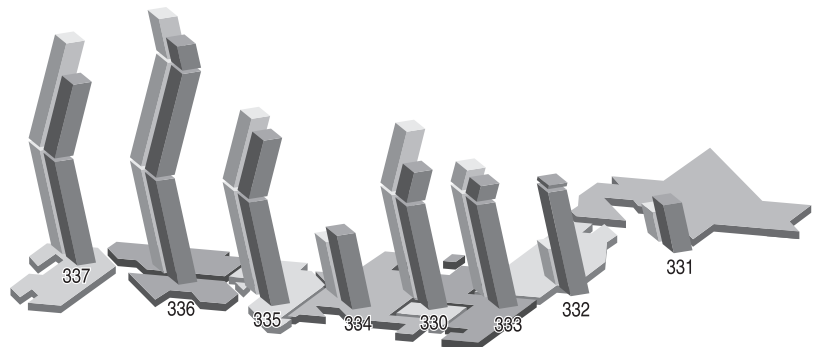
青少年交換

複合地区	件数	金額
330	385	22,997,704
331	99	9,719,041
332	195	10,989,132
333	263	17,704,758
334	661	58,999,803
335	1,129	69,598,763
336	225	22,313,101
337	1,488	56,398,714
合計	4,445	268,721,016

LCIF

複合地区	件数	金額
330	307	61,798,564
331	269	40,263,938
332	327	41,432,774
333	394	64,965,551
334	506	206,924,474
335	437	111,329,989
336	446	83,110,543
337	671	118,713,118
合計	3,357	728,538,951

資金調達

複合地区	件数	募金額
330	368	85,233,721
331	122	15,535,229
332	295	18,818,983
333	326	63,355,588
334	192	29,729,588
335	434	87,844,190
336	612	123,163,824
337	474	106,082,558
合計	2,823	529,763,681

NEWS CASSETTE

ライオンズ ニュースカセット

十五周年を迎えた埼玉県アイバンク協会とライオンズ

十月十一日、埼玉県さいたま市の浦和ロイヤルパインズホテルで、㈶埼玉県アイバンク協会（古川俊隆理事長〈元330・C地区ガバナー〉）の設立十五周年記念式典が開催された。同協会は一九八七年十一月、埼玉県内の企業とライオンズクラブ会員を中心に設立され、ここ数年は県内のライオンズクラブとロータリークラブが団体の枠を超えて協調し、運営に当たっている。献眼登録者は一万八千五百人、これまでに二百三十三人の献眼者があり、四百二十人の方に光を贈っている。この日は上田清司埼玉県知事、所敬㈶日本眼球銀行協会理事長を始め、阿戸健次330・C地区ガバナーら、埼玉県内の多くのライオンズ会員が出席。自らも登録済みという上田知事は祝辞の中で「アイバンクを支えてこられた方々の思いが、きっと地域や日本中に広がり、やさしい社会、思いやりのある社会を作る礎になると思う。心から感謝し、一緒に盛り上げていきたい」と語った。その後、献眼遺族の方々に感謝状が贈られ、遺族を代表して今年献眼された故・齊藤正男元地区ガバナーのご子息正身氏が、「私も医者だが、父が角膜を取られる時は寂しい気もした。が、移植成功の報告を受け、ほんとうに良かったと思った。人間として最後の奉仕が出来、父も喜んでくれたと思う」と、遺族としての心境を話した。

アイバンク協会認定サポーター制度

前掲の埼玉県アイバンク協会十五周年記念式典で、所敬日本眼球銀行協会理事長の講演が行われ、その中で所理事長は今年七月に設けられた「アイバンク協会認定サポーター制度」について説明した。認定サポーターの役割は①献眼運動の推進、②アイバンクの依頼による業務（家族の同意確認、摘出医及び角膜の搬送、遺族への謝礼等）、③支援団体の連絡調整、④経済的支援など。このところ全国の献眼登録者数は減少傾向にあり、実際の移植数もここ数年伸び悩んでいる。また各アイバンクの財政状況は厳しく、常勤の職員は全職員の四一㌫に過ぎず、運営に関してもボランティアに大きく依存している。サポータ

ー制度は、これらの問題に対処し、アイバンク運動を更に盛り上げるため導入された。
　また、講演の中で所理事長は、最近の傾向として、輸入角膜が増加していることを明らかにした。現在、全国の角膜移植待機患者は約五千人、このうち毎年約二千五百人が移植を受けている。が、ここ三年間の日本の献眼数は毎年約千五百眼であり、残りの約千眼は海外からの輸入角膜であるという。輸入角膜は患者負担が大きいばかりでなく、感染症の心配もあり、所理事長は今後注意深く見守っていきたい、と話した。

相次ぐ自然災害に、全日本ライオンズが救援事業展開

　十一月七日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催された第三回ガバナー協議会議長連絡会議で、九月二十六日に発生した「平成十五年十勝沖地震」災害に対し、会員一人当たり百円程度の義援金拠出を各地区に依頼することが了承された。なお七月二十六日の宮城県北部地震災害義援金（332‐C地区）は十月二十三日現在千二百四十三万九千六百九十八円、八月の台風十号日高周辺豪雨災害義援金（331‐C地区）は十月三十一日現在千二百十七万七千九百五十二円が寄せられている。
義援金送付先：釧路信用金庫　南支店　普通預金1038807　ライオンズクラブ国際協会331‐B地区　2003年十勝沖地震災害義捐金　地区ガバナー　竹本義直

二〇〇四年国連ライオンズ・デーは三月十二日に

　第二十五回国連ライオンズ・デーは二〇〇四年三月十二日、アメリカ・ニューヨーク州ニューヨークの国連ビルで開催される。当日は、アナン国連事務総長を始め常任理事国の大使による歓迎スピーチ、二〇〇三年度国際平和ポスター・コンテスト最優秀賞授賞式、各国国連大使を交えた昼食会、希望者による国連ビル見学ツアーなどが予定されている。
　ライオンズクラブと国連との密接な関係の発端は一九四五年にさかのぼる。この年、発足した国連は、当時既に国際的な組織となっていたライオンズクラブの助言を得るため、創設者メルビン・ジョンズ、フレッド・スミス元国際会長、D・A・スキン元国際会長を招請、特に非政府組織（NGO）の育成のために協力を要請した。以来、国連とライオンズは手を携えて人道主義的な活動に乗り出し、特に国連児童基金（ユニセフ）、世界保健機関（WHO）、国連教育科学文化機関（ユネスコ）などとライオンズの連携は、今や確固たるものとなっている。
　国連ライオンズ・デーには毎年、世界各国のライオンズ、レオ、ライオネスが参加しており、国際協会では今年も先着六百人限定で、申し込みを受け付けている。申し込みは所定の用紙（国際協会公式ウェブサイトから書式www.lionsclubs.org/EN/content/pdfs/unday.pdfをダウンロード）を使用の上、遅くとも二〇〇四年二月二十日までに申し込まれたい。問い合わせは国際本部の国際アクティビティ及びプログラム企画部TEL：一‐六三〇‐五七一‐五四六六（内線二八七）へ。

国際協会ウェブ・マンスリーは旧サイトから

　国際本部は八月、インターネット上から会員報告書を送信するウェブ・マンスリーの新バージョンを公開したが、九月二十三日以降、この新しいサイトは修復・改善のためにダウンしている。情報テクノロジー部によると、修復には二〇〇四年三月までかかる予定で、それまでは古い会員報告書ページを利用して頂きたいとしている。古い会員報告書用のIDとパスワードは「Old Site」と付記して、八月にEメールで送信されている。

334-B地区薬物乱用防止教育講師養成講座

334-B地区（堀田和之ガバナー／岐阜県、三重県）は九月十八日岐阜県各務原市で、十九日三重県津市で、地区内会員を対象に薬物乱用防止教育講師養成講座を開催した。地区青少年健全育成推進委員会（伊藤常昭委員長）が、初の試みとして実施したもので、岐阜会場八十二人、三重会場八十一人が参加。午前中に基礎講座、午後に専門講座が行われ、参加者は十時から十七時までみっちりと講義を受けた。受講者は今後、㈶麻薬覚せい剤乱用防止センター認定の薬物乱用防止教育講師として、地域の学校などで講習会を開いていく。伊藤委員長は「青少年問題は継続性が必要であり、養成講座はその第一歩。今後更に講師講演用マニュアルの作成を始め、薬物乱用防止を継続事業とするための組織作りをしたい」と、話している。

インパクト・プログラム情報

◉

全国初の女性シニア・ライオンズクラブが誕生

十一月十九日、北海道札幌市の札幌グランドホテルで、札幌コスミックシニアクラブ（田原ひさ江会長／22人）の結成式が行われた。スポンサー・クラブは九月七日に結成五周年記念事業「日本シニア・フォーラム」（本誌十一月号既報）を成功させたサッポロシニアクラブ（中根敏得会長／34人）。

今回のエクステンションも、サッポロシニアクラブの五周年を記念して実施したもので、札幌コスミックシニアクラブは全国で初めて誕生した、女性だけのシニア・ライオンズクラブということになる。今回のエクステンションに当たってはインパクト・プログラムの推進という流れの中で、杉本忠夫331-A地区ガバナーの強力なバックアップがあったという。が、シニアクラブがエクステンションに成功したのも全国で初めてのことであり、サッポロシニアクラブのアイデアとバイタリティーには敬服する。

札幌コスミックシニアクラブは、サッポロビール「ライオン」店の常連客や「札幌・女性ビールの会」のメンバーが中心となり結成された。実はサッポロシニアクラブも同様にビールの会つながりで結成されており、親子共もう一つの「ライオン・ファミリー」という共通項があるわけだ。また今回、サッポロシニアクラブのアクティビティに参加し、奉仕の喜びを知った同クラブの会員夫人四人が、友人を誘って札幌コスミックシニアクラブチャーター・メンバーに加わるなど、奉仕の輪が広がっている。

INNOVATION

一方、島根県では今年三月、浜田ライオネスクラブの会員全員が、ライオンズクラブに入会した。ライオネスクラブがライオンズに転換する例は珍しくないが、浜田の場合、会員数が十七人だったこともあり、親クラブであった浜田クラブの支部としてスタートした。

その後一人新会員があり、現在は会員十八人の浜田ライオンズクラブ・ライオネス支部（上野清子コーディネーター）として、浜田クラブとは別に例会やアクティビティを実施している。会費はライオネス時代と同じ月四千五百円（年間五万四千円）。親クラブの助成金がなくなった分は、例会の食事や理事会の経費を抑えることで賄っている。事業資金は以前からバザーやボウリング大会で、年間約七十万円の収益をあげているため問題ない。つまり、クラブ内ではライオネスクラブとしての十七年間と何も変わっていないわけだ。そのためライオンズになったからといって、「特に大きな意識の変化はなかった」（山本喜美江副コーディネーター）という。

そんな中、十月に浜田を公式訪問した山根健336-D地区ガバナーは、立派に運営をしている同クラブ支部を見て、単独のライオンズとして独立することを提案。浜田クラブライオネス支部も、近い将来、独立する方向で前向きに検討していくという。更に山根地区ガバナーは同地区内のもう一つのライオネス、山口県・宇部ライオネスクラブにも、同じような働きかけをしていきたい、と話している。

LCIF In Action

アメリカ同時多発テロの救援活動はライオンズクラブの誇り

二〇〇一年九月十一日、世界中に衝撃を与えた、アメリカ同時多発テロは子どもたちから親を奪い、親たちから職を奪い、家族から悲しみと苦痛に対処する手段を奪った。この悲劇に対し世界中のライオンズが支援に立ち上がり、三百万ドル以上の指定献金がLCIFに寄せられた。

あれから二年が経過した。このテロ攻撃はアメリカにとって前例のない悲劇だったが、LCIFとライオンズはこの悲劇の被災者に対して多くの援助と、苦しみをいやす活動を行ってきた。特に同時多発テロで直接被害を受けた六つの州のライオンズは、力を合わせて奉仕に励んでいる。

LCIFの「アメリカ同時多発テロ被害者救援基金」の多くは、事件の影響を直接受けた家族や子どもたちの社会的、心理的、教育的ニーズに対処することにより、地域社会にとって不可欠な長期的なニーズを満たす活動を強化している。現在、同基金から約二百万ドルが、各種具体的なプロジェクトのために確保され、直接被害を受けた六つの州のライオンズを代表する「ライオンズクラブ9・11同時多発テロ救援基金運営委員会」が、支援計画を立案するために定期的に会議を開いている。

これまでに百組の家族が、短期的経済援助を受けている。合計約四十万ドルがこれら家族に配布された。この援助は見過ごされてしまいがちな家族、あるいは他の慈善団体による経済援助では足りない家族を短期的に支援するためのものである。

が、短期的な支援が、LCIFとライオンズクラブの活動の中心ではない。その主たる目標は長期間にわたって犠牲者の生活の再構築を支援することにある。そのための活動として、LCIFとライオンズは職業訓練や子どもたちへの指導、障害者援助といった重要な奉仕も行っている。

また、LCIFとライオンズはこれまでに肉親を失った人を対象とした十二のキャンプを主催している。このキャンプはまず、二〇〇二年の夏に二回開催され、親を失った子どもたちや遺族が、悲しみを分かち合った。

これが大成功を収めたため、ライオンズクラブ9・11同時多発テロ救援基金運営委員会は更に十三回のキャンプへの資金拠出を決定した。二〇〇三年十二月までに、合わせて十五回のキャンプが開催される。

これらキャンプのほとんどはニューヨーク州またはその隣接州で友情大使基金（FAF）と共同で開催されている。FAFは犠牲者の家族と子どもたちが悲しみに打ち勝って生活を続けられるように、アートに基づいたプログラムを実施している。FAFのキャンプには児童とティーンエイジャーだけを対象としたものや、家族向けのものもあり、キャンプにはたいてい四十～六十人が参加する。

NEWS CASSETTE

●日本ライオンズのアクティビティ傾向は？

九月から十月にかけ、全国の三千三百九十三クラブを対象に実施したアンケート（回答率四一・六パーセント）の中で、今年度（二〇〇三－〇四年度）の重点目標としているアクティビティを聞いてみた（複数回答）。結果は第一位が青少年関係で実に七〇・四パーセントのクラブが挙げていた。次いで献血が六八・九パーセントと僅差で続き、以下地域清掃四六・八パーセント、障害者福祉二九・七パーセント、自然環境保護二八・四パーセント、LCIF二五・五パーセントとなっている。十年前に比べ青少年関係は一三ポイント増だが、LCIF一九ポイント減、献眼二〇ポイント減など、分野によってかなりの変化があった。地域的な傾向も、いくつかの分野で見られ、例えば青少年関係は331複合地区が九〇・二パーセントに対し、330複合地区は五五・二パーセント、献血は335複合地区八六・〇パーセントに対し332複合地区四八・〇パーセントなど上位の項目でも地区によってかなりのばらつきがあることが分かる。また、交通事故が多い北海道の331複合地区では、全国平均二四・三パーセントの交通安全が七五・八パーセントと断然のトップを走っており、地域のニーズに応じてアクティビティが実施されていることがうかがえる。

LEO

Focus on Leos

■愛知県・名古屋イーストレオクラブ 愛知県・名古屋城東レオクラブ

合同アクティビティで、活動の活性化を図る

名古屋イーストレオクラブと名古屋城東レオクラブはそれぞれ名古屋イーストクラブ、名古屋城東クラブのスポンサーで一九七二年に誕生。今年三十一年目を迎えた。

同じ年にあと二クラブのレオが生まれたが、既に解散。その後誕生した新クラブも二〇〇〇年度に活動を休止し、現在は二クラブだけとなった。両レオクラブは以前から、深い交流関係を保ちながら、それぞれ独自のアクティビティを行ってきた。が、実質的に市内で二クラブだけになったことを契機に、奉仕活動はもとより例会も合同で行うことになった。

新体制で挑んだ翌年の二〇〇二年には、揃って三十周年を迎えた。もちろん二クラブ共同のチャーター・ナイトである。三十周年記念事業の一つとして、両レオクラブでは新会員勧誘活動を行った。例会のある土曜日、人出の多い駅前で継続的にビラ配りを行ったところ、十三人の新会員を入会させることに成功した。

地区内での合同アクティビティが盛んだったためか、組織をまたいでの活動には慣れている。毎年三月第三日曜日の日本レオ・デーには、334・Aレオ地区のレオクラブが集まりチャリティー・バザーが開催される。他地区のレオたちの協力もあり、大きな成果を上げており、〇二年には両レオクラブは年次大会でガバナー・スペシャル・アワードを受賞した。

また同年六月には名古屋城東レオクラブと京都嵯峨野レオクラブとの間で国内初となるレオの姉妹提携が実現。今期、複合レオ地区を超えた合同アクティビティに発展した。

第一回名古屋・京都合同アクティビティとして京都賀茂川の河川敷で川の美化を求める看板作りが行われた。姉妹提携クラブ同士の京都嵯峨野レオクラブと名古屋城東レオクラブはもちろん、名古屋イーストレオクラブが参加したほか、京都からは京都東レオクラブが活動に加わった。この合同活動を機に、名古屋イーストレオクラブと京都東レオクラブも素晴らしい交流関係を築くことが出来た。

名古屋イーストレオクラブと名古屋城東レオクラブは既に来期に向けて、それぞれクラブ目標を掲げ、動き出している。名古屋イーストレオクラブが目指すのは、京都東レオクラブとこれまで以上に積極的な交流を図ることと、例会やアクティビティへのリピーターを増やすこと。

名古屋城東レオクラブでは、京都嵯峨野レオクラブとの交流維持と更なる関係強化を図るほか、例会の出席率を上げることが目標として掲げられた。

両レオクラブ合同の目標もある。「各クラブそれぞれ五人以上会員を増やすこと」と、「例会の出席率を二クラブで競争する」というものである。各クラブで出席率がいちばん高いレオには、納会で表彰することも決められている。

減少著しい日本のレオであるが、好奇心旺盛なレオと、それを支えるライオンズがいれば、まだまだ捨てたものではない。そう思わせるレオの活動ぶりであるがいかがであろう。

Focus on Retention

会員維持に重点

ジャネット・マクマハン

会員増強はクラブの健全性を確保するのに大切なことである。が、見込みのある人物をみつけて勧誘し、クラブに加入してもらうのはほんの第一段階に過ぎない。クラブの長期的な活力のためには、会員の「維持」にも力を入れなければならない。統計によると新会員の五〇パーセントが、三年以内に退会している。これは驚くべき数字である。

調査の結果、会員がクラブを辞める主な理由が、いくつかあることが明らかになった。これらを理解し退会を防止する効果的方法を知ることは、クラブが苦労して獲得した会員を維持する上で役に立つ。会長を中心としたリテンション（会員維持）キャンペーンが新設されたのはそのためである。キャンペーンは会員維持に対する以下の主な脅威に対処するのに役立つ方策を取り上げている。

●長々とした退屈な例会：会員が関心を持てる建設的な会議は、クラブを効率的に機能させるために極めて重要である。同時にそれは会員にとっても大切である。会員は、自分たちが価値あることに時間を使っていると思いたいのである。効果的な会議の企画と運営はこれを達成する一助となる。

●クラブ内の派閥：クラブの雰囲気を、友好的で生産的なものにすることで会員全員が関心と参加意識を持つことになる。

●参加意識の欠如：自分がクラブで積極的かつ大切な役割を果たしていると感じる会員は退会する可能性が低いはずである。新会員は興味を感じる活動にすぐに携わるべきである。

●力を合わせること／クラブ同士の協力：多様な会員の中の違いを尊重することを学び、団結力のあるグループを形成することは、円滑に機能する生産的チームづくりに欠かせない。

会員維持に取り組み、新会員の定着に努力しているクラブは、その成功が表彰される。年度中に会員数の純増があったクラブには、国際会長の紋章をあしらった特別なバナー・パッチが配布される。毎年恒例の会員維持バナー・パッチを受ける基準はクラブの規模に応じている。

クラブの規模＝必要な新会員数

●会員四十一人以上＝六人以上

●会員二十一～四十人＝四人以上

●会員二十人以下＝二人以上

また、過去二年間は会員数が減ったが、今年は「実質ゼロ」かそれ以上を達成したクラブは、その功績が認められ、バナー・パッチを受け取ることが出来る。

会員維持を優先することは、ライオンズクラブが世界最大かつ最も活動的な奉仕団体であり続けるために必要である。会員維持の努力を怠ることによって新会員増強の努力を無駄にすることがないようにしよう。会長のリテンション・キャンペーンに関する詳しい情報は国際本部会員オペレーション課に連絡をとって頂きたい。

ライオン誌メール・マガジン

本誌では今年度編集長計画に従い、各地区PR委員会との連絡を密にするため、十月から各複合地区・準地区のPR委員長及びIT委員長、ガバナー協議会事務局、キャビネット事務局あてにメール・マガジンを発行している。毎月、雑誌が出来上がった日に送信し、その号の主な記事を紹介すると共に、掲載予定の企画に対する情報提供の依頼などを載せていく。該当の方以外で配信希望の方は、編集部あてメールで申し込まれたい。

新結成クラブ

栃木県・那須ハーモニーシニアクラブ▼結成順位／三五一七▼八月二十四日結成▼薄井勝弘会長▼事務局／那須郡西那須野町一区町二〇〇 鷹栖様方（〒329・2732）TEL〇二八七・三六・四八一九▼スポンサー／西那須野クラブ

岩手県・新里源兵衛平クラブ▼結成順位／三五一八▼九月十四日結成▼向井田一男会長▼事務局／下閉伊郡新里村茂市三・一五九・一 新里村商工会内（〒028・2101）TEL〇一九三・七二・二二三二▼スポンサー／陸中宮古クラブ

会議録 9月 10月 主な議題だけをまとめました

ライオン誌日本語版委員会

第三回ライオン誌日本語版委員会は九月二十二日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①十月号（九月十九日発行／十三万一千九百部）出来、②十一月号以降台割と主要記事予定、③ライオンズ文庫、④本誌メール・マガジン発行、⑤委員会旅費規定について協議した。

②はTHEMEとして十一月号レオクラブ、十二月号ライオンズクラブ統計、一月号女性会員、二月号エクステンション、三月号リーダーシップを取り上げることを決定。また一月号からの新企画として「ライオンズ・スクール」「ライオンズのための分かりやすいIT講座」及び女性向けコラムをスタートさせる。

④は地区PR委員会と緊密に連絡をとるため、各地区PR委員長及びIT委員長を対象にメール・マガジンを発行する。

複合地区IT委員長連絡会議

第二回IT委員長連絡会議は九月三十日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①現在のライオンズのITに関する問題点、②八複合地区ホームページの更新について協議した。

①は国際協会のITに関する伝達事項は必ず当IT委員長連絡会議を通じて連絡してもらうよう情報システム部に要望する。

②はIT専門委員の任期は新年度第一回IT委員長連絡会議開催まで延長することを認めて頂くよう議長連絡会議に要望する。

複合地区YE委員長連絡会議

第二回YE委員長連絡会議は十月二日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①冬期交換、②夏期交換情報、③今年度の取り組みテーマについて協議した。

①は派遣予定数百五十九人、来日予定数二百人、及び日程などを確認。また二〇〇三・〇四年度YE予算を了承した。

③はYE・OB生の追跡調査を実施することを決定。

日本ライオンズ連絡事務所管理委員会

第二回日本ライオンズ連絡事務所管理委員会は十月三日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①職員の退職と再雇用、②関連規則の改正、③事務所長の後任について協議した。

①は日本ライオンズ会員数は減少傾向をたどっている。二〇〇三年六月末の連絡事務所の決算書によれば約四百三十万円の赤字を計上している。この傾向が続けば十年で連絡事務所の基本財産五千万円に相当する収支不足が生じる。そのため全職員にいったん退職してもらい、事務所の諸規定、賃金などを改訂した上、新しい諸規定により各個人と話し合いにより再雇用する旨の結論に達した。

複合地区国際大会委員長連絡会議

第二回国際大会委員長連絡会議は十月六日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①第四十二回東洋・東南アジア・フォーラム（台北）、②第八十七回国際大会（デトロイト／ウィンザー）について協議した。

①は最新日程、ジャパン・レセプション（十一月二十八日十九時から圓山大飯店）、国際会長歓迎晩餐会（十一月二十九日十九時半から圓山大飯店）などについて確認。フォーラム参加予想数は未定の330複合地区を除き約千七百人であった。

②は公式暫定日程、日本に割り当てられたホテル、複合地区公認ツアー・コーディネーター、パレード参加、日本ライオンズ代議員会・大会記念夕食会、地区ガバナー・エレクト・コース設定、代議員コース設定、交換ピン作成について協議した。

デトロイト／ウィンザー情報

2004年7月に第87回国際大会が開催されるアメリカ・デトロイトとカナダ・オンタリオ州ウインザーの両都市の基礎情報。

二〇〇四年七月五日から九日まで、アメリカ・ミシガン州デトロイトとカナダ・オンタリオ州ウィンザーを会場に、第八十七回国際大会が開催される。二つの国にまたがって国際大会が開かれるのは、ライオンズクラブ史上初のこと。

デトロイトとウィンザーは、エリー湖とヒューロン湖を結ぶデトロイト川の対岸に位置している（面白いことに、カナダ側のウィンザーの方が南にある）。隣り合う、この両都市は自動車産業で栄えたという共通点を持っている。

ヘンリー・フォードが、デトロイトで自動車生産を始めたのは一九〇三年のこと。その一年後、ウィンザーでゴードン・マグレガーという人物が、仲間数人と組んで、カナダ・フォード自動車㈱を設立した。以来、ＧＭ、クライスラー、フォードのいわゆるビッグ・スリーを中心に、アメリカではデトロイト、カナダではウィンザーが両国自動車産業のメッカとなった。

そんな密接な関係のある両都市だが、ライオンズの歴史の上でも、このウィンザーは重要な位置を占めている。アメリカ以外で最初のライオンズクラブが結成されたのが、実はこのウィンザーなのだ。一九二〇年三月十二日のことで、ウィンザー（クラブ）の結成によって、ライオンズクラブは真の意味で「国際」協会になったわけである。

ウィンザーは現在人口約二十万人で、治安はかなりいいらしい。近年人気を集めているウィンザー・カジノには、カナダ国内はもちろんアメリカからもデトロイト市民等が多く訪れ、観光名所となっている。また、カジノに併設された超高層ホテルからは美しい夜景が望めるという。

一方のデトロイトは、ダウンタウンに関しては残念ながら安全な街とは言い難い。一時期のアメリカ自動車産業の衰退の影響を受け、ダウンタウンには廃墟となったビルがいくつもあり、危険なエリアが点在しているようだ。が、自動車産業を中心に日系企業も多く、かなりの日本人が住んでいる。彼らはダウンタウンの北西地域・ノバイ、リボニア近郊に住居を構えており、日本食のスーパーやレストランもこの付近に多い。この辺りはダウンタウンから車で二十〜三十分だが、ダウンタウンの危険性とは対照的にとても安全で住みやすく、自然も多くのどかな地域となっている。

ライオンズ関係事務所など

日本ライオンズ連絡事務所

日本には複合地区が八つあります。この八複合地区に共通した事項、早急に意志をまとめるのは、ガバナー協議会議長連絡会議の仕事です。そこで創設されたのが日本ライオンズ連絡事務所です。

各複合地区から一名の代表者をもって組織した日本ライオンズ連絡事務所管理委員会が、この事務所の運営に当たっています。この事務所の主な仕事は次のようなことです。

☒ガバナー協議会議長連絡会議に関する仕事で、各複合地区に共通する事務を整理すること。また、全日本レベルで活動する複合地区委員長連絡会議の設営、議案の調整、記録など。

☒複合地区費や地区費等の請求。

☒国際協会との連絡事務。日本から選出されている国際理事会の構成員（国際会長や国際理事など）の補助的な仕事。

☒複合地区会則委員長連絡会議が編集した『ライオンズ必携』の発行。

連絡事務所は、各複合地区から会員一人当たり月額三十円の拠出金をもって運営されています。

東京都中央区日本橋三・十三・十一
油脂工業会館七階（☒103・0027）
TEL○三・三二七一・七○六一 FAX○三・三二七一・七一七四

ライオン誌日本語版事務所

国際会則によって、国際理事会は協会のすべての公式出版物を統括監督すること、公式雑誌を発行することが義務づけられています。したがって国際協会は、一九一八年から今日まで引き続き『ライオン誌』を発行してきました。現在は英語を始め世界二十一カ国の言語によって三十一版が出版されています。

日本の場合は、国際協会が直接発行する北米版とは別に国際理事会の承認を得て、八つの複合地区が共同し、日本全国共通の『ライオン誌』日本語版を公式雑誌として年間十二回発行しています。

日本語版の編集方針としては、①公式告示を掲載すること ②さまざまな意見の交換の場にすること ③効果のあった活動を知らせること ④世界ライオンズの情報を提供すること ⑤会員だけではなく、一般の読者にもライオンズ活動を知らせることなどがあります。

ライオン誌日本語版事務所の運営、活動は各複合地区のガバナー協議会議長によって監督されますが、実務的にはライオン誌日本語版委員会が当たっています。委員会は日本から選出されている国際理事と、各複合地区から一名の代表者によって構成されます。委員長は互選され、『ライオン誌』の発行責任者となります。またその責任者とは別に、『ライオン誌』の編集長が任命され、編集出版の責任者になります。

『ライオン誌』日本語版は、購読料として国際協会から会員一人当たり年額四・七五ドルが還付され、特別負担金として月額五十円を徴収し発行されています。

東京都中央区築地二・二・一 築地細田ビル七階（☒104・0045）
TEL○三・三五四二・九五七一 FAX○三・三五四六・二六三○

国際協会日本事務所

ご存じのように、ライオンズクラ

超やさしいライオンズ入門

イラスト／藤英毅

ブの名称、紋章、標識は、国際協会の許可なくして使用することは禁じられております。国際本部の法律部では、これらがみだりに使用されないよう、ライオンズクラブの名誉を守るために全世界で商標登録や法律上の必要な手続きを行っています。

日本事務所は、法律部の指導によって、こうした使用権の管理、登録、統制を行います。

この事務所で頒布されている用品のすべては、当然のことですが国際協会の公式クラブ用品としてライオンズクラブのマークが付けられております。例えば、会員や役員の襟章、ライオン帽などの基本的な用品、クラブが会員に贈る楯やライオン像といった記念品、クラブ活動に必要なクラブ旗やゴング・ガベルのセットのほか、新会員用のキットなど、各種用品が取りそろえてあります。

また、公認指定供給業者制度を設け、これらの業者からも紋章付の用品を購入することが出来るよう便宜を図ると共に、ライオンズ紋章の権威保持、乱用防止に留意しています。

このほかに日本事務所は、日本における国際協会入会金、国際会費、終身会員会費、クラブ用品購入代金、新クラブ・チャーター費、ＬＣＩＦに対する献金、レオクラブ関係のスポンサー費等、国際協会に対する諸支払いの振込金の管理と共に、国際協会からの指示による国内経費の支払い等の業務も行っています。

東京都品川区西五反田七・二二・一七　ＴＯＣビル六階十六号室（〒141・００３１）TEL○三・三四九四・二九三一　FAX○三・三四九四・二九三三

ウェブサイト

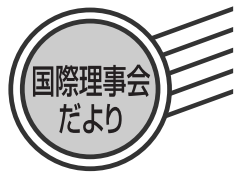
ライオンズクラブに関するさまざまな情報は、インターネットを利用して入手することも出来ます。

国際協会のライオンズクラブ公式ウェブサイトは、日本語を含む十一カ国語で表示されています。

URL：http://www.lionsclubs.org

全日本ライオンズ合同サイトは、八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が開設した日本ライオンズのホームページで、複合地区ＩＴ委員長連絡会議が製作・維持管理に当たっています。

URL：http://www.japan-lionsclubs.jp/

国際理事会だより

■国際理事
大久保　彦
（長崎東クラブ）

アメリカ・イリノイ州、ミシガン湖のほとりに発達した街・シカゴで、十月十五日から二十一日まで、秋の国際理事会が開催されました。

初めにLCIF執行委員会が十五、十六日に行われ、日本から提出された交付金申請はすべて承認、交付されることが決定しました。

十七日からは各委員会ごとに討議が行われ、二十日に審議会、二十一日に理事会が開かれ、会議は終了いたしました。

決議事項の各要項は後日、本誌誌面で発表になりますが、取り急ぎお知らせしておきたいことを申し上げます。

テーサップ・リー国際会長が特に重点的に考えておられる女性会員の増強にこたえて、二〇〇三年十一月一日から翌〇四年の六月三十日までに入会される女性については、入会金二十五ドルが免除されることになりました。

これまではライオネス・ブリッジ・プログラムの一環として、元及び現ライオネスクラブ会員がライオンズクラブに入会する際に入会金が免除されるプログラムが〇四年六月末を期限に設定されていましたが、入会金免除は全女性入会者に適応されるようになった訳です。このブリッジ・プログラムには、ライオネスクラブがライオンズクラブに移行する際のチャーター費免除や、ライオネスとしての奉仕活動年数がライオンズ移行後もカウントされるといった特典もあります。

また、同じく〇四年六月末までは現ライオンズ会員の配偶者も入会金が免除されます。

これらのプログラムを最大限に活用して、各クラブは女性会員招請に力を注いでください。

過去に学び、未来を見つめて

この稿が活字になり皆さんのお手元に届くころには、十一月二十七日から台湾・台北で開催される東洋・東南アジア・フォーラムも直前に迫っているかと存じますが、台北は日本との時差一時間のお隣の国であります。現地登録も行われておりますし、これに参加され、近隣のライオンと親しく語り合うことをお勧めします。同じアジアのライオン同士がお互いの立場を理解し、それぞれの国の文化や風習に触れ、ライオンズクラブ会員として同じものを目指しているということを感覚的に理解出来れば、それは私たちにとって大きな財産になると思います。皆様多数の参加を期待しております。

近年、ライオンズクラブの会員は日本だけでなく、世界的にも減少しているのが現実であります。一九五二年にライオンズクラブが日本に上陸してから五十一年間、ひたすら走り続けてきたこの巨大なエネルギーも、今、ちょっと一服というところだと思います。私たちは今こそ過去の輝かしい歴史を振り返り、その教えるものを学び、自らの周囲をよく見渡してみる必要があるでしょう。そして先人たちの築いた素晴らしい足跡が燦々と輝いていることを誇りに、時代の変化を先取りした改革を目指していきたいものです。

築き上げた伝統も、ただ立ち止まっていては、単なる過去のものに過ぎません。私たちは日本ライオンズを、そして地域社会を発展させてきたこれまでの五十年に学び、未来を見つめて新たな一歩を踏み出しましょう。

おそらくこれからの十年は、社会情勢はあまりにも変化が激しく、私たちはその対応に追われるように忙しくなるでしょう。それゆえ、再びスイッチをONにして、皆さんと一緒に日本ライオンズの、そしてライオンズクラブ国際協会の未来への扉を開くべく努力したいと思っております。

メリケンパーク（兵庫県神戸市）

法善寺横丁（大阪市）

円月島（和歌山県白浜町）

彦根城（滋賀県彦根市）

東大寺（奈良市）

まるごと 335複合地区

ROAR ローア

趣味を生かした奉仕を続ける、北播磨の釣りキチ・ライオンたち。

兵庫県・社クラブ

■取材／編集部

社クラブ（本多義博会長／76人）は十月六日、社町の「加東老人保健施設ケアホームかとう」を訪問、お年寄りたちにマダイやカンパチなど五十匹の魚をプレゼントした。これは同クラブの釣り愛好家が集まって結成された釣りクラブが中心となり、一九九二年から実施している継続アクティビティ。この日のために会員らは前々日の四日に釣り大会を開催。二十一人が参加して、三十～四十五センチのマダイ、七十センチ級のカンパチなど大物を釣り上げた。

社町の町名の由来となった佐保神社

社クラブの奉仕地域は兵庫県中央部の加東郡三町（東条町、滝野町、社町）にまたがる。この三町、二〇〇五年（平成十五年）には合併し、市になることが決まっているが、当然のことながら、それぞれに特徴がある。

東条町（小池敏町長／社クラブ）は釣り針と鯉のぼりの製造を中心とした伝統産業の町。また最高級の酒米・山田錦の産地としても知られる。県立自然公園東条湖周辺には、年間約百万人の観光客が訪れる。

滝野町（山本廣一町長／社クラブ）は町の中央を加古川が流れ、昔は高瀬舟が往来し、その寄港地として栄えた。今も中国自動車道のインターチェンジやJR加古川線の駅があり、北播磨の交通の要衝となっている。

社町（小東愼介町長／社クラブ）は佐保神社の門前町として古くから栄え、北播磨の中核として発展してきた。現在は兵庫教育大学を始めとした各種教育機関、また社サイエンスパークも生まれ、産学住一体の学園都市となっている。

これら三人の町長を擁する社クラブは一九六三年に小野クラブのスポンサーで結成され、今年度で四十周年を迎える。継続事業としては、会員の趣味・特技を生かして加東郡内の保育所や幼稚園、高齢者施設を訪問するアクティビティがある。同好会が中心とはいえ、いずれもクラブを挙げて取り組んでおり、社クラブのメーン事業の一つとなっている。

中でもユニークなのが、高齢者施設に対する釣果アクティビティ。一九九二年（平成四年）七月に結成された同好会釣りクラブの活動として、同年九月から始まった。以来、釣りクラブでは年に数回、釣り大会を催し、釣った魚を高齢者施設に届け、その場で会員が包丁さばきも鮮やかに魚を調理して、塩焼きなどを味わってもらっている。

今年も十月四日、兵庫県家島町の海上釣り堀で釣り大会を開催。釣りクラブを中心に、会員や助っ人の市民ら二十一人が参加し、マダイやカンパチなどを釣り上げた。

これらの釣果は六日、「加東老人保健施設ケアホームかとう」に届け、入所や通所のお年寄りに披露。マダイやカンパチ五十匹を前に、お年寄りたちは「こんな見事な魚が釣れるのかい」と、大喜びだったという。

ケアホームかとうは社町にあり、加東郡の要介護老人が入所、もしくは通所しながらリハビリに励んでいる。この日は入所・通所合わせて五十一人のお年寄りがホームにおり、ほぼ一人に一匹ずつの魚が届けられたことになる。

もっとも、一日の釣り大会で人数分の魚を調達出来るよ

うになったのは最近のこと。いくら二十人ほどで出掛けると言っても、そうそう簡単に五十匹、六十匹の魚が釣れるはずがない。
　初めは五十匹の魚を確保するために、釣りクラブの会員たちはほぼ一カ月近く、空いた時間を釣りに当てていた。同好会の会長などは、夜明け前の一釣り、夕食後の夜釣りを重ね、まさに夜討ち朝駆け状態。釣った魚は会員経営の店の大型冷凍庫で保存。
　高齢者施設訪問の日が近づいてくると、気が気ではない。目標の釣果が確保されるまでは釣りに明け暮れ、さすがの釣りキチたちも、もう釣りなんかしたくない、と思うほどの毎日だったようだ。しかも、当時は年に数回、二つの施設で実施していたため、その苦労たるや並大抵のものではなかったようだ。
　が、最近は海上釣り堀を使用するようになり、自分たちも釣りを楽しみながら、アクティビティが出来るようになった。また初心者でも気軽に参加出来るというメリットも生まれた。
　釣りが唯一の息抜き、という社町長（ライオン）小東慎介も、公務の合間を縫って大会に駆け付けている。大会後も、釣りの話で盛り上がり、またアクティビティの話に花が咲く。
　社（クラブ）は会員維持がうまくいっているようだが、その秘密は、この辺りにあるのかもしれない。

日本ライオンズのＩＴ化促進に貢献する、335・Ａ地区のＩＴ伝道師たち。

橋本維久夫（335・Ａ地区ＩＴ委員長／兵庫県・明石魚住クラブ）
■取材／編集部

北は北海道から南は九州まで、現在、日本の三十二準地区のうち十八地区が利用している「クラブ管理システム」。そもそもは三年前、335・Ａ地区が地区内のクラブのために開発したもので、それがインターネットなどを通じ各地のライオンズに注目されるようになった。各方面からのシステム導入依頼に、同地区ＩＴ委員会では、クラブごとでは大変だが、地区単位なら協力出来る、とボランティアで各地を訪れ研修会を開いたり、その後のサポートも引き受けている。

――今や日本ライオンズの標準的ソフトとなった感のある「クラブ管理システム」ですが、開発はどのような経緯で始まったのでしょうか。

「このシステムは最初、神戸ホストクラブが、クラブの事務合理化を図るために開発したものなんです。その後、同クラブの湯浅（利弘）さんが地区ＩＴ委員長を務められた時、これを地区内で活用したらいいのではないかということになり、他クラブにも応用出来るようにソフトの変更作業を始めました。それが三年前、二〇〇一年のことですね」

――橋本委員長もその作業に加わっておられたんですか。

「ソフトの変更作業自体は、神戸一の谷クラブの辰巳（博昭）君が中心となって進めました。私は湯浅さんの前の年に地区ＩＴ委員長を務め、地区のホームページを立ち上げたんですが、そんなことから再度招集され、ＩＴ化推進に協力することになったんです。当時、地区ＩＴ委員会と言っても二人だけだったんです。そこでクラブ管理ソフトをとっかかりにして、地区内のＩＴ化を進めようと考えた湯浅委員長が、一気に行くでぇと号令をかけ、委員会も五人体制になったんです。その時ピックアップされたメンバーが、辰巳君であり、今年度副委員長を務めてもらっている団（英男）君（神戸レインボークラブ）、坂井（信夫）君（川西北クラブ）たち四十代の若手会員です」

――その後は、どのような方法で地区内のＩＴ化を進めていったんですか。

「新年度からの五人体制の委員会は、実際には五月ごろから動き始めていたんで、年度初めにはソフトもほぼ完成していました。そこで八月に各クラブの事務局さんや幹事さんに集まってもらい、ＩＴ研修会を開いたんです。二十クラブずつ六回開きましたね。

我々もプロじゃありませんから、教えるのも結構大変でしたよ。クラブ管理システムをＣＤ‐ＲＯＭからパソコンにコピーするやり方から教えるわけです。ところが、『私のはＣＤが出てこない（マウントしない）』と、クレームをつける人がいる。見てあげると、ＣＤを裏表に入れている。『逆さまでんがな』と（笑）。そんな人が毎回、二～三人はいました。でも、その中の一人の女性は、その後発憤して勉強し、今や地区ＩＴ委員会の一員ですよ」

――クラブ管理システムは現在、バージョン2になっていますが、バージョン・アップはいつなさったんですか。

「その年の十二月です」

――ずいぶん早いですね。バージョン1は、何かバグでもあったんですか。

「いえ、最初のバージョンを作る時には、十一月にウインドウズＸＰが出ることが分かっていたので、当初から早い時点でＸＰに対応したバージョンを作るつもりでした。バージョン2では会計部門の充実などを図っています」

――失礼しました。折り込み済みのバージョン・アップだったわけですね。

ところでその後、335・Ａ地区のクラブ管理システムは全国各地区に広がっていくわけ

ですが、どういう形で広まったのでしょう。
「当地区以外で最初にこのシステムを導入したのは335・B地区ですが、これは同じ複合地区なので、335・B地区の寺川淳之祐IT委員長と、当地区の湯浅委員長の情報交換の中で話が出て、バージョン1の段階から一部導入されていました。その後、同じ兵庫県の335・D地区も導入され、更にはインターネットで当地区のサイトにたどり着き、ソフト導入を打診してこられる地区が増えてきました。最初が336・C地区で、続いて334・A地区、336・A地区と輪が広がっていきました」

↑橋本委員長を囲み右からライオン辰巳博昭、ライオン団英男、ライオン坂井信夫、ライオン浅原保弘、ライオン葉山恵子のIT委員会の面々

↓334-B地区の視察団にクラブ管理システムを説明する

↓336-C地区IT研修会で

――今日も、334・B地区の方たちが視察に来ておられましたが、現在、何地区が採用しているんですか。
「北から331・A・C、332・D・E、333・A・B・C、334・A、335・A・B・D、336・A・B・C・D、337・A・B・Cと十八地区になりますね。これらの地区は国際協会へのウェブ・マンスリー送信率も高いですし、ペーパーレス化も進み、コストダウンにもつながっているようです」
――導入に当たっては335・A地区ＩＴ委員の皆さんが、一肌脱いでおられると聞いていますが。
「研修会のお手伝いをしただけですが、あちこち出掛けて行きましたね。大変と言えば大変ですが、各地の会員とつながりが出来ましたし、得るものも大きいですよ」
――日本ライオンズのＩＴ化に多大の貢献をされているわけですが、将来の見通しはいかがでしょう。
「私たちの最終目標は、災害ボランティア・ネットワークの構築なんです。阪神大震災の時に、多くのボランティアが神戸や芦屋、西宮に駆け付けてくれたが、そのコーディネーター役がいなかったため、うまく機能しなかった面がある。それらをきちんと結び付け、より大きな成果を挙げるためのネットワークが絶対に必要なんです。当地区が日本の地区として初めてネットに参画したのも、当時の団忠夫地区ガバナー（元国際理事・故人）が震災復興のために推進されたものです。
　阪神大震災を経験した地区として、私たちが全国に発信して、ぜひ日本ライオンズ全体が参画する災害救援ネットワークを作りたいですね。だって、日本全国に三千四百もの拠点を持つ団体なんてありませんよ。この資源を無駄にしてはいけない。それが、ウィ・サーブで結びついた我々の使命だと思うんです」

介助犬シンシア支援事業

兵庫県・宝塚クラブ

宝塚クラブ（48人）では会員の誕生日に、淡いピンク色をした新種のバラ「シンシア宝塚」の花束を贈る。二〇〇〇年に同クラブが開始した介助犬支援事業の一環だ。

バラの名は宝塚の介助犬シンシアにちなんで、正司泰一郎宝塚市長（当時）が命名した。クラブはこのバラを販売し、収益金を介助犬育成及び啓蒙活動に活用する。宝塚市の協力を得て一般市民からの購入申し込みも受け付ける。

宝塚クラブがこの事業を始めた当時、介助犬についてはなんら法規定もなく、ペットと同じ扱いだった。〇二年に補助犬法が施行されて交通機関や公共施設が利用出来るようになってからも育成費用に対する公的補助はなく、資金は寄付やボランティアによる事業収益のみ。それゆえ育成頭数も限られ、いまだ知名度も低い。しかし物を拾う、電話を取る、ドアを開けるなど、四肢に障害を持つユーザーの需要に併せた訓練を受けて仕事に就く介助犬は、ユーザーの手足と言っても過言ではない。

「一人でも多くの人にその恩恵を受けてほしい。また、高齢化が進む日本において、高齢者介助という新たな需要が生じるかもしれない」

宝塚クラブはシンシア特別委員会を設置。長期継続事業の地盤を整え、シンシア宝塚販売を通じての介助犬支援に取り組み始めた。スタートして間もない事業だが、やがては大輪の花を咲かせるに違いない。

シンシア宝塚購入のお申し込み：TEL〇七九七・八四・八五〇六　FAX〇七九七・八四・四四八二

情報／時田嘉一（シンシア特別委員会委員長）

笑顔で子ども同伴例会

大阪府・堺エンゼルクラブ

例会場のホテルの一室は、そろいのスーツ姿で集った女性たちの笑顔で、明るく和やかな雰囲気に包まれている。

開会ゴングと共に、例会がスタート。「ライオンズクラブの歌」を歌う松村尚子会長の足下には、神妙な面もちで一緒に歌詞を口ずさむ二人の子どもたちの姿があった。ほかにベビーカーを押して会場入りしたメンバーも。堺エン

Close up クローズアップ

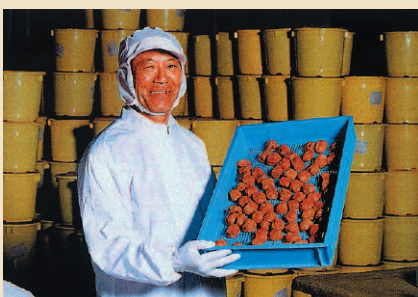
南高梅で作るこだわりの極上梅干

小森健司（和歌山県・南部クラブ）

日本では毎年、十万～十二万トンの梅が生産されている。その約五割は和歌山県紀南地方でとれる。中心は黒潮の影響を受け温暖で日照時間が長いという、梅の生産に適した気候に恵まれる、みなべ町と田辺市で、全国一の生産量を誇る。

紀州田辺梅干協同組合理事長のライオン小森健司（今年度南部クラブ会長）によると、「梅干と言えば酸っぱさが特徴のため酸性食品だと誤解されがちですが、実は強力なアルカリ性食品なんです。ともすれば酸性に偏りがちな現代の食生活の中で、疲労回復、動脈硬化防止、血圧のコントロール等の生活習慣病予防として体のバランスを保ち、がんや心臓病、老化の原因となる活性酸素の発生を抑える貴重な食品でもあります」という。

特にこの地方では「南高梅」というトップ・ブランドの梅が栽培されている。皮が薄く、種は小さく、果実は厚くて柔らかいという特質も持ち、ミネラルをたっぷり含んでいる。

ライオン小森の会社（小森梅選堂／TEL〇七三九・三七・〇二五八）では材料の梅選びに始まり、伝統的な独自の手法による漬け込みまで、こだわりを持って梅干づくりに取り組んでいる。その見事な梅は、左の写真からでも十分に理解して頂けるのではないだろうか。

ゼルクラブ（23人）の例会では、ごく当たり前の光景だ。

今年一月に結成された堺エンゼルクラブは、二十七歳から四十八歳まで平均年齢三十八・六歳という女性クラブ。子育て真っ最中の会員もいることから、例会やアクティビティに子ども連れで出席することも珍しくない。

「アクティビティに参加することで、子どもたちもさまざまなことを学んでくれる」と松村会長。清掃奉仕などに一緒に参加していると言う。

仕事を持ち、家庭に、子育てにと、忙しい毎日にライオンズクラブの活動も加わり、例会出席は大変でしょう？

そう尋ねると、徳丸靖子PR委員長から「チャーター・ナイトの準備でクラブに連帯感が生まれた。そんな仲間と顔を合わせる例会は、忙しい中でホッとする時間でもある」と答えが返ってきた。

堺エンゼルクラブ例会は、第一、三金曜日の正午から。一度訪問されてみてはいかが？

（取材／編集部）

Close up
クローズアップ

大和桜井名物「みむろ」の味を守る

石河敏正（奈良県・桜井クラブ）

国造りの神、大物主神をまつる大和国一之宮、大神（おおみわ）神社の門前に、白玉屋栄壽がある。

名物「みむろ」は大神神社の御神体である三諸山にちなんで名付けられた最中。創業から百五十年あまり、六代にわたってその製法を受け継いできた。大和産のもち米で作った香ばしい皮に、やはり大和産の大納言小豆で作った餡がたっぷり挟んである。かつて大和の小豆は品質の高さで知られていたというが、九割を北海道産が占める現在では、奈良で作られる小豆はたいへん希少なものとなっている。その中から品質の高いものを厳選し、じっくりと煮詰めて、なめらかで香り高い餡が出来上がる。

父上のライオン石河敏秀と店頭にて

白玉屋栄壽で作るお菓子は「みむろ」だけ。長く親しまれてきただけに「味が変わった、と言われるのがこわい」とライオン石河。同じ桜井クラブのチャーター・メンバーである父上からその味を受け継いで、「常に真心を品物に込めて、伝統の味を守っていきたい」と話す。

本店（TEL：〇七四四・四三・三六六八）は、JR桜井線三輪駅から徒歩五分。日本最大級の大鳥居が目印になる。店内に喫茶室もあり、「みむろ」と抹茶のセットを頂くことも出来る。

取材／桜井クラブ藤倉信弘・広報IT委員長

薬物乱用防止活動

滋賀県・愛知クラブ

「薬の怖さを知らなければ、友達に勧められたら好奇心や仲間意識から断れなかったかもしれない。でも、今は『ダメ。ゼッタイ。』という勇気を持ちたい。使っている人に対しても、はっきりそう言えるようになりたい」

八月六日、十四回目を数えた愛知クラブ主宰「薬物乱用非行防止推進事業・青少年健全育成教育講演会」に参加した中学生の感想である。講演会には愛知郡内の中学生約四百人と、愛知川警察署署長、各町の教育長、校長、335-C地区青少年指導委員長を含むライオンズ関係者らが参加した。

第一部は「ダメ。ゼッタイ。スクール」の上映と、警察署生活安全課の辻本美佐子氏による講演「薬物乱用の恐ろしさ」。第二部は「南極の楽しい暮らし方」と題し、二度の南極越冬を体験した文部科学技官・中村俊弘氏が音と映像を交え、ユーモアあふれる講演を行った。

近年の薬物使用者の低年齢化は重大な問題だ。薬物の価格は低下し、インターネットや携帯電話で簡単に情報が入手出来る。危険は身近に潜んでいる。

愛知クラブメンバーらは今後も心を一つにして、子どもたちが自分で危険を回避出来るように、正しい知識と判断力を養うこの活動を継続して行くことを強く決意している。

情報／山川久和（市民教育委員長）

チャリティー・ストリート・バスケットボール大会

兵庫県・姫路白嶺クラ

アクティビティ資金は、会員拠出ではなくクラブ主催の事業で獲得しよう。奉仕の原点に立ち返り、始まったチャリティー・ストリート・バスケットボール大会。趣旨は①大会を通じて青少年育成、スポーツ振興を図る。②参加者の参加費及び協賛企業からの資金提供、広告収入を慈善事業に充てる。

ストリート・バスケットは三人対三人で一つのゴールを争う。場所も取らず、少人数で楽しめる、若者に人気のスポーツだ。第一回大会は一九九四年、当時西日本一と言われたオープン間もない姫路リバーシティショッピングパークの大駐車場で開催され、予想を上回る百二十二チーム、六百余人が名乗りを上げた。また、車いす部門にはパラリンピック出場選手が参加、会場を大いに沸かせた。新聞社

大阪府・貝塚クラ（335-B）
9月7日、ボーイスカウト、ガールスカウトらと一緒に、貝塚市を流れる近木川の清掃を行った。美しい自然を取り戻し、環境保全の大切さを子どもたちに伝えることを目的とした継続事業。

兵庫県・福崎サルビアクラ（335-D）
9月21日、「水の未来は人間の未来」をテーマに、市川流域アメニティー研究会と、お茶席を設けての観月会を共催、40万円強の事業資金を獲得した。また、ゴミ持ち帰りを呼び掛ける取り組みも大成功で、ゴミは例年の4分の1まで減量した。

兵庫県・尼崎琴の浦クラ（335-A）
5月29日、尼崎市立北難波小学校で、2008年完成予定の国際宇宙ステーションに搭乗する宇宙飛行士・古川聡氏を招いて、「君も宇宙に行こう」と題した講演会を開催した。

や地元ケーブルテレビの取材陣も多数集まった。
毎年秋に開催してきたこの大会は今年で十年目を迎える。収益金で老人ホームへリクライニング式車いす、障害者の授産施設の設備補充など、さまざまな品を寄贈した。若者の社会奉仕への関心とライオンズクラブの活動のPRにも役立ってきた。
今年の大会は十一月一日、姫路市総合スポーツ会館にて開催され、七十四チーム、約三百人が参加した。集まった十五万余円の益金とクラブからの寄付金で養護学校にステレオ一式が贈られる予定だ。

情報／飯塚和司（会員理事）

兵庫県・津名クラ（335-A）
8月10日、津名町の津名まつりに参加。昨年最優秀を勝ち取った「リサイクル手作りだんじり・ライオン君」は今年はリニューアルしてライト・アップ賞を受賞。献血のPRも行った。

兵庫県・ハリマ新宮クラ（335-D）
8月2日、新宮中学校生徒、役場職員らと第16回揖保川・栗栖川水生生物調査を実施、虫の採集や同定作業を行った。虫におびえつつ、ライオン・レディーも参加。

SERVICE ACTIVITIES

ふるさと探訪

京都府 宮津

丹後・宮津の城下町と名勝天橋立を歩く

■取材／編集部

静かな佇まいの城下町

三方を山に囲まれた京都市から北近畿タンゴ鉄道でおよそ二時間。日本海に面した宮津に着く。城下町として栄えた町だが、今は城跡は残っていない。宮津駅のあたりに内堀があり、その西を流れる大手川がそのまま外堀の役割を果たしていたのだと聞いた。大手川を渡って更に西へ進んでいくと、漆喰壁の風格ある住宅や商家が点在して、城下町の面影が見えてくる。

宮津は丹後半島と粟田半島にはさまれた湾の奥に位置し、西回り航路の寄港地としても繁栄。背後には丹後ちりめんの産地を控え、町では回船問屋や糸問屋などの商家が活況を呈した。花街の賑わいは、宮津節に「二度と行くまい丹後の宮津、縞の財布が空になる」と歌われたほど。今の新浜通りにも千本格子や、どことなくしっとりとした風情が残っている。

古い商家が点在する界隈から南の方角へ足を向けると寺町に入る。城下町南西の山裾にあたり、宮津藩最後の藩主である本庄家の菩提寺大頂寺や、与謝蕪村ゆかりの見性寺など多くの寺が集まっている。四、五十分もあれば市街を一回り出来るので、ぶらり散策するにはちょうどよい。

宮津の町を歩くと、鮮やかに彩色された、たくさんのお地蔵様に出合う。京都を中心とする近畿地方には地蔵盆の風習がある。地蔵尊の縁日にあたる八月二十四日ごろ、子どもたちがお地蔵様に化粧を施し、その前でさまざまな遊びを楽しむ。それにしても、宮津のお地蔵様たちはカラフルで個性的。巧みな筆使いのものもあれば、女の子が描いたのか衣に「LOVE」の文字が踊るものもあった。

町内の組ごとに一体のお地蔵様をまつっているが、このごろは住宅地が郊外に移って子どもの数が減り、大人が彩色しているところも多い。ひときわ愛嬌のある一体に見入っていたら、向かいの家のおばさんがそう教えてくれた。この組では毎年、組長さんが彩色を担当する。穏やかなお

❶酒造や回船問屋、糸問屋を営んだ宮津城下屈指の豪商だった三上家住宅。府指定の有形文化財に指定され、内部の見学が出来る

❷宮津は醸造業も盛ん。袋屋醤油店は三百年にわたって伝統の醤油づくりを続けている

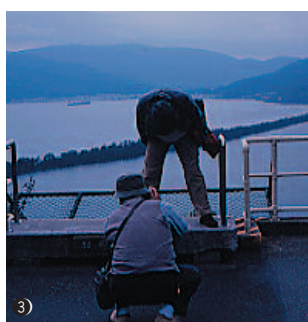
❸カトリック宮津教会は一八九六年（明治二十九年）フランス人のルイ・ルラーブ神父により建立。堂内はケヤキの柱に支えられた釣鐘式天井に白壁、信者席は畳敷きで、規模は小さいながら荘厳な雰囲気が漂う

❹愛らしいお地蔵様トリオ。適当な安置場所がなく、よその祠に間借りする組や、地蔵盆の時以外はお寺に預けておくところもあるそうだ

❺宮津最古の寺、如願寺。皇慶上人の開山（一〇二四年）と伝えられる

顔や愛らしいお顔など、描く人の個性によって表情が異なり、面白いのだそうだ。
　どのお地蔵様にも新鮮な花と水が供えられ、宮津の人たちの温かさが感じられた。

白砂青松の架け橋、天橋立

「大江山　いく野の道の遠ければ　まだふみも見ず　天の橋立」。子どものころ「百人一首」で覚えて以来、憧れを抱いてきた。その天橋立を初めて踏もうと、朝早く出かけた。
　まだ人影まばらな智恩寺の境内を抜け、廻旋橋に差しかかると、橋立近くにアサリ採りの小舟が。松林を背に黙々と網をさす姿が絵になる、なんて思っていたら、突然、「早く渡って」の声。慌てて向こう岸に着くと、橋は声の主を乗せたまま回転を始めた。
　天橋立は阿蘇海に注ぐ野田川と、丹後半島を南に流れる潮流が長い年月をかけて作り上げた自然の造形。湾の北側の江尻から南西に細長く伸びた砂嘴（さし）が、宮津湾と阿蘇海とを分ける。対岸の文殊との間は、小天橋と呼ばれる島を挟んで二本の橋でつながっている。その一本が、観光船や運搬船が通るたびに九十度回転するのだ。
　もう一本の橋、大天橋を渡ると、行く手には延々と松林が続いている。その数およそ八千本。風情ある古木も多い。右手の宮津湾側は白い砂浜で、夏は海水浴場として賑わうという。真ん中を過ぎたあたりで幅が二十メートルほどに狭まり、海上の一本道に立っている実感が沸いてくる。通学路なのか、途中で自転車の女子学生とすれ違った。毎朝この景色が見られるなんて、うらやましい。自転車なら二十分ほどで渡れ、レンタサイクルもある。徒歩では小一時間の道のりだ。
　江尻側の府中には、伊勢神宮の元宮として丹後随一の格式ある籠神社や、「股のぞき」で有名な傘松公園がある。
　取材中お会いした方々に、「天の橋立を見るのにいちばんいい季節は？」と尋ねたら、いずれも「冬の雪景色」の答え。「綿ぼうしをかぶった天橋立を窓越しに眺めつつ、こたつで日本酒をやるのが最高」だという。冬の味覚、マツバガニやブリも楽しめると聞けば、すぐにでも真冬の再訪を計画しなくては。（河）

❶長い柄のついた網を放り込むと、ぐいっ、ぐいっと何度か力を込めながらアサリをすくい上げる
❷日本三文殊の一つ智恩寺文殊堂。本尊は「切り戸の菩薩」と呼ばれる文殊菩薩。八〇八年に平城天皇の勅願で創建されたと伝わる
❸傘松公園では訪れる人が次々に「股のぞき」に挑戦。しかしこれが意外に難しい。体が柔軟でないと「天にのぼる橋」の姿は拝めない
❹文殊側の天橋立ビューランドからの眺めは「飛龍観」と呼ばれる
❺近海でとれたアサリが乗った名物アサリ丼。松並木の中にある「はしだて茶屋」（ライオン山本大八朗）で味わえる

❻宮津の名旅館「茶六別館」の主人ライオン茶谷昌史。木造数寄屋づくりの趣きのある宿で、丹後の海の幸を生かした京懐石が堪能出来る。隅々にまで心配りが感じられ、ゆったりとくつろいだ時が流れる
❼山王宮日吉神社は歴代藩主の氏神で、「山王さん」と親しまれる。宮司はライオン牧宏明。体育の日に行われる赤ちゃんの初土俵入りが有名

京都府・宮津クラブ

宮津クラブは日本三景の一つ、天橋立を囲むように位置している、宮津市、加悦町、野田川町、岩滝町、伊根町の一市四町のメンバーで構成され、日本で五百五十番目のクラブとして結成されました。

今年五月にはチャーター・ナイト四十周年の記念事業として、地域の祭を一堂に集めた「丹後夢物語・郷土芸能祭り」を開催し、大好評を博しました。

今回の「郷土芸能祭り」は、モットーである「地域に密着したクラブ」の集大成として実行したものです。当クラブはこれまでも、地域に密着した奉仕活動を行ってきました。天橋立での清掃や夏期の救護案内所開設、一市四町の少年少女野

球大会の開催などは、結成当初から継続している事業です。

これからも、汗をかく奉仕を継続することこそが「力」であると、地道な活動を続け、地域に認知され、頼りにされるクラブでありたいと歩んでおります。

会員数の減少が続く中、当クラブでは賛助会員制度を充実させ、リタイアされた地域のリーダーをクラブに迎えています。一人では出来ない奉仕でも、会員として一緒に行動することで、実りある奉仕が実現出来ます。

今後も地域密着型、汗をかく奉仕を第一に前進したいと思っています。

（中西六右衛門）

■宮津クラブから読者プレゼントがあります（56ページ）。

4）

イラストマップ／小川和政

「茨木童子」大阪府茨木市

羅生門の鬼にまつわる伝説の広がり

■文：篠崎淳之介／切画：風祭竜二

昔な、一人の赤ん坊が生まれたんだと。赤ん坊はな、生まれた時から、とても元気でな、歯もはえていたんだと。髪もぼうぼうとのびてな、おまけに眼がランランと光っていてな、ぐんぐん背が伸びて、歩くし、走るし、力はあるし、もう人ではないようだった、と。それでこれはもう鬼の子ではないか、と気味悪く思われて、山へ捨てられてしまったんだと。

大きくなった赤ん坊は、大盗賊のシュテン童子の手下になって、茨木童子と名乗るようになったんだと。

大人になった茨木童子は、不思議な力を持っていてな、遠く離れていても、お父ッつァンとお母あンが病気になれば、すぐそれが分かったんだと。

ある日、茨木童子は、その不思議な力でお母あンとお父ッつァンが病気で寝ているのを知って急いでかけつけたんだと。

お母あンとお父ッつァンは、茨木童子が、その昔の恐ろしげな赤ん坊だったことを知ってびっくりしたと。ダンゴをつくって食べさせて、ここにいろや、と言ったんだけどな、みんなが反対するもので、茨木童子は帰って行ったと。悲しげな顔で、ノギツネが走るみたいにサアッと走って、姿けしてしまったんだ、と。

羅生門に鬼がいたというお話は広く知られています。羅生門は正しくは羅城門と言って平城京や平安京の正門に当たり、都の南にあって、北の端の朱雀門と相対しています。

その都の正門に鬼が住んでいた、というお話は、能の世界で描かれています。観世信光の作で源頼光の家来の渡辺綱が、羅生門の鬼と闘って、その片腕を切り落とすのですが、その鬼が茨木童子と言われています。

この茨木童子に題材をとった河竹木阿弥の作品「茨木」も、長唄の所作事として良く知られています。「茨木」では、渡辺綱が、羅生門で切り取った鬼の腕を唐櫃に収めて、館に引きこもっています。そこへ綱の伯母と名乗る老婆が訪ねてきます。酒宴の後で伯母は「腕を見せよ」と迫り、仕方なく綱は腕を見せてしまいます。隙をうかがって伯母は腕を奪い、たちまち悪鬼の姿になって逃げ去ってしまいます。伯母は姿を変えた茨木童子だったのです。

鬼が住んでいると言われる土地の名は、羅生門のほかにも、丹波の大江山、陸奥の安達が原、近江の安義橋などが『今昔物語』であげられています。

この茨木童子のお話は、一七〇一年（元禄十四年）に刊行された、岡田渓志の地誌『摂陽群談』に紹介されていて、そこでは、茨木童子の生まれた地が、今の兵庫県尼崎市東富松とされていて、茨木村に捨てられた子が盗賊の酒顛童子に拾われ、やがて丹波の国の大江山の砦の守りを命じられます。両親が病に伏したことを知って駆けつける話もこの地誌に紹介されています。

一方、茨木市に残るお話では、茨木童子は今の茨木市の水尾に生まれて、茨木の村外れに捨てられて近くの床屋に拾われ、仕事を手伝いながら客の切傷の血をなめているうちに鬼の形相となって、大江山に去ったことになっています。今でも、茨木高校の東に「茨木童子貌見橋」の石碑が立っています。昔、童子が使っていた櫛を捨てた所の名残だと言われています。

茨木市は、文豪川端康成が中学時代までを過ごした地とあって、記念の文学館があり、古墳群地帯、キリシタン遺跡の多さでも知られ、資料館も整った歴史の街です。

表紙シリーズ
日本の歴史町 最終回

繁栄の名残が今なお漂う山間に現れる赤い街並み

（岡山県・川上郡成羽町吹屋）

筆者：榎本伝々

映画「八ツ墓村」の舞台にもなった広兼邸

街灯や門、柱のデザイン、外壁の色調、更には生垣に至るまで、あるコンセプトで統一された新築の家並みをご覧になったことはあるだろうか。昨今の建築ブームの影響を受け、家屋だけではなく街ごと作り上げてしまうという試みである。今となってはさほど珍しいものではないが、明治初期に既に一つのコンセプトに基づいて計画的な美しい街並み作りを実現させた集落がある。岡山県の山間地にある成羽町吹屋（ふきや）の集落である。

街中には、山陰地方によく見られる赤銅色の石州瓦で外観を統一させた家々が、整然と建ち並ぶ。街の旦那衆が石見地方（現在の島根県）から宮大工の棟梁を招き、町全体の統一感を重視して建てさせたと言われている。当時としては画期的な建築思想である。

吹屋は古くから銅が産出された土地柄で、日本の六大銅山の一つにも、三大銅山の一つにも数えられる中国地方随一の銅山町であった。後に住友や三菱の所有となって、財閥の発展にも貢献した。吹屋の外れにある広兼邸は、まるで城を思わせる石垣を持つ。銅山による繁栄ぶりをしのばせる建物だ。

吹屋はまた、中国産地で生産される鉱物、薪炭、雑穀を集散する問屋が集中。荷馬の行列が吹屋に留まるため、旅籠屋や飲食店なども大いに繁盛、吹屋街道の拠点としても機能した。集積物は吹屋から更に荷馬に負わされて成羽へ運ばれた後、高瀬舟で玉島港に集められ、そこから上方や四国へ輸送された。一方、米や塩などの生活必需品が、逆のルートを通って瀬戸内海経由で山間部に送られていた。

このように鉱業地として大いに繁栄していた吹屋だが、十八世紀に入ると銅に並んでベンガラの生産も始められた。酸化鉄から作られるベンガラは、染料として陶器や布の染色などに使われた。九谷焼や伊万里焼の焼き物、更には輪島塗など塗り物の赤い色を出すのに最適であった。当時、日本でベンガラを産していたのは唯一吹屋だけだったため、独占状態であった。このような背景もあり、ベンガラは吹屋の街に莫大な富をもたらした。

ベンガラの産地にふさわしくベンガラ格子の家が道の両側に続き、ベンガラの色に合わせるかのように屋根は赤く、壁も少々赤みを帯びている。一九七七年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことで、「赤い街並み」という独特の景観は守られることとなった。

CLUB REPORT クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は十月号57ページをご覧ください。

千葉クラブ

労力奉仕でビオトープ作り

千葉クラブ（吉川敏男会長／53人）が、「オニヤンマを呼ぼう」を合言葉に市内二つの小学校児童たちと市内の花島公園内に造成した「集まれトンボ花島池」に、トンボの王様オニヤンマが帰ってきました。このニュースは本誌二〇〇一年九月号で紹介されていますが、これに力を得た千葉クラブは四十周年記念事業の一環として、メンバーにOBが多い千葉県立千葉高等学校のプール跡地に、更に大規模なビオトープを造成しました。

元建設会社の斎木勇三前会長の陣頭指揮の下、全く重い物を持ったことがない素人のメンバーも含めクラブ全体が一丸となり、炎天の下、汗みどろになって作業に取り組みました。千葉高生物部顧問の先生を始め、生徒やOBの皆さんも協力してくださり、ようやく池が完成しました。

千葉高のビオトープでは、千葉市における絶滅危惧種のデンジソウや、関東の遺伝子をもったメダカも見られ、また、ヤゴやトンボ、蝶や小鳥も観察出来ます。

市内の小学校や中学校の皆さんが理科の授業として、生物の先生に引率されて観察に来るようになればよいと思っています。

（環境保全委員長／椎名益男）

（編）ビオトープは、野生生物が暮らせる自然環境のままの池。述べ百五十三人が、五百九十六時間掛けて、十八メートル×八メートル×八十センチのビオトープを完成させました。

連絡先↓TEL〇四三・二二五・六六三二

333-B地区第4リジョン第1ゾーン

地域大イベント後の清掃大作戦

毎年十月の第一土曜日、全国の花火師が日本一の煙火技術を競う「土浦全国火炎競技大会」が桜川畔で開催される。この大会は土浦クラブ会員のライオン秋本裕峰の祖父・梅峰氏（神竜寺住職）が一九二五年、不況にあえぐ地元商店街復興と霞ケ浦海軍航空隊殉職者慰霊のために私財を投じて開いたのが始まり。今年も秋の夜空に繰り広げられる二万発の競演に、七十万人の見物客が訪れた。

そして大会翌日の早朝六時半、第4リジョン第1ゾーンの七ライオンズクラブと一ライオネスクラブの会員三百八十余人が集合し、桜川堤、河川敷清掃を展開した。この清掃作戦は、毎年近隣の中学生及び市民ボランティアら千六百人と共に、ゾーンが主体となって行う共同作戦。可燃ゴミと不燃ゴミを分別回収、一時間後にはゴミ袋の山が。清掃終了後には各クラブで朝食会が持たれ、昨夜の審査、採点に話が弾んだ。

（土浦クラブPR委員会）

（編）同ゾーンは霞ケ浦沿岸のライオンズクラブ、ライオネスクラブで組織される「霞ケ浦浄化ライオンズ会議」にも所属。各クラブに指定された日時、場所での年四回の水質検査とその報告、また家庭雑排水の撤廃、粉石鹸の普及・PRといった活動を通し、環境美化に努めています。

連絡先↓TEL〇二九八・二三・二四三四

北海道・帯広中央クラブ

秋晴れの下、障害児らと収穫祭

収穫の秋を迎え、帯広中央クラブ（安岡幸一会長／53人）では、九月二十一日、障害児らと一緒にジャガイモ、トウモロコシ、カボチャ、枝豆などの採り入れを行った。「すこやか農園収穫祭」の催しで、参加者は秋晴れの下、さわやかに汗を流した。

この催しは帯広市社会福祉協議会と当クラブのタイアップで実施。今年五月、障害児、家族、帯広農業高校生、ボランティア関係者らと共に、同農業高校の畑で作物の種植えを行った。

今年は夏の天候が不順で作柄が心配されたが、まずまずの出来。この日の収穫祭には、発達に障害を持つ子どもたちや家族、ボランティア、それに当クラブ会員ら約三百人が参加。児童たちもボランティアの手を借りながらジャガイモ、トウモロコシを次々と収穫、四カ月前に自分の手で植えた作物が立派に実を付けたことに笑顔を見せていた。

イラスト／篠田和夫

収穫したジャガイモを使った豚汁も振舞われ、参加者の「おいしい！」という声があちこちで聞かれた。当クラブでは、わたあめを作って児童らにサービス。また、経費として十三万円、タオル三百本を提供した。

（ＰＲ・ＩＴ情報委員長／楠野博）

（編）参加者の方からは「汗を流して収穫した喜びは、ほかでは得られない貴重な体験。収穫したばかりのジャガイモは格別な味だった」とうれしいコメントを頂きました。

連絡先↓TEL〇一五五・二二・三四九三

神奈川県・川崎東クラブ

タイの小学校に楽器をプレゼント

学校を卒業して使わなくなったリコーダーやハーモニカをしまい込んだままにしている人は多いはず。川崎東クラブではこれらを寄贈してもらい、タイの小学校に贈ろうと考えた。

八月七日、タイ国訪問団がバンコクに到着すると、空港にはタイ・ノンタグラ小学校のサイチョン校長が出迎えてくれた。楽器などが入った段ボール十箱をさっそくバスに積み込み、休む間もなくバンコクを発った。国道を約三時間あまり北上し、中継地点のナコンサワ市に一泊。翌朝、目的地であるバンポライ郡ノンタグー町ノンタグラ小学校に向けて出発。カンボジア方向に約一時間、水田地帯を抜け村に入る。入り口には村人たちが作った歓迎の横断幕が張られていた。前日から村人総出で歓迎の準備をしてくれたそうだ。

ノンタグラ小学校には校長以下先生が六人、生徒八十六人。我々が到着すると、あどけない子どもたちの視線が一斉に向けられ、澄んだ瞳と笑顔で迎えられた。贈呈式では百人以上の方々の善意で集まった楽器や文具のほか、クラブ会員から託されたドネーション、グローブ、バット、ボールを一人ひとりに手渡した。受け取る子どもの目の輝きが印象的だった。

（竹内成治）

（編）子どもたちは手作りの衣装を着て歌やダンスで、村の女性たちは心のこもった手料理で歓迎してくれたそうです。

連絡先↓TEL〇四四・二四四・四六四〇

北海道・津別クラブ

美しい地球を守ろう

過去二十年近く、町の主唱の下、道道・津別屈斜路線沿いに桜などの苗木を植えてきました。しかし、その後の生長を観察するところ、寒冷地のために木々が矮小であるのを見るにつけ、植物にもアフターケアが必要ではないかと思い始めました。

そこで、木々の根元八カ所に鉄棒で直径三センチ、深さ三十センチほどの穴を掘り、化学肥料を施しました。約二キロメートルの間の三百本の桜に、計四十キログラムの肥料を与えました。

時あたかも、今期の地区ガバナー・モットーは「地球を永遠（いつまで）も美しく」で、地区アクティビティ・スローガンが「美しい自然未来につなげ　青い地球」。今回の私たちの苗木のアフターケア事業は、モットー及びスローガンにこれ以上なくフィットするものではないかとクラブ会長以下メンバー一同、自画自賛しております。

また、我がクラブでは十月にも環境アクティビティ第二弾として網走川流域の道路沿いのゴミ清掃を計画。この事業では副次的な狙いとして、他団体との連携による地域社会奉仕の可能性を図り、地元信用金庫や津別町役場と連絡調整中です。

（PR情報委員長／布瀬勝明）

（編）津別クラブでは今後、市町村合併が現実化した場合の街作りもふまえ、他団体との連携強化にもアクティビティを有効活用していく方針だそうです。

連絡先→TEL〇一五七・六・二三四二

長野県・諏訪湖クラブ　諏訪湖ライオネスクラブ

朗読劇「この子たちの夏」諏訪で公演

諏訪湖クラブ（笠原文武会長／99人）と諏訪湖ライオネスクラブ（藤森輝子会長／75人）のメーン・アクティビティ、朗読劇「この子たちの夏、一九四五年・ヒロシマ、ナガサキ」（毎夕新聞社など後援）が八月三日、市文化センターで行われ、女優たちが朗読する原爆投下の瞬間やその時の思いなどに、多くの市民が戦争の悲惨さや命の貴さ、家族愛の大切さを心に刻んだ。

同朗読劇は広島や長崎で被爆した生徒や母親たちが原爆投下を綴った手記や手紙などを、テレビや映画に出演する女優たちが手弁当で全国を巡回・公演しているもの。初演から十九年続いている。

六人の女優が代わる代わる、生活が一変した瞬間の手記を朗読。被爆の様子の写真も映し出され、また双葉高校演劇部生徒や地元参加者五人も短歌や俳句を朗読。会場超満員の市民や親子たちは、五十八年前から今もなお続く原爆の悲劇を目と耳で再認識していた。

開演前には入口に市民が長蛇の列を作り、会員らも会場案内に追われた。笠原会長は「反核や反戦ではなく、命と家族の愛情を分かってもらい、一人でも多く戦争や命について感じて多くに語り継がれ、毎日全国で起こる事件や事故が減っていけばいいと思う」と話した。

（『毎夕新聞』8月5日）

（編）「死期がせまり、わたしも思わず、お母ちゃんもいっしょにいくからね、と申しましたら、あとからでいいよ、と申しました／お母ちゃんにあえたからいいよ、とも申しました」朗読された手記の一節です。開催後には、感動した、この悲劇を忘れ去ってはいけない、生きていることに感謝したなど、たくさんの感想が寄せられたそうです。

連絡先→TEL〇二六六・五三・〇五五八

福井県・敦賀クラブ

伊賀上野で芭蕉さんを学ぶ

敦賀市は松尾芭蕉の『奥の細道』のフィナーレの地。敦賀クラブ（西村清七会長／87人）では、二十一世紀を担う子どもたちに敦賀の歴史や文化を語り伝えることで、郷土・敦賀に誇りと愛情を感じてほしいと考え、その切り口として俳句を取り上げ、本事業を企画、実施しました。

市内九小学校の五～六年生五十四人、クラブ・メンバーを含め総勢八十三人が芭蕉の生誕地、三重県・伊賀上野を訪れました。参加者は芭蕉生家を始め市内を散策、今なお残る歴史的、文化的遺産に直接触れ、何かを感じ取ったに違いありません。

記念セレモニーは旧藤堂藩の藩校「崇廣堂」で開催。多くの来賓にご出席頂く中、上野市教育長を始め伊賀上野クラブの東本馨会長から温かい歓迎のお言葉を頂きました。

学芸員による基調講演「芭蕉さん教室」では、紙芝居で芭蕉の一生を分かりやすく、特に敦賀にまつわる部分を詳細に紹介して頂きました。

芭蕉の旅姿を表した「俳聖殿」前で昼食、緊張もほぐれた様子の子どもたちは弁当を広げ、午後は忍者博物館や忍者ショーを見学、自由時間を楽しそうに過ごしていました。

本事業をきっかけに334複合地区の仲間として、伊賀上野クラブとの交流会を開催、親睦を深める意義ある時間を持つことも出来ました。

（幹事／中井美朗）

（編）俳句のふるさとに身を置くことで、歴史的経緯や俳句に関心を深めることがねらいのアクティビティ。子どもたちには良い思い出となったのではないでしょうか。

連絡先→TEL〇七七〇‐二二‐五九二六

徳島県・鴨島クラブ

敬老の日に記念写真の撮影奉仕

毎年敬老の日には鴨島町主宰の敬老大会が開催され、ダイヤモンド婚、金婚に該当するカップル、また、喜寿、卒寿を迎えられた方々に表彰賀状が授与されます。鴨島クラブ（真柴毅会長／44人）ではこの表彰された方々を写真撮影し、お祝いの記念として贈呈するアクティビティを二十年間続けて参りました。

クラブ会員であるプロのカメラマンが撮影を担当するのですが、今年はご当人が「写される敬老の日」と相成りました。そう言えば近年は、クラブ会員自身が記念の撮影をされることもしばしばです。隔世の感も否めません。

敬老大会の前日に機械などを搬入し、撮影会場を設営。当日は、早朝からクラブ会員が勢揃いし、受けけや撮影をスタート、大会式典の開始時間までに撮影を終了します。

このアクティビティはたいへん好評で、ご本人から後日、引き伸ばし版のご依頼もあると聞き及んでおります。一枚の記念写真に、長い人生の一コマが切り取られているのでしょうか。

（前会長／菊川勲）

（編）今年は総計百八十五人の記念写真を撮影。会員たちは明るく楽しい雰囲気作りに、カメラマンはモデルの笑顔を引き出すよう気を配るそうです。きっと、忘れられない記念になることでしょう。

連絡先↓TEL〇八八三・二四・五二二二

愛知県・岡崎葵クラブ

中学生の主張コンクール

岡崎葵クラブ（88人）は八月十八日、岡崎市せきれいホールで開催された第十七回岡崎市中学生主張コンクールを本年も後援、助成金を贈呈しました。当日は会長、幹事を始め教育委員会・PR情報委員会のメンバーが参加し、新鮮な中学生の主張を聞きました。

各中学校の代表の主張は、体験に基いた迫力あるもので、聴衆は皆感動で涙しながら聞き入りました。休憩を挟んだ三時間も短く感じられるほど充実したひとときで、感銘・感動・喜びに包まれた実に素晴らしいコンクールでした。

発表後、講評及び審査結果発表、四人の最優秀賞受賞者の表彰式が行われ、盛大のうちに終了しました。

当クラブではただ感動して聞くだけでなく、発表者十九人に対し感謝の意を込めて、一人ひとりに発表内容の感動した点を称賛し、今後の指針を添えた手紙を贈りました。後日、教育長を始め、校長、生徒さんからもお礼の手紙を頂き、再び感激。アクティビティをさせて頂いたことに喜びを覚えました。

校長先生を始め生徒さんたちと心の交流が出来たことが最大の収穫でした。

（会長／斎藤道夫）

（編）手紙は、校長先生から発表者に手渡しして頂きました。生徒さんたちの方でも、感動されたのではないでしょうか。

連絡先↓TEL〇五六四・二三・八五三八

題字／関根　雅美（埼玉県・大宮グリーンクラブ）
（応募要領→十月号57ページ）

●獅子吼（ししく）
①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。
②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

モンゴルとの友愛の絆

中野　了（東京渋谷クラブ）

果てしなく広がる草原と星空の美しい国モンゴル。「モンゴル・コーディネーター」という役職を国際本部から委嘱されたのは、今年一月のことでした。

現在、モンゴルには六クラブしかなく、地区が形成されていないため、当然、地区ガバナーも存在しません。したがってコーディネーターの役割は、「地区ガバナー代行」ということになります。つまり、モンゴルからチャーター申請書を提出する場合、私のサインがなければ国際本部は受け付けてくれないのです。

330・C地区の埼玉県・東松山クラブがスポンサーとなって、モンゴルで最初のウランバートル・セントラルクラブを誕生させてから今年でちょうど十年になります。結成以来コーディネーターを務めてこられた栗原洋三郎元地区ガバナーが昨年の六月に亡くなられたため、国際本部はその後任として私を指名しました。

このたび、ウランバートル・セントラルクラブから十周年記念式典に出席の招請がありました。私はそれにこたえるため、所属する東京渋谷クラブや330・A地区の有志の方々とウランバートルを訪れることにしました。

ウランバートルの緯度は稚内と同じで、標高千三百五十二メートル。九月の平均気温約九度で、朝晩の冷え込みはかなりのもの、という情報をもとに冬支度で出発しました。初めてのモンゴル訪問ということで期待と不安でいっぱいの機中の五時間でした。

深夜にウランバートルに到着、空港で出迎えてくれたウルジ暫定ゾーン・チェアパーソンと滞在中のスケジュール調整をした後、市中に向かいました。

翌朝は、今回の初仕事としてニャマダヴァ厚生・保健大臣を表敬訪問。大臣からライオンズクラブ国際協会と日本ライオンズによる日ごろの支援への感謝と同時に、疾病検査のための総合病院建設に対しての協力要請がありました。

今回の訪問は、十周年記念式典や国際本部

から私あてに届いた新クラブのチャーター伝達式への出席も大きな目的でしたが、私が最も重要視していたのはゾーン・ミーティングでした。

それぞれのクラブはホームレスの児童や老齢者対策、環境保全、アイヘルスなどのアクティビティを実施していますが、これまで暫定ゾーン・チェアパーソンを中心とした六クラブの集まりは一度も開かれたことがありませんでした。すなわち、情報の伝達や交換、会則の認識が不十分なまま、各クラブの運営がなされていたのです。例えば、ゾーン・チェアパーソンの任務についても、当の本人も今回初めて認識したという状況なのです。しかしながら六クラブ百五十八人の会員は本当に純粋で情熱を持ち、一生懸命に奉仕活動を行っていることも事実です。

総人口約二百四十万人のモンゴルで、首都ウランバートルには約八十万人もの人々が暮らしています。民主化からわずか十数年、平均年収が六百ドルということで、経済環境は今もってかなりの厳しさがあるように見受けられました。

このような状況の中で、今年はＬＣＩＦの交付金を受けて336・Ｄ地区（島根県・出雲クラブほか）が小児医療機器の提供を、334・Ａ地区（愛知県・蟹江クラブ）が学校建設のための事業を展開しています。また、私の所属する東京渋谷クラブは今回、エフニャラフス産科クリニックに医療機器購入資金を贈りました。この病院は年間約六千人の出産を助けていますが、その四割は辺境地域の人たちです。車で五十キロほど郊外を走りましたが、途中はただただ草原が広がっており、たまに遊牧民のゲル（住居）と馬や羊などの群れを見る程度でした。モンゴルは経済や政治は着実に安定化しつつありますが、まさにいまだ開発途上といったところです。

最後に、コーディネーターとしてお願いがあります。一つは、首都に次ぐモンゴル第二の都市・ダルハンにあるダルハンクラブが日本のクラブとの姉妹提携を熱望していることです。結成六年で会員数二十三人のクラブですので、ご関心のあるクラブのご連絡をお待ちしています。また、ダルハンクラブに限らずモンゴルのクラブは厳しい経済環境の中で活動しており、日本の指導と援助を求めています。積極的なアクティビティの検討も併せてお願いします。

日本がエクステンションしたモンゴルとの絆は大切にしなければなりません。私の任期はおそらく複数年になりますので、結んだこの絆が友愛に満ちた太く素晴らしい絆になるように、努力を重ねたいと思っています。

（元地区ガバナー／化粧品製造販売・72歳）

長寿を願い、元気を撮る

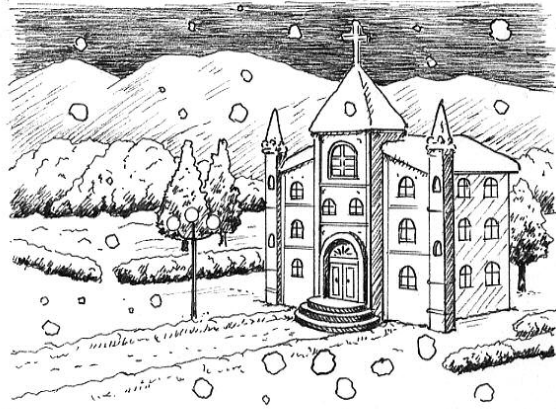
中野　善之（新潟県・越後西川クラブ）

越後西川クラブはその名のごとく、新潟市に隣接した西川町にあります。弥彦山と角田山を眺められる越後平野の真ん中に位置し、のどかな西蒲原は西川米の米どころとして知られています。

西川町では、九月十五日に曽根小学校の体育館で「敬老会」を開催しています。この敬老会では、ほかではあまり見ることの出来ない光景が毎年展開されます。

敬老会の受付の脇に陣取って、来場したお年寄りの写真を次々に撮影する一団がいます。当クラブがアクティビティとして撮影会を実施し、出席者一人ひとりに記念として差し上げているのです。開会式前の一時間半で、毎回百八十人は下らない人たちの写真撮影を行います。

すでに、三十五年来の実績を持つ撮影会だけに、撮られる方も慣れたもの。お好みの洋

服を用意する人、羽織を着て撮影に備える人、暑い日でも背広にネクタイの正装で出席する用意周到な方などさまざま。毎年の習慣として撮影を楽しみにしている常連さんたちが、次々と撮影の順番を待っています。

イラスト／小川和政

今ではデジタルカメラ時代で、携帯電話にまでカメラが付いている時代。とはいえ、今年も記念写真の撮影は二百人を超えました。開会式三十分前の込み合う時間帯になると、二分間に三人を撮影という過密なスケジュールに追われます。撮影が終わると「来年も元気な顔を見せてください」と、カメラマンは一声掛けて敬老会の式典会場へと後ろ姿を見送ります。

流れる汗をそっとふき取り、今年も年に一度の責任を果たしてホッと胸をなで下ろす。この記念写真の撮影会を開始したころは、日本の経済力も乏しく、カメラはまだ貴重品で一般家庭にまで普及するほど生活は豊かではありませんでした。

お年寄りが急に亡くなった時など、ご本人の写真がなく、「敬老会で撮影した写真の原板をお貸し願えませんでしょうか」と遺族の方からお申し出があるほどでした。その数も年間二十数人と、しばしば申し込みがあったことを記憶しています。

写真はどこでも撮ることが出来ますが、最期を飾る写真は、本人の納得した表情のものにしたいという願いとこだわりが、そこにあるように感じられました。

時代が変わり、豊かな現代となった今日でも、老後を迎える心境は、平安と穏やかさを求めていられることを、敬老の日の奉仕を終え、痛切に感じました。

（薬店店主・73歳）

例会出席について考える

高巣　光男（福岡県・大牟田三池クラブ）

「なぜ例会に出席し（たく）ないか」との問答が地区誌や『ライオン誌』などで取り上げられています。私はどうすれば出席願望が湧き上がるか、というプラス思考で考えてみたいと思います。

まず第一に、仕事のスケジュール表に月二回の例会日をきちんと記入しておくことです。これを先約として、他の行事を割り込ませないようにします。

第二は、月二回のランチやディナーが待っていることに期待を寄せることです。特にディナーでは、友と一緒に晩酌が出来るという特典も付いてきます。

第三は、月二回は他の会員と額を突き合わせて雑談が出来るという楽しさが待っていることです。この雑談の中にこそ情報や仕事のヒントが隠されていることを自身の感覚でかぎ取ってください。

そしていちばん大事なことは月二回の例会に一年間出席すれば、個人的にも百パーセント出席を達成出来ます。これによって権利と義務をしっかりキープ出来た満足感と、一年間を通じて持続出来たという充実感が得られる上、本人には個人賞として還元されることになるでしょう。

出席は何も例会に限ったことではありません。ライオンズのあらゆる事業に参加してこそ、その真価を次第に理解することが出来ます。また、参加する意欲が高揚されてこそ、事業の成功にもつながっていくのではないでしょうか。

人はよくボランティアを「奉仕」と解釈しますが、私は「仕事」であると考えています。確かに奉仕は無報酬ではありますが、精神的充足感はその比ではないと思います。

また、仕事の定義の中にも、奉仕らしき位置付けがなされている個所を見つけることが出来ます。仕事の四つの定義とは、以下の四項目を指します。

一、そのもので生計を立てていけること
二、そのものが継続して行われていること
三、そのものが個性に合っていること
四、そのものが社会に役立っていること

我々は仕事を通して社会に貢献していますので「仕事」を「奉仕」に読み替えても何ら不自然ではないというのが自説です。

最後に提案を。当クラブでは事務局や会場でサインして頂くことで、出席に代えています。サインに行く時間もない人、つまり出席やサインの意思があってもその寸分の余裕が確保出来ない方のためにも、私は電話でその意思を確認することによって、出席扱いとならないものかと思っています。出席したいのに出席出来ないそのもどかしさとその強い意志は、電話の「力強さ」で解決出来ると思います。電話出席扱いとなった会員も、きっと心の中では「ウィ・サーブ」とローアされていることかと思われます。

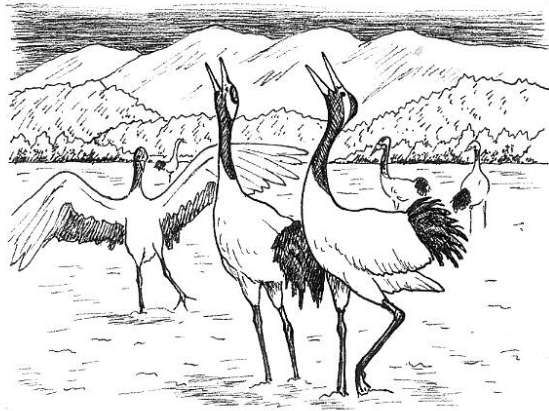
（建築設計事務所・58歳）

奉仕と「生きる」大切さを考える

伊藤　徳之（静岡県・大須賀クラブ）

六月二十一日、静岡県内で八十六番目のクラブとして大須賀クラブが設立され、九月六日にはライオンズ国際協会から認証状が伝達されるチャーター・ナイトが、石川嘉延県知事を始めとする多くの来賓の方々を迎えて、関係者総勢二百五十人のご参加のもと挙行されました。

ライオンズクラブは「ウィ・サーブ」をモットーとする世界最大の社会奉仕団体です。

一口に社会への奉仕とか貢献とか申しますが、このような気持ちや精神とはいったい、どこから生まれてくるものなのでしょうか。

私なりの考えを述べてみたいと思います。

最近、私は「生きている」というよりは、むしろ「生かされている」ということを改めて感じています。普段はなかなか気付かないものですが、私たち一人ひとりの生活は、実は驚くほど多くの人々の努力と貢献によって成り立っています。私たちは決して一人で生きていくことは出来ません。そのことに気付いた時に、社会に生きる一人の人間として、社会に対し、何らかの貢献をしようという気持ちが生まれてくることは、人間として自然なことではないかと思うわけです。自分以外の他のものに協力することで、結局は自らが生きることが出来る、そんな仕組みが世の中には確かに存在します。

近ごろでは、身勝手な殺傷事件や安易な集団自殺など、とかく生命を軽んじる極めて自己中心的な風潮があります。とても残念なことです。考えてみますと、私たちの生命というものはまさに奇跡というべきもので、世界中の富と科学の粋を結集しても、今のところ人間の手では木の葉一枚、大腸菌の一つすら作り出すことは出来ません。私たちはもう一度、生命の大切さについて「生きる」とはどういうことなのか、問いただす必要があるのではないかと思います。

生命の大切さを実感し、自身以外のものに心を配り、社会に生きることの意味を考えた時に、社会に対する奉仕や貢献の気持ちが自然と湧き出てくると思うのですが、皆さんはいかがでしょうか。

（大須賀町長・58歳）

児童養護施設「函館国の子寮」における労力奉仕

奉仕の本質を学んだアクティビティ

■北海道・函館中央クラブ

二〇〇二年三月現在で、親と暮らすことの出来ない子どもたちが集団で生活する児童養護施設の数は全国で約五百五十カ所。児童・生徒数でおよそ三万五百人にものぼる。入所の主な理由は「両親の不在」「病気や経済的な理由による親の養育不能」そして「親による虐待」である。長引く不況と虐待件数の増加で入所者が増えており、こうした施設に手を差し伸べる団体も多いという。

北海道函館市にある「函館国の子寮」も、そんな児童養護施設の一つ。これまで幾度となく奉仕活動の申し入れがあったが、寮ではその九割を断っているという。理由はボランティアとしての意思が伝わってこないため。確かに、受け手が喜ぶことで初めて成立するのが奉仕活動。アクティビティの本質はそこにある。

八月十五日、児童養護施設「函館国の子寮」の寮生たちが待ちに待った花火大会が開催された。この花火大会は、春のお花見、夏のキャンプ、年末のクリスマスと並ぶ毎年恒例の一大イベント。児童養護施設と言えば、一般には奉仕を受ける側だが、いつもお世話になりっぱなしではいけないと、この日ばかりは寮生らがホストとなり、日ごろお世話になっている人たちに感謝の意を表す。

函館国の子寮は一九五三年（昭和二十八年）に創設された児童養護施設で、二～十九歳までの親や家庭のない児童や情緒障害児をキリスト教の教えを基に指導する。現在は男女比率がほぼ半々で、幼児が七人、小学生十四人、中学生十六人、高校生十五人、ほか二人の計五十四人の児童・生徒が生活している。

花火大会の来賓には函館中央クラブのメンバーも混ざる。今では、子どもたちから「中央ライオンズのおじさんたち」として認知されているが、ここまでの信頼を得るまでには、長い道のりがあった。

奉仕の姿勢を試された草刈り依頼

今から十年ほど前、寮に対する奉仕活動を打診してきた当時の函館中央クラブの会長に、応対した函館国の子寮の先代寮長は「もうじき花火大会を開催するから、草刈りをしてほしい」とお願いした。

「函館中央クラブさんにはたいへん失礼なことをしたと思っていますが、正直、どんな対応を見せるかをきっと先代は試したのだと思います」

と、現寮長の柏倉正氏は言う。

今でもそうだが、函館国の子寮には普段から多くの団体がボランティアをしたいと申し出ている。奉仕団体はもとより、宗教団体、革新団体、更には学習団体を名乗る団体までもが訪れる。が、国の子寮ではその九割の申し出を断っている。その理由

は、自分たちの自己満足のためにやって来ているとしか思えない団体が非常に多く、何のためのボランティアなのか、受ける側として全く伝わってこないからである。

「子どもたちがいやなものを、無理して良い顔にさせることなど私たちには出来ません。私は自分たちが望んでいることの中で、かゆいところに手が届くことをしてくださるのがボランティアだと思っています。自己満足のためのボランティアなど、子どもたちは望んでいません」

と、柏倉寮長は言う。

草刈りのお願いには、そんな背景があったのである。ライオンズクラブという看板は、はなから問題にされておらず、ただ奉仕の姿勢を試されていたのである。そんな状況にいることを知ってか知らずか、当時の会長は「ぜひやらせてください」とその場で即答したのである。

熱意と行動が大きな信頼をもたらす

ひと口に「草刈り」と言っても、経験したことがある人なら分かるだろうが、相当な労力である。その上、花火を見に来る六百五十人分の観客席と、駐車場にあたる部分の草を一度に刈るのである。

函館中央クラブのメンバーと共に作業を行った柏倉寮長にとって、この出来事はあまりにもセンセーショナルに映った。

「何かをして頂くだけではなく、子どもたちと一緒に活動するのはとても良いことだと思いました。実際、初めての体験でした」

草刈りには寮生たちも参加した。子どもと大人が一緒に汗を流し、同じ活動をする中で自然と会話が生まれ、一種の連帯感が育まれていった。もともとが花火大会のための草刈りだったので、子どもたちや施設の人たちから信頼を得たライオンたちが花火に誘われるのは自然の成り行きであった。寮長は当時を回想する。

「我々が奉仕を受けるにあたっての条件は、素性がはっきりしていることと、活動を継続してくれることの二点でした。そういう意味では函館中央クラブさんの奉仕に対する姿勢は申し分ありませんでした。特に、子どもたちと一緒に体を動かしてくださる点は、ボランティアを受ける側としても心から感心しました」

また、子どもたちを遊園地に連れて行くイベントの時も、函館中央クラブ

のメンバーはただお金を出すだけではなく、子どもと一緒になって遊園地で遊んだ。この「一緒に」が、絶大なる信頼へと発展していったと言っても過言ではない。

二〇〇三年九月七日、函館中央クラブは函館国の子寮の寮生を遊園地へ招待。昨年の暮れ、メンバーは子どもたちを遊園地に連れて行く約束を交わしていた。函館中央クラブでは、子どもたちとの約束を果たすために、七月に実施したチャリティー・ビアパーティーの収益金をこのアクティビティ資金に充てた。

当日、寮生を始め指導員、そしてクラブ会員の総勢六十一人が二台のバスで早朝函館を出発。遊園地ではジェット・コースターや急流すべりなどを楽しんだ。普段は絶対に乗らないだろうと思われるような年輩の会員も、子どもたちと一緒に乗り物に乗り、スリルと興奮を共有した。

子どもとの約束を決して裏切らず目線の高さは子どもと同じ。こういうところに、アクティビティの本質がある。

寮生たちの生活

函館国の子寮では「施設は家庭に代わるもの」と考え、小集団の特質を生かした生活プログラムを展開している。具体的には、豊かな自然の中で学習指導をするほか、職業指導を通して働く習慣を身に付けさせている。

寮の周辺は自然が豊富で、すぐ目の前の川にはアユが泳ぎ、裏の山では山菜も採れる。子どもにすれば遊び場だらけである。施設にはテレビゲームもあるが、ゲームをする子どもはほとんどいない。入所する前はテレビ画面とにらめっこをしていた子どもたちですら、外に出て遊ぶことの方が多いという。そんな環境で育つせいか、素直でまっすぐな子が多いのが、国の子寮の特徴である。

居住している建物は、二十四人まで入居可能な本館のほか、三つの小舎がある。小舎にはそれぞれ十二〜三人程度の子どもが、本館には中学生以上の男子が二十人以上で暮らしている。それぞれの建物には二人の保育士、指導員が付き、寮生たちと和やかな家庭的雰囲気の中で生活を共にしている。

世間では個室を与えることを是とする考えを始め、家庭的な雰囲気のある小舎制が良いだとか、反対に大舎制が良いなどと議論の対象となるが、どれにも一長一短がある。

「例えば、鬱の子はこもってしまうから、その子に大勢で生活することを強いるのは酷かもしれません。しかし、そういう子にはなるべく人と接することが出来るような機会を与えるよう心掛けています」

と、寮長は話す。

一方、我々は養護施設の子どもに対する接し方は繊細を極めるのではないか、と思いがちだ。が、寮長は、

「児童養護施設の子どもたちは、施設を訪れるボランティアの人々や、教育実習の学生など普段から外部の人と接する機会が多いため、人慣れしている一面があります。施設の子に限らず、今の子どもは昔と変わっ

たなどと言われていますが、そんなに難しく考えることはないと思っています」

と言う。確かにライオンズのメンバーたちとの接触を見ていると、この意見も納得出来る。

受け手側が明かすアクティビティの本質

施設への入所理由は、時代背景をよく反映している。その変遷を見てみると、まず戦後すぐに戦災孤児が入所した。その後、経済復興が進むと、多重債務者や離婚家庭の子どもが多くを占めた。七五年（昭和五十年）以降は、親に精神疾患があるケースや、本人が非行に走ったという子どもが多かったという。

二〇〇〇年に児童虐待防止法が施行されて以来、児童養護施設には虐待を受けた子どもが入所するケースが増えていると言われる。が、寮長はそれを次のように話す。

「かつては虐待の定義が少々不明確でした。現在、ここの施設でも、明らかに虐待だというケースがいくつかありますが、解釈の仕方によってはその数はもっと増えます。というのも一昔前には『虐待』という名称が一般的ではなく、それが性的虐待であっても身体的虐待であっても入所理由には『監護不適当』と書かれていました。つまり、カウントされなかっただけで、昔から『虐待』に相当するケースはそれなりにあったはずです」

中学生になるまでに虐待を受けた子どもは、大人に対する萎縮があるが、自分より下の子どもに対しては逆に攻撃的になる傾向があるという。函館国の子寮では、こうした反社会的な行為には特に注意を払っている。柏倉寮長は次のように話す。

「私が育った漁師町には当時いじめなどはありませんでした。弱い者いじめをしている子どもを注意する大人がちゃんといました。時代と逆行しているかもしれませんが、昔のいろいろなやり方は、決して間違っていないと思います」

函館国の子寮では柏倉寮長が「注意する大人」としてしっかりと子どもたちの行動に目を光らせている。

寮生たちのほとんどが高校を出た後、寮を出て自立した生活をする。彼らは寮で小遣いを支給されているのだが、「世の中は厳しく、汗水を流さないとお金を手に入れることは出来ない」と徹底的に教えられているため、寮を出た後の将来を見据えてお金を大切に使うのである。

その上、立派な車に乗っている一企業の社長という一面を持つライオンズのメンバーが、汗水流して労力奉仕に取り組む姿を普段から目にしているから、この「汗水＝お金」の考え方は非常に浸透しやすい。

「百聞は一見に如かず。どんなに正しいことやかっこいいことを並べ立てるよりも、服を泥だらけにして草刈りをしているその姿にはかないません。函館中央クラブさんのアクティビティは、子どもたちに耳を傾けさせるには十分過ぎるものでした」

と、寮長。

何気ない普段のアクティビティ一つとっても、受け手側の将来に、少なからず影響を及ぼしているのである。ライオンズとしては、それを常に、念頭に置いておくべきだろう。

砂山幹博（ルポライター）

インド西部地震の復興状況を視察する
LCIFスタディ・ツアー

1983年に世界文化遺産に登録されたエローラ石窟群

死者二万五千人の直下型大地震

ライオンズクラブ国際財団（LCIF）では二〇〇四年二月七日（土）から十四日（土）の予定で、インド西部地震の被災地であるインド・グジャラート州を視察するスタディ・ツアーを計画している。

インド西部地震は、二〇〇一年一月二十六日に発生。マグニチュード七・九の直下型地震であった。この激震に見舞われたインド西部では、グジャラート州を中心に死者二万五千人、負傷者二十万人という未曾有の被害をこうむった。

国連の発表によると、三十四万八千棟の家屋が全壊。半壊の家屋では八十四万四千棟にも上った。当時のグジャラート州の総人口は三億八千九百万人だが、そのうち約四割に当たる一億五千九百万人もの人が直接または間接的な被害に遭遇したと言われている。地震被害の全体像を見ると、東京～京都間に相当する約五百二十キロもの広い範囲に被災地が分布している。

LCIFはこの時直ちに、インドのライオンズに対し三万ドルの緊急援助金を交付したほか、五十万ドルの大災害援助金の交付を決定。併せて、インド西部地震のための指定献金を開設し、各国のライオンズに支援を呼び掛けた。

また、これを受けた日本ライオンズでも、八複合地区ガバナー協議会議長連絡会議が、会員一人当たり千円を目標に義援金を集め、日本ライオンズ連絡事務所に送金してもらうよう各準地区に要請した。集まった義援金はインド西部地震救援の指定献金としてLCIFに送付された。

地元インドのライオンズも、地震発生直後から活発な救援活動を展開した。LCIF交付金を使って、グジャラート州における被災の中心地であるブジや、州最大の都市アーメダバードなど、特に被害の大きかった地域で食料、医薬品、避難所を提供した。

二〇〇三年十月現在のLCIF交付金とインド西部地震救援の事業内容を見てみると、指定献金の受領総額が百五十三万ドルで、うち日本からは全体の七割近い百三万ドル（日本円で一億二千五百八十二万六千四百七十一円）が献金されている。

このほか前述のように、LCIFから大災害援助金として五十万ドルが

交付されたため、グジャラートを襲った地震に対するLCIFの事業規模は総額で二百万ドルを超えている。このうち、現時点での支出合計は、百九十五万ドル（残額は八万ドル）となっている。交付金の主な用途は以下の通り。

●学校建設二十件（このうち既に十八校が工事完了。残り二件は建設中となっている）

●居住ユニット建設七百四十四軒（このうち三百四十四軒が完成し、残り四百軒が現在進行中となっている）

●病院建設一件

グジャラート州を中心に復興状況を視察

今回のスタディ・ツアーでは、震災の傷跡が今なお残るグジャラート州ブジで「ライオンズ居住コロニー」を、同州のジャムナガルで「ライオンズ総合病院」、同じくグジャラート州ラージコートで、居住コロニー及び小学校を視察する。

ツアーは二月七日、成田空港発組と関西空港発組の二班に分かれて、それぞれ十二時と十三時に出発。タイ・バンコク及び香港、インド・デリーを経由して午前〇時ごろ、ムンバイに到着する予定である。

翌日は終日、ムンバイで病院などにおけるインド・ライオンズのアクティビティを視察する予定。日本のアクティビティとの異同を見聞出来る興味深いチャンスである。九日から被災地に入り、十一日までの三日間にわたってブジ、ジャムナガル、ラージコートの各施設を視察する。

十二日には世界でも屈指の石窟寺院群エローラとアジャンタの世界遺産を見学し、翌十三日午後にムンバイを発つという予定が組まれている。二つの世界遺産見学は、今回のツアーのもう一つのハイライト。

インド西部地震で倒壊したグジャラート州ブジの高層ビル（写真提供：インド政府）

世界の美術史上貴重な二つの世界遺産

世界遺産に指定されているアジャンタ遺跡は、ムンバイの北東約三百六十キロにある仏教寺院で、一八一九年にイギリス軍人によって偶然発見された。石窟の壁に描かれた壁画は四～七世紀にわたって仏教僧によって描かれたもの。これらは世界の美術史上極めて貴重な遺産である。

アジャンタと並んで中部インドの石窟寺院を代表するのが、アジャンタから百キロばかり離れた山地にあるエローラである。ここには三十四もの石窟寺院が岩山に沿って一列に並ぶが、アジャンタと異なるのは仏教窟、ヒンドゥ教窟、ジャイナ教窟の三宗教の遺跡が場所を分け合って共存している点である。

ツアーにはLCIFから担当者が随行。現地でセミナーを実施し、意見交換も行われる予定である。日本国内でも毎年、LCIFセミナーが開かれている。その中で参加者からよく出る質問の一つに「LCIFの使途が分からない」というものがある。今回のツアーは、それらの疑問に対する答えを、実際に自分の目で確かめる絶好の機会である。

デリー
グジャラート州
ブジ
ラージコート
ジャムナガル
アジャンタ（世界遺産）
エローラ（世界遺産）
ムンバイ（首都）

スタディ・ツアーはLCIFが企画（担当：田辺憲雄資金開発課課長）し、旅行の手配などは東京関東クラブの野口正二郎幹事（元会長）が代表取締役を務める協和海外旅行が担当する。ツアーへの参加費用は、旅行代金二十七万八千円（二人室利用）のほか、インドのビザ代及びその取得手数料八千円がかかる。ツアーの日程は次ページの通り。

LCIFスタディ・ツアーに関する問い合わせはライオン野口まで（TEL〇三・三八一六・七九七一／FAX〇三・三八一六・七九七七／E-mail：kyowa@kyowa-kaigai.jp）。

インド視察旅行に関するお願い

先に11月7日から16日の日程で、インド及びカンボジア視察旅行のご案内を致しました。が、11月下旬に台北市で開催される東洋・東南アジア・フォーラムと日程的に近いなどの理由から、ツアーをいったん延期しました。今回、改めて日程を組み直し、8日間でインド西部地震の被災地の復興状況を皆様に見て頂くツアーを企画致しました。

この視察旅行の背景と致しましては、インド西部地震の際に日本の皆様から100万ドルを超える被災地向けの指定献金を頂きました。おかげさまで被災地においては18の学校、344の居住ユニットが完成し、更に病院の建設を含むプロジェクトが進んでおります。このような現地の状況を実際に献金してくださった皆様に見て頂きたく、視察旅行を企画した次第です。

参加費用は地区あるいは個人負担となりますが、ぜひ多くの方にご参加頂きたいと思います。

LCIF理事長　ケイ・K・フクシマ

■ライオンズクラブ国際財団（LCIF）2004年インド視察旅行旅程表　※東京発(A)　大阪発(B)

年月日(曜日)	都市名	時間	交通機関	摘要
2月7日（土）	A)成田空港発 ムンバイ着 B)関西空港発 ムンバイ着	12:00 23:50 13:00 23:55	AI309 ※バンコク／デリー経由 AI315 ※香港／デリー経由	インド航空にてムンバイ（旧名ボンベイ）へ 着後ホテルへ
2月8日（日）	ムンバイ			終日、視察（病院等）と観光
2月9日（月）	ムンバイ発 ブジ着 ジャムナガル	10:55 12:00	9W347 バス	国内線にてブジへ ライオンズ居住コロニー視察 ライオンズ総合病院視察
2月10日（火）	ジャムナガル発 ラージコート着		バス	午前、ベトワルカのライオンズ居住コロニー視察
2月11日（水）	ラージコート発 ムンバイ着 ムンバイ発 アウランガバード着	11:25 12:20 15:40 16:25	9W346 IC887	午前、ライオンズ小学校視察 ムンバイ乗り換えインディアン航空にて アウランガバードへ 着後ホテルへ
2月12日（木）	アウランガバード		バス	終日、世界遺産のエローラ、アジャンタの遺跡観光
2月13日（金）	アウランガバード発 ムンバイ着 A)ムンバイ発 B)ムンバイ発	08:40 09:45 15:20 20:25	9W3104 AI306 AI314	国内線にてムンバイへ インド航空にて帰国の途へ
2月14日（土）	A)成田空港着 B)関西空港着	08:00 11:40	※デリー／バンコク経由 ※デリー／香港経由	着後、入国・税関手続

旅行代金：278,000円（一人2名1室利用の料金）／8,000円（インドのビザ代、取得手数料）
申込先：協和海外旅行㈱（野口正二郎社長〈東京関東クラブ幹事・元会長〉）
TEL.03-3816-7971　FAX.03-3816-7977　E-mail：kyowa@kyowa-kaigai.jp

俳壇

■選者　森　澄雄

【入選】▼

神の留守津軽じょんがら世去れ節　（北海道・北竜）田中　北斗

秋晴れに置きたる如き妙高山　（新潟県・上越直江津）齊藤　政一

虫の音を枕に一夜旅の宿　（群馬県・桐生）有阪　道子

渓谷のトロッコ列車初紅葉　（群馬県・高崎）江原まこと

岡城趾そよぐ芒や鰯雲　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

だらだら祭葉は青々と土佐生姜　（千葉県・船橋シニア）紺谷　宗男

茶の席に和敬の一幅冬牡丹　（愛知県・南知多）内田二三子

秋嵯峨野去来の墓の小さかり　（岐阜県・大垣東）大橋庄一郎

野も山も飛鳥の風もみんな秋　（大阪カトレア）乾　　周子

雲海の上に群れ飛ぶ赤蜻蛉　（大阪東部）植田　尚江

さまざまの虫鳴く嵯峨野ゆかしけれ　（大阪夕陽丘）北川　匡子

伽藍の灯煌々と虫更けにけり　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　秀騎

蕉翁の旅寝の寺や松手入　（滋賀県・近江守山）亀村　山去

秋桜苗植ゑ了へし城下町　（佐賀県・唐津レインボー）古川　　工

コスモスの波の中なる車椅子　（長崎県・佐世保中央）新良　純一

【特選】

露けしや遊行を詠みし翁句碑　（福井県・敦賀）山本　麓潮

（評）「遊行を詠みし翁句碑」は福井県敦賀市曙町の気比神宮（祭神は伊奢沙別命、合祀は仲哀天皇・神功皇后・日本武尊・応神天皇・玉妃命・武内宿禰命）に芭蕉の「月涼し遊行のもてる砂の上」の句碑がある。露が多く結んでいる。

赤蜻蛉夕日に染まる龍野かな　（大阪夕陽丘）角野桂治郎

（評）兵庫県南西部の揖保川の西岸の龍野市は「赤とんぼ」の作者の詩人三木露風の出身地。いま赤蜻蛉が夕日に染まって飛んでいる。

（応募要領↓十月号57ページ）

歌壇

■選者　春日真木子

【特選】

秋蜻蛉茜の空に飛びたれば茜の色に染まりてゆけり
（大分県・中津沖代）松本　達雄

（評）「蜻蛉」は、あきつと読ませるのであろう。「あきあきつ」と「あき」を、さらに「あかねのそら」「あかねのいろ」と「あかね」を重ねたところにこの一首の表現の工夫がうかがわれる。ふと三木露風の童謡を思いおこす。赤とんぼは、秋茜（あきあかね）である。この辺りからの発想でもあろうか。まさに日本の秋の風情であるが、下句に作者の眼が働いている。
　今号は、君塚、竹田、松本作品、共に亡き妻を偲ぶ心の一端が、それぞれ切実に詠まれている。

（応募要領→十月号57ページ）

【入選】▼

散歩するいつもの道は工事中掘り返されし土の匂いす
（青森県・五戸）吉田　晶二

生還を神に謝せよと詠みし母偲びつつ書くシベリアの日々
（福島県・郡山）古川　和夫

昨夜この蕁麻疹出たとケータイに写して持って来たる若者
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

金泥をもて仏像を描（か）き終へぬ巧まずも黄泉（よみ）の妻の顔なる
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

駐車場の柵をくぐりてつゆ草は青とりどりに朝もやの中
（千葉県・館山中央）荻野　貴子

この畑の農夫に何かありしかも今年の夏は草に埋もる
（愛知県・名古屋城北）野村　武市

答なき遺影に呼びかけ夜をすごす蝋燭の炎（ほ）の揺らげるばかり
（兵庫県・山崎）竹田　長司

ガラス戸にD五一（デゴイチ）の落書せし孫が電車に乗れば大人大人（おとなおとな）し
（奈良県・大和高田）堀江　禎子

念入りに育てし筈の西瓜なり歪（いびつ）なるまま仏前に供う
（高知県・土佐香南）野村　禎子

妻の霊魂いずこにありや飛行機雲一条（すじ）白く秋空を裁つ
（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

柳壇

■選者 大木俊秀

【特選】

言い勝ってまたストレスを溜めている　（京都鴨川）栩谷　四朗

（評）自信たっぷりの論陣を張ってまたも論戦に打ち勝った。ほっと一息ついてすっきりしたかと思ったらとんでもない。残尿感のような、しこりのようなものが、体にわだかまっている。言い勝ちはしたが言い過ぎはしなかったか。負けた相手は今頃……？　ストレスが逆にまた溜まってしまった。

髪型を変えて彼氏もとり替える　（広島県・尾道みなと）今城　脩司

（評）もちろん、今の若い娘さんたちの全部がこうだと言っているわけではない。でも電車内や街中で出くわすお嬢さん方の衣装、化粧、髪型、ことば遣い、会話内容をおそるおそるうかがっていると、彼氏があわれに思えてくることも。そうそう、ケータイも換えたんだ。

（応募要領→十月号57ページ）

【入選】▼

美しい仮面の裏にある素顔　（青森県・五所川原）坂本　憲昭

いい人と言われてオトコの炎が吐けぬ　（青森県・八戸中央）大久保健峰

寝たきりの数で長寿を押しあげる　（青森県・弘前中央）高橋　岳水

平和主義黙って妻の肩を揉む　（岩手県・水沢中央）伊藤　悠川

髪洗う妻の白髪を目にしまう　（岩手県・水沢中央）角掛往来児

吊橋を揺らすな俺はまだ半ば　（新潟県・五泉）長澤　信一

柔らかなことばの先の固い棘　（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

木犀が去年と同じ日に匂う　（岐阜県・瑞浪）橋本　英雄

律儀さも程度越えると肩がこる　（三重県・四日市みなと）杉野　修

胃カメラがまともにさばく過去の酒　（静岡県・大仁）山本　順平

失敗をジョークで飛ばす男伊達　（福井ライオネス）杉田　悦子

姿見の前でおなかをへこませる　（大阪マーガレット）高橋由紀子

垣根越し栗ご飯など来る絆　（福岡県・北九州洞海）松本　隆吉

終章を仕上げる色を見失う　（宮崎橋）井上　忠一

性善説信じ手の鳴る方を向く　（長崎県・佐世保西）神谷　治雄

読者プレゼント

■オイルサーディンを五人の読者に

今月号「ふるさと探訪」に登場した京都府・宮津クラブ（岩城清一会長／59人）から、地場産品としても評価の高い、竹中缶詰㈱（ライオン竹中史朗）のオイルサーディン三缶セットが五人の読者にプレゼントされます。サーディンはEPA、DHAのほか、タンパク質やカルシウム、女性に特に必要なビタミンD、鉄分も多く含み、成人病予防、健康維持に最適の食品です。

■ジャガイモを五人の読者に

北海道・サッポロシニアクラブ（中根敏得会長／34人）から、同クラブのシニア農園で収穫されたジャガイモ（十キロ入り）が五人の読者にプレゼントされます。この農園での活動はクラブの中心的アクティビティで、収穫物は福祉施設への寄贈や、資金獲得に役立てられています。

■『八十五年の歳月』を十人の読者に

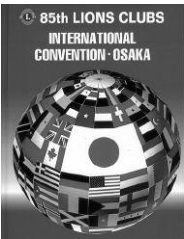
「クラブ会員刊行物」で紹介しているライオン西本五郎から同著書が十人の読者にプレゼントされます。

＜プレゼント応募要領＞

ご希望の方は、はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名をご記入の上、東京都中央区築地二・二・一　築地細田ビル七階（〒104・0045）ライオン誌事務所までお送りください。「オイルサーディン」「ジャガイモ」「八十五年の歳月」とご希望の品を明記し、本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。日本語版ウェブサイトの「ライオン誌」のページからもご応募頂けます（www.lionsclubs.org/　JA/content/news_magazine.shtml）。締め切りは十二月末日、応募多数の場合は抽選とさせて頂きます。

伝言板

■大阪国際大会記念誌を販売

335複合地区ガバナー協議会事務局では『第八十五回大阪国際大会記念誌』を発行、販売しています。テーマはライオンズの絆と感動。カラー写真満載で、大阪大会の興奮が甦ります。A4判ハードカバー一七六ページ／定価三千円（税・送料込）／ケース付き。購入のお申し込みは左記へお願いします。

大阪市北区梅田二・四・一三　阪神産経桜橋ビル三階三〇三号（〒530・0001）335複合地区ガバナー協議会事務局
TEL：〇六・六三四五・三一三五
FAX：〇六・六三四五・三一三七

■「仲間」をテーマに川柳募集

兵庫県・和田山クラブでは仲間の貴さ、大切さ、仲間との感動、感謝などを詠んだ川柳を募集しています。応募作品の中から特選三点、入選十点、佳作三十点を選出します。選者は元本誌柳壇選者の波多野五楽庵先生（元地区ガバナー／青森県・弘前チェリークラブ）。応募は一人三句まで、官製ハガキまたはEメールでお送りください。二〇〇四年一月十五日必着。送付先及び詳細のお問い合わせは左記へ。

兵庫県朝来郡和田山町東谷二一三・二七（〒669・3103）和田山ライオンズクラブ事務局　川柳募集係
TEL：〇七九・六七二・三一〇三
FAX：〇七九・六七二・三一〇六
E・mail：w-lions@aurora.ocn.ne.jp

訂正とお詫び

本誌十一月号「編集室」（66ページ）で、ライオン誌日本語版編集長ライオン林榮一とあるのは委員の誤りでした。お詫びして訂正致します。

「分布図／世界のライオンズ」（65ページ）で、前期末会員数は百三十五万七千四百六十七人の、増減はマイナス千百九十二人の誤りでした。お詫びして訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

月	日	クラブ	氏名
9	29	千葉県四街道	楠岡　巖
9	30	広島県安芸	東　喜録
10	2	千葉	椎名　益男
10	9	東京町田クレイン	市川　操
10	9	東京町田クレイン	小野田義之
10	9	東京町田クレイン	桜田　和子
10	9	東京町田クレイン	金子　安男
10	9	東京武蔵野	瀧川　清人
10	9	東京数寄屋橋	村木　秀之
10	10	東京四谷	稲垣　嘉傑
10	10	東京虎ノ門	黒田　幹雄
10	14	千葉県四街道	楠岡　巖
10	24	徳島県阿波勝浦	中西　文夫
10	24	東京関東	野口正二郎
10	30	東京みやこ	河合　悦子
10	30	埼玉県大宮グリーン	櫻井　彗子
10	30	大阪府堺フェニックス	高橋かず子
10	30	広島もみじ	熊本　了子

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。編集部

ライオンズ・ライフは素晴らしい

●去る九月に札幌で開催されたシニア・フォーラムに参加させて頂きました。二百人近い会員の方々にお会いし、最後のパーティーでは、日本で最初のシニアクラブ・下館シニアクラブの初代会長であり、「獅子吼」に四回も掲載されたライオン塚越喜一郎とお隣の席になりました。偶然私もライオン塚越と同じ号に掲載されたことがあり、不思議なご縁を感じました。私たちシニアはこうした会にどんどん参加して友人を作り、有意義な人生とアクティビティにつなげられたらすてきなことではないでしょうか。

兵庫県・神戸シニアクラブ●秋本利子

静岡リバティクラブの活動に感銘

●九月号「ピックアップ」を拝見しました。タイで家庭が貧しく学校に通えない子どもたちのための寄宿舎を兼ねたゲスト・ハウスを建て、地域発展に貢献。また日本の高校生の体験スタディ・ツアーにもこれを活用。箱物の建てっぱなしではない、実りある最高の事業だと思いました。

兵庫県・福崎サルビアクラブ●竹内美椰子

「はやて」に乗って

●今、私がいちばん行ってみたいところが八戸です。しかも東北新幹線「はやて」に乗って。というわけで、九月号「ふるさと探訪」の八戸の紹介記事は、写真と共にとても楽しく読ませて頂きました。

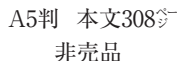
栃木県・足利クラブ●森淳子

●九月号「ふるさと探訪」で、八戸三社大祭が紹介されていました。当地区も、少しスケールが小さい山車ではありますが、二百年以上の歴史がある新庄祭を行っています。一度、祭りのクラブ間交流が出来たら素晴らしいと思います。また、「民話めぐり旅」は当クラブの隣接する鮭川村の民話で、存じ上げない話でしたので勉強になりました。ありがとうございました。

山形県・新庄クラブ●斎藤清美

クラブ会員刊行物

●八十五年の歳月

A5判　本文308ページ
非売品

著者／西本五郎（広島県・安芸クラブ）

＊歳月シリーズ第五弾にして最終章。私学の理事長である筆者が、平成十年から十五年までに綴ったさまざまな文章を年ごとに収録。

●起業時代のＮＰＯ

A5判　本文341ページ
2,500円

著者／坂本信雄（京都府・亀岡保津川クラブ）発行／八千代出版（TEL〇三・三二六二・〇四二〇）

＊ＮＰＯとは何か。どんな可能性を持ち、どう運営するのか。ボランティアと起業の両観点からＮＰＯを分析する。筆者は大学でＮＰＯ論を講じている。

次号予告

THEME
女性会員

テーサップ・リー国際会長は国際プログラムの中で女性会員の増強を強調する。日本の各地区でリーダーシップを発揮している四人の女性ライオンが、「女性会員の招請と活躍における展望」をテーマに座談会を開いた。今、日本ライオンズに必要なパワーはここにある。

●ROAR・ローア
――まるごと336複合地区

一月号は336複合地区特集。「ヘッドライン」は香川県・高松栗林クラブの「高松冬のまつり」を紹介。「ふるさと探訪」はすだちの生産日本一を誇る徳島県神山町を訪ねる。

―一月号スタートの新連載―

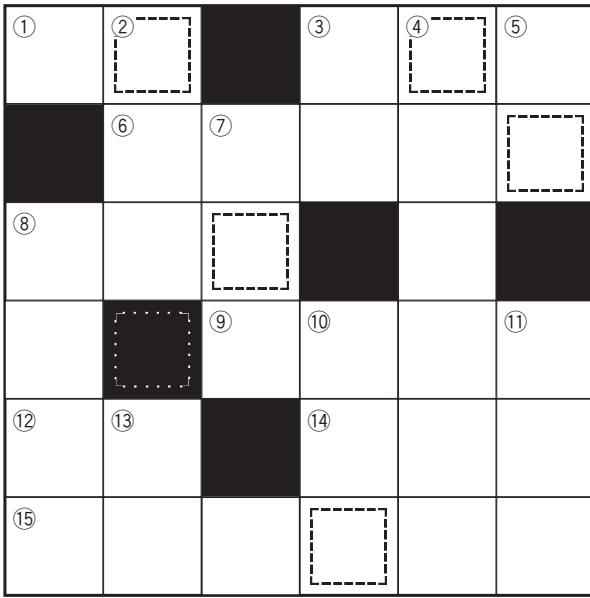
●ライオンズのための分かりやすいIT講座：パソコン初心者のためのITへの「入口」。講座終了時にはマンスリーのウェブ送信とパソコンによるクラブ管理が習得出来るはず。

●ライオンズ・スクール初級編：入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識を取り上げる。

●おいしい健康レシピ：女性向け新コラムを新設。その第一弾として、フード・セラピストのライオン丸茂ゆきこ（東京ウィルクラブ）に、おいしくて体によい料理のレシピを紹介してもらう。

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと住所、氏名、クラブ名、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は82ﾍﾟｰｼﾞ）。締切は十二月二十日。

解答 □□□□□

ヒント：日本にライオンズの種をまいた。

↓タテのカギ

☒戦争やスポーツ競技などで、敵に備える構え
☒あか抜けて色気があること。反意は「野暮」
☒クラブの退会防止・会員維持のこと
☒ドル・ユーロに対抗する三極通貨。アジアの基軸通貨
☒イカ墨で描いた文字や絵が褪せて変化した色
☒「凝らす」ものと言えば
☒漢字では「慈姑」。大きな芽をつけ「芽(め)でたい」ことから、おせち料理に使われる
☒遊び道具
☒すがったり、突いたりするもの

←ヨコのカギ

☒頑強なこと
☒湖や海が陸地に入り込んだ部分
☒野球用語。投手の責任とされる失点
☒人知を超えた不思議なこと
☒あいさつや約束の印として交わす
☒何かをうまくやるためのちょっとしたやり方
☒日本風と西洋風の取り合わせ。「○○折衷」
☒「マーチ」「ドレス」「ケーキ」と言えば

■前回の答え

プ	ロ	■	カ	ニ	ク
■	ト	ビ	ガ	シ	ラ
ト	ウ	ヨ	■	ジ	ー
ウ	■	ウ	イ	ン	ク
ハ	ナ	ガ	ツ	オ	■
ク	ダ	■	サ	リ	ー

答えは「リーダーシップ」

LIONS GALLERY

「小樽運河」油絵　20号

この絵は、私が六十歳の定年を迎え、妻と行った小樽運河です。

妻の長年の念願であった北海道旅行を、やっとかなえてあげられました。

思えばこれまで妻には苦労の掛けどうしで、薄給取りの私に文句一つ言わず、「家庭のこと」「子どものこと」を一手に引き受け、良くやってくれました。おかげでひたすら仕事に専念することが出来、がむしゃらに人生を突っ走ってきました。

平原潔
大分県・豊後高田クラブ
不動産業

この旅行は、そうした妻に感謝をいっぱい込めた、私のささやかなプレゼントなのです。初秋の小樽運河を散策しながら、妻と連れ添うこれからの第二の人生に思いを巡らせました。

（ひらはら　きよし・64歳）

MY BEST SHOT

❶常川清　岐阜西
68歳［好奇心］

講評　■選：河相正名
日本写真家協会会員

❶観光客が珍しいのだろうか、半分覗いた顔からありありと好奇心がうかがえる。人見知りをしているような表情に、純真無垢な子どもの心が映し出されているようだ。

❷絞りの加減を的確に調節し、幻想的な光の演出が出来た。年齢を感じさせない感性に、頭が下がる。

❸朽ちかけた橋に置かれた花がアクセントとなり、爽やかな朝の空気感を感じさせている。タテ位置の方が、奥行きが出たのではないか。

❹ユーモラスな被写体をハイスピード・シャッターで、迫力ある画面に仕上げた。

❺花より団子、御輿より杏飴。何とも楽しい雰囲気が、その表情から画面いっぱいに伝わってくる。見事なシャッター·チャンス。

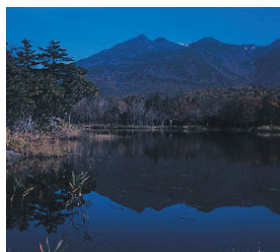
※オートでの撮影が増えているせいか、最近、カメラぶれが目立つ。シャッター·スピードに注意したい。

❸鳥羽孝哉　長野県松本アルプス·73歳［朝霧］

❷菊野善之助　愛媛県松山·82歳［玉ぼけ模様］

❺団英男　兵庫県神戸レインボー·47歳［祭りの楽しみ］

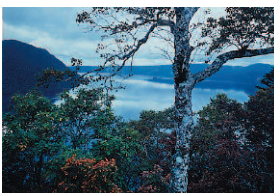
❹畔柳東一　愛知県岡崎竜城·50歳［ゴール］

田川房雄　広島あさひ　62歳　［代掻きを終えて］

斎藤勉　北海道斜里·65歳［秋の知床］

村上昭男　福島県国見·76歳［山並み］

安藤正一　愛知県豊田·69歳［いい湯だな］

木村文丸　青森県弘前·68歳［陽気なウイグル人］

横内孟　山梨県南アルプス·58歳［コスモス］

山田武夫　愛知県名古屋樟·86歳［摩周霧湖］

和澤一男　石川県金沢菊水·76歳［新内流し］

こころのチキンスープ●ライオンズ編
リンダを町に呼び戻そう

構成／青山研

「山は山を必要としないが、人は人を必要とする」
――スペイン・バスク地方のことわざ――

ある日、兵庫県の明石魚住クラブのパソコンにEメールが届きました。全文ローマ字で書かれた日本文でした。アメリカに住んでいる日系二世の男性からのメールでした。

「日本にいる年老いた母が兵庫県明石市に住んでいる。アメリカにいる子どもたち全員で見舞いに行きたい。良いホテルを紹介してほしい。こちら、アメリカ、ジョージア州ダラスにあるトリニティー・インダストリアルクラブのデビット・ケンと申します」

ライオンズの世界は一つ。明石魚住クラブのメンバーが奔走して、早速ホテルを手配し、アメリカのライオンデビッド・ケンにメールを返しました。

これがきっかけでした。やって来たライオンケン夫妻を招いて、ある日、明石魚住クラブのメンバーはバーベキュー・パーティーを開きました。ライオンケンはクラブの幹事でしたが、なんと、妻のキャロル・ケンさんもクラブのメンバーで、おまけに、クラブ会長でした。話題は、いきおい日米ライオンズ談義となりました。

「デビッド、あなたのクラブじゃ、どんなアクティビティ、してるの」

「たいしたことやってないけど、ただ、二人の人の人生、変えることは出来ましたね」

「人生を変えた……。それ、どういうこと?」

ライオンケンが話してくれたのは、ダラスの街に住む二人の隣人のことでした。

リンダ・オーステルは、貧しい一家に生まれました。膝から下がない障害児でした。でもリンダは、義足で元気に走り回り、何にでも挑戦する明るい少女で町の人気者でした。ライオンズは、この子が生まれた時から温かく見守ってきました。

そんなリンダに、試練が襲います。感染症に冒されて、片方の足をほとんど全部、切断しなくてはならなくなったのです。リンダの家には新しい義足を買うお金もありません。元気に友達と跳ね回っていたリンダが、家に引きこもったままになってしまいました。

イラスト／吉田悦子

ライオンズが立ち上がります。教会と町の人々に呼び掛けて、リンダの新しい義足を買う資金を集めるために、バックマン湖を一周するチャリティー・ウォークラリーをやることにしたのです。

「リンダを町に呼び戻そう！」

九九年十月、一周約四マイルの湖を巡るウォークラリーが行われました。参加した人たちが一マイル（一・六キロ）ごとに二ドルを寄付するラリーでした。ライオンズが、募金箱を手に一マイルごとに立ちました。

「リンダによろしくな。おっと負けんぞッ」

「リンダに伝えてちょうだい。早く帰っておいでってね。さア私も負けないわ」

歩いて来た町の人たちが、次々に二ドルを入れて行きます。

リンダが新しい義足をつけて、町に帰って来たのは、それから間もなくでした。前のリンダと少しも変わらない笑顔でした。

ラリーが終わって、しばらくたったころ、ライオンズは、はっと気が付きました。

「いつも公園のゴミを拾ってくれて、散歩してる人に明るく呼び掛けていた、オードリー・ブラック、彼女の姿を見なくなったなあ」

「どうしているんだろう」

人づてに聞くと、オードリーは大病に冒され、車いすの生活になって、一歩も外に出なくなっていたのでした。クラブが一も二もなく立ち上がります。

「オードリーを町に呼び戻そう！」

二〇〇〇年十月、二回目のラリーが開かれました。一マイルに付き二ドル。前と同じでした。ラリーのウォーカーたちはだれもが言いました。

「オードリーに伝えて。待ってるって」

車いすごと乗れるミニバンの中古車が贈られました。やがて、街に、車の中から呼び掛ける明るいオードリーの声が甦ったのは言うまでもありません。

ライオンケンは言いました。

「私たちだけでは、何も出来ない。けれど、町の人たちと一緒に、二人の人生を変えることが出来たんです。ラリーはね、今でも毎年続いているんだ」

話し終わったライオンケン夫妻、明石のライオンズの大きな拍手に包まれていました。皆、ライオンズでよかった。そんな拍手でした。

日本ライオンズクラブ 分布図

（二〇〇三年八月三十一日　国際協会集計）

世界のライオンズ

	■クラブ数		■会員数		
	前期末	現在	前期末		現在増減
ライオンズ国または領域　前期末191　現在191	45,766	45,829	1,357,467	1,355,408	△ 2,059

日本のライオンズ

	■クラブ数		■会員数		
	前期末	現在	前期末		現在増減
331-A北海道（道央地区）75	75	75	3,029	3,057	28
331-B北海道（道北･道東地区）100	100	100	3,536	3,570	34
331-C北海道（道南地区）62	62	62	2,426	2,452	26
小計	237	237	8,991	9,079	88
332-A青森67	67	67	2,428	2,426	△ 2
332-B岩手56	56	56	2,046	2,052	6
332-C宮城81	81	81	2,014	2,021	7
332-D福島82	82	82	2,509	2,506	△ 3
332-E山形57	57	57	2,251	2,242	△ 9
332-F秋田57	57	57	1,809	1,799	△ 10
小計	400	400	13,057	13,046	△ 11
333-A新潟83/群馬57	140	140	5,618	5,615	△ 3
333-B茨城81/栃木60	140	141	4,695	4,669	△ 26
333-C千葉126	126	126	3,647	3,664	17
小計	406	406	13,960	13,948	△ 12
330-A東京197	197	197	5,823	5,823	0
330-B神奈川162/山梨36/東京1	199	199	6,289	6,348	59
330-C埼玉111	111	111	3,261	3,254	△ 7
小計	507	507	15,373	15,425	52
334-A愛知114	114	114	6,413	6,428	15
334-B岐阜56/三重36	92	92	4,534	4,546	12
334-C静岡84	84	84	3,866	3,864	△ 2
334-D富山38/石川33/福井27	98	98	4,679	4,696	17
334-E長野55	55	55	2,625	2,638	13
小計	443	443	22,117	22,172	55
335-A兵庫（東）116	116	116	3,714	3,715	1
335-B大阪164/和歌山26	190	190	7,790	7,829	39
335-C滋賀24/京都80/奈良18	122	122	4,985	5,005	20
335-D兵庫（西）67	67	67	2,752	2,754	2
小計	495	496	19,241	19,303	62
336-A徳島36/高知32/香川30/愛媛53	151	151	6,931	6,993	62
336-B鳥取24/岡山80	104	104	4,443	4,418	△ 25
336-C広島107	107	107	4,427	4,429	2
336-D島根48/山口61	109	109	4,313	4,293	△ 20
小計	471	471	20,114	20,133	19
337-A福岡116/長崎3	119	119	5,466	5,497	31
337-B大分47/宮崎47	94	94	3,441	3,441	0
337-C佐賀29/長崎54	82	83	3,295	3,334	39
337-D熊本58/鹿児島57/沖縄27	142	142	4,815	4,826	11
小計	437	438	17,017	17,098	81
合計	3,396	3,398	129,870	130,204	334
世界のライオンズの		7.4%		9.6%	

Official publication of Lions Clubs International.

Published by authority of the Board of Directors in 21 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Thai and Croatian.

EXECUTIVE OFFICERS
President, **Dr. TAE-SUP"TS"LEE,** Room 507, Chokson Hyundai Bldg. 80, Chokson-dong, Chongro-ku, Seoul 110-756, Republic of Korea; Immediate Past President, **KAY K. FUKUSHIMA,** P.O. Box 22607, Sacramento, California 95822, USA; First Vice President, **CLEMENT F. KUSIAK,** 6302 Homewood Road, Linthicum, Maryland 21090-2108, USA; Second Vice President, **ASHOK MEHTA,** Avanti Apts., Sion East, Mumbai 400 022, India

DIRECTORS
LUCIE ARMSTRONG, Hamilton, New Zealand; **DELMAR "DEL" BROWN,** Iowa City, Iowa, USA; **GARY L. BROWN,** Urbana, Ohio, USA; **LOWELL BONDS,** Hoover, Alabama, USA; **VARA PRASAD CHIGURUPATI,** Vijayawada, India; **JULES COTÉ,** Shelburne, Vermont, USA; **HANS ULRICH DÄTWYLER,** Schattdorf, Switzerland; **NELSON DIEZ PEREZ,** Barrio Sanjonia, Paraguay; **JACQUES GARELLO,** Marseilles, France; **K.M. GOYAL,** New Delhi, India; **ASOKA de. Z. GUNASEKERA,** Nugegoda, Sri Lanka; **RANDY HEITMANN,** Cambridge, Nebraska, USA; **DR. RYOJI KAMEI,** Kishiwada City, Japan; **ERKKI J.J. LAINE,** Espoo, Finland; **WHADY LACERDA,** Cuiaba, Brazil; **E. ROBERT "BOB" LASTINGER,** Wesley Chapel, Florida, USA; **CHING-LI LEE,** Kaohsiung, Taiwan; **HOWARD LEE,** Farnham, Surrey, England; **SHI-WOK LEE,** Yongin-city, Republic of Korea; **MELVIN M. NAKAMURA,** Honolulu, Hawaii, USA; **SCOTT NEELY,** South Charleston, West Virginia, USA; **DR. GEN OKUBO,** Nagasaki, Japan; **WILLIAM R. "W.R." O'RILEY,** Maryville, Missouri, USA; **JOHN E. RABIDEAU,** Churchville, New York, USA; **DAVID ROBERTS,** Sun City, Arizona, USA; **RODOLPHE ROBINEL,** Cayenne, French Guiana; **WILLIAM ANDREW ROLLINS,** Portland, Oregon, USA; **BRUCE SCHWARTZ,** Bismarck, North Dakota, USA; **JAMES SHERRY,** Sackville, Nova Scotia, Canada; **DR. WING-KUN TAM,** Wanchai, China Hong Kong; **GARY TSCHACHE,** Bozeman, Montana, USA; **WALTER R. "BUD" WAHL,** Streator, Illinois, USA; **EBERHARD J. WIRFS,** Kelkheim, Germany.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版委員会
国際理事　亀井良次・大久保彦
委員長　内山宏(335)
編集長　小野善男(331)
委　員　今井三和（330)・高橋義太郎（332）
木村敬之介（333)・林孝（334）
三上純一郎(336)・林榮一(337)

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

女性会員

ライオン誌
日本語版委員
◉
三上純一郎

　会員増強はライオンズクラブにとっては永遠の命題です。特に近年は顕著な会員の減少もあって、会員増強が強調して叫ばれています。

　その中で今期のテーマサップ・リー国際会長も亀井良次国際理事も、そしてインパクト・チーム・リーダーの方々も取り分け力説されているのが戦後生まれの若い会員と女性会員の獲得であり、これが会員増強の鍵を握ると言われています。

　ここでは女性会員そして女性クラブの現況を見てみたいと思います。本誌の集計（六月末現在）では我が国の女性会員は全国でおよそ五千九百人で、全体の四・六パーセントに過ぎません（世界は一四パーセント）。また、日本の女性クラブは七十五クラブ（全国クラブ比二パーセント）となっています。

　成人人口の五二パーセントは女性と言われていますので、女性会員はまだまだ伸びる余地があろうかと思います。実際に前期の女性クラブの伸びは大きく、全国で十七クラブ、335・B地区だけで九クラブも結成されました。

　私の経験では女性クラブはアクティビティも女性らしく優しく細やかで感性豊かなものが多く、発想も枠に捕らわれず、新鮮で潤いのある事業が展開され、バイタリティーも豊かです。

　私が所属する広島ニュークラブはそれまであまりエクステンションに力を入れていなかったのですが、一九九四年当時の林春樹地区ガバナーに勧められるや俄然積極的になり、ライオンズとは全く無関係な女性ばかり約四十人を招請し、広島もみじクラブ（日本で十九番目の女性クラブ）を誕生させました。それから二カ月遅れて福山ニュークラブのスポンサーで福山フラワークラブ（同二十二番目）が結成されました。この336・C地区の二つの女性クラブは、互いに切磋琢磨し素晴らしい奉仕活動を続けています。地区役員も輩出し、毎年のガバナーズ・アワード受賞の常連です。そして事業資金獲得にも積極的で、潤沢な資金が用意されていると聞いております。男性クラブと合同例会をしますと、互いに張り切り、若々しい意気込みで出席率も上がります。女性会員のパワーを身をもって実感し、リー会長の方針を強く支持する次第です。

　これからは女性の時代。女性会員がどんどん増えて、クラブも活性化されることを期待します。